

AJAN
かんたんWeb部品
コマンドリファレンス

目 次

第1章はじめに.....	5
第2章Webアプリケーション.....	6
2.1 AJAN Webアプリの特長.....	6
2.2 AJAN Webアプリの動作イメージ.....	7
2.3 Web部品一覧.....	8
2.4 AJAN Webアプリのプログラム説明.....	10
2.4.1 AJAN Webアプリの構成.....	10
2.4.2 予約されているグローバル変数.....	10
2.4.3 AJAN Webアプリの終了について.....	11
2.4.4 AJAN Webアプリの外部公開について.....	13
2.4.5 AJAN Webアプリで使用できないコマンド.....	13
2.4.6 色の指定方法.....	13
2.4.7 位置・サイズの指定方法.....	14
2.4.8 AJAN Webサーバの停止方法.....	15
2.4.9 AJAN Web アプリケーションの実行権限.....	15
2.4.10 作成したアプリケーションを別環境に移行する.....	16
2.4.11 Web エラー時に表示されるページのカスタマイズ.....	17
2.4.12 Web Serverの高度な設定.....	17
2.4.13 ログファイルについて.....	20
2.4.14 Web アプリケーションのパフォーマンス.....	20
2.4.15 AJAN Webサーバが使用するネットワークポートについて.....	20
2.4.16 動作確認済ブラウザ.....	21
2.4.17 動作確認済カメラ.....	21
2.4.18 作成した Web アプリケーションが動作しない場合.....	21
2.4.19 スレッドについて.....	21
2.4.20 Webブラウザのズーム設定について.....	21
2.4.21 Webブラウザの最小フォントサイズについて.....	22
第3章かんたんWeb 部品コマンド.....	23
3.1 かんたんWeb部品 コマンド一覧.....	23
3.2 グラフ	25
3.2.1 概要.....	25
3.2.2 WEB_GRAPH.....	27
3.2.3 WEB_GRAPH_SET.....	28
3.3 テキストボックス.....	46
3.3.1 概要.....	46
3.3.2 WEB_TEXT.....	48
3.3.3 WEB_TEXT_SET.....	49
3.4 テキストエリア(複数行テキストボックス).....	52
3.4.1 概要.....	52
3.4.2 WEB_TEXTAREA.....	52
3.4.3 WEB_TEXTAREA_SET.....	53
3.5 ラベル.....	56
3.5.1 概要.....	56
3.5.2 WEB_LABEL.....	56
3.5.3 WEB_LABEL_SET.....	57
3.6 表.....	62
3.6.1 概要.....	62
3.6.2 WEB_TABLE.....	62
3.6.3 WEB_TABLE_SET.....	63
3.7 データグリッド.....	67
3.7.1 概要.....	67
3.7.2 WEB_GRID.....	68
3.7.3 WEB_GRID_SET.....	69
3.8 ページ設定.....	76
3.8.1 概要.....	76

3.8.2 WEB_PAGE_SET.....	76
3.9 画像.....	78
3.9.1 概要.....	78
3.9.2 WEB_IMG.....	78
3.9.3 WEB_IMG_SET.....	79
3.10 ページ移動.....	83
3.10.1 概要.....	83
3.10.2 WEB_MOVE_PAGE.....	83
3.11 メッセージボックス.....	84
3.11.1 概要.....	84
3.11.2 WEB_MSG_BOX.....	84
3.12 ボタン	85
3.12.1 概要.....	85
3.12.2 WEB_BUTTON.....	85
3.12.3 WEB_BUTTON_SET.....	86
3.13 セレクトボックス(選択リスト).....	89
3.13.1 概要.....	89
3.13.2 WEB_SELECT.....	89
3.13.3 WEB_SELECT_SET.....	90
3.14 ラジオボタン	92
3.14.1 概要.....	92
3.14.2 WEB_RADIO.....	92
3.14.3 WEB_RADIO_SET.....	93
3.15 チェックボックス.....	95
3.15.1 概要.....	95
3.15.2 WEB_CHECKBOX.....	95
3.15.3 WEB_CHECKBOX_SET.....	96
3.16 ランプ	98
3.16.1 概要.....	98
3.16.2 WEB_LAMP.....	98
3.16.3 WEB_LAMP_SET.....	99
3.17 図形描画.....	101
3.17.1 概要.....	101
3.17.2 線の幅について	101
3.17.3 WEB_DRAW.....	102
3.17.4 WEB_DRAW_SET.....	103
3.18 イベント	105
3.18.1 概要.....	105
3.18.2 ON WEB CALL.....	106
3.19 HTML/JavaScript直接記述.....	112
3.19.1 概要.....	112
3.19.2 WEB_WRITE.....	112
3.20 カメラ接続 (AJAN側 カメラ).....	114
3.20.1 概要.....	114
3.20.2 アプリケーション (サンプル) の説明.....	115
3.21 カメラ接続(ブラウザ側カメラ).....	117
3.21.1 概要.....	117
3.21.2 WEB_CAMERA.....	118
3.21.3 WEB_CAMERA_SET.....	119
3.22 メータ	125
3.22.1 概要.....	125
3.22.2 WEB_METER.....	126
3.22.3 WEB_METER_SET.....	127
3.23 フレーム	132
3.23.1 概要.....	132
3.23.2 WEB_FRAME.....	132
3.23.3 WEB_FRAME_SET.....	133
3.24 AJAN継続動作.....	135
3.24.1 概要.....	135

3.24.2 WEB_MAIN_LOOP.....	135
3.25 動画再生.....	136
3.25.1 概要.....	136
3.25.2 WEB_VIDEO.....	136
3.25.3 WEB_VIDEO_SET.....	137
3.26 音声再生.....	139
3.26.1 概要.....	139
3.26.2 WEB_AUDIO.....	139
3.26.3 WEB_AUDIO_SET.....	140
3.27 ダイアログボックス.....	142
3.27.1 概要.....	142
3.27.2 WEB_DIALOG.....	142
3.28 ウィンドウ.....	144
3.28.1 概要.....	144
3.28.2 WEB_WINDOW.....	144
3.28.3 WEB_WINDOW_CLOSE.....	145
3.29 ダイアグラム.....	147
3.29.1 概要.....	147
3.29.2 WEB_DIAGRAM.....	147
3.29.3 WEB_DIAGRAM_SET.....	148
3.30 ファイルアップロード.....	152
3.30.1 概要.....	152
3.30.2 WEB_UPLOAD.....	153
3.30.3 WEB_UPLOAD_SET.....	155
3.31 一括表示.....	157
3.31.1 概要.....	157
3.31.2 WEB_BATCH_BEGIN.....	157
3.31.3 WEB_BATCH_END.....	158
3.32 AJAN_WEB_FORM\$更新.....	159
3.32.1 概要.....	159
3.32.2 WEB_FORM_UPDATE.....	159
3.33 位置・サイズ取得.....	160
3.33.1 概要.....	160
3.33.2 WEB_GET_PROPERTY\$.....	160
第4章サンプルプログラム.....	164
4.1 ビルダーツール.....	166
第5章参考情報.....	167
5.1 Webアプリ用画像の作成について.....	167
第6章重要な情報.....	170
改訂履歴.....	171

第1章 はじめに

本ドキュメントは、AJAN かんたん Web部品コマンドの説明を記載しております。

本ドキュメントでは、説明で表現している表記として下記のように定義します。

・コマンドの書式の説明において、[]内の引数は省略できます。

・文字の大小について

コマンドは大文字/小文字のどちらでも動作します。

変数名は大文字/小文字も同じものとして扱われます。

ファイルパス/ファイル名は大文字/小文字で区別されます。

AJANのWebで使用するURLは、大文字/小文字で区別されます。



本ドキュメント記載の、AJANはIoT用プログラミング言語です。

Interface Linux System上でのみ動作可能です。

第2章 Webアプリケーション

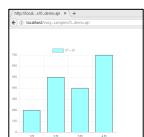
AJANでWebアプリケーションを構築ために必要な基本情報についてご説明します。

2.1 AJAN Webアプリの特長

●かんたんにWebアプリを作成

AJANで数行のコマンドを書くだけで動きます。
HTMLやJavascriptの知識不要！

Web



AJAN

```
コマンドを数行書くだけ
1: INCLUDE "WEB.AJAN"
2: WEB_GRAPH "ID_GRAPH1", "10px", "10px"
3: WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, "GRAPH_LABEL", "1月,2月,3月,4月"
4: WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, "DATA", "200,500,400,700"
```

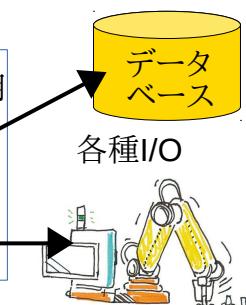
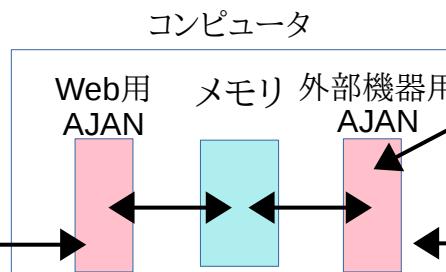
Webアプリができる。

●豊富なWeb部品、サンプルを用意しています。



Web画面上の部品は、AJANから自由に更新できます。
ブラウザとWebサーバ/AJAN間は高速通信しています。

●いろいろな機器とつながります。



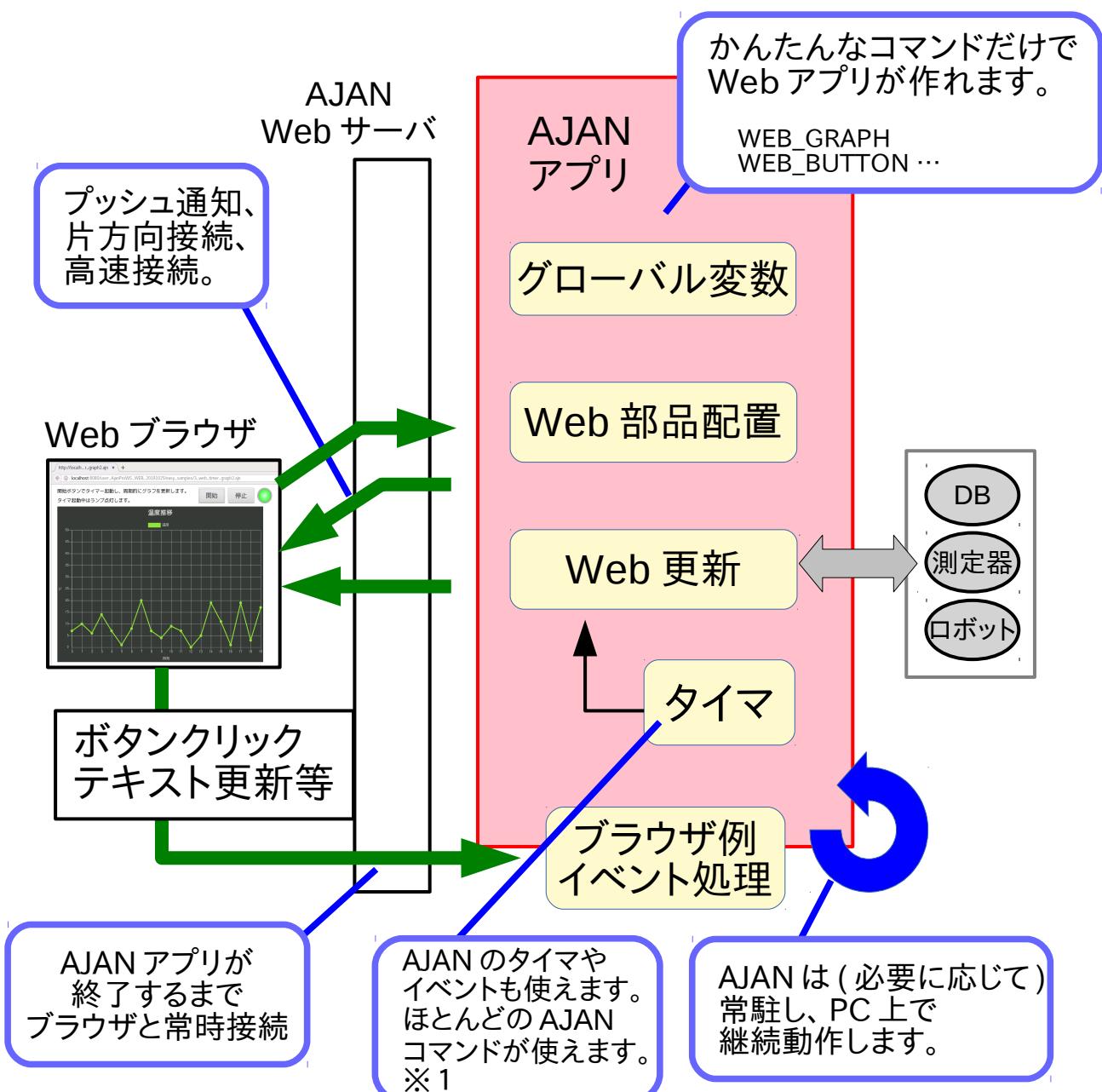
2.2 AJAN Webアプリの動作イメージ

※1 Webブラウザで使用するため、GUIコマンド、PRINTやINPUTなどの画面入出力コマンドは使用できません。

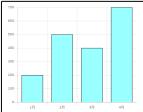
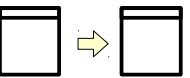
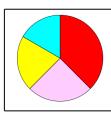
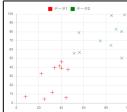
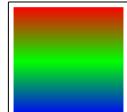
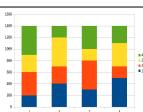
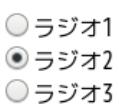
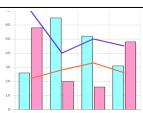
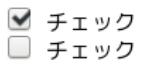
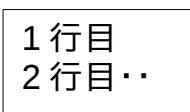
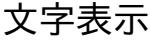
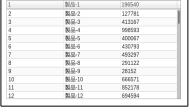
※AJAN Webアプリは、ブラウザごとに起動します。

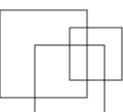
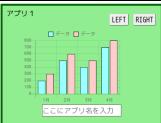
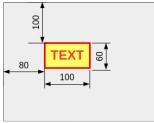
接続している各クライアントのブラウザでURLを開くことにより、AJAN Webアプリが起動します。

※Webサーバは、AJANの動作するコンピュータ起動時に、自動的に起動して動作しています。よって、AJANの動作するコンピュータへログインしていない状態でも別コンピュータ/スマート等からの情報Webアクセスに対して応答・動作します。



2.3 Web部品一覧

No	部品名	例	No	部品名	例
1	グラフ(棒)		14	画像	
2	グラフ(折線)		15	ページ移動	
3	グラフ(円)		16	メッセージボックス	
4	グラフ(散布図)		17	ボタン	
5	グラフ(濃淡図)		18	セレクトボックス	
6	グラフ(積層)		19	ラジオボタン	
7	グラフ(棒+折線)		20	チェックボックス	
8	テキストボックス、スライダ、色選択		21	ランプ	
9	テキストエリア (複数行テキストボックス)		22	イベント	
10	ラベル		23	HTML/JavaScript 直接実行	
11	表		24	AJAN側カメラ (遠隔地の監視等)	
12	データグリッド		25	ブラウザ側カメラ (データ取得、QR/バーコード認識等)	
13	ページ設定		26	メータ	

No	部品名	例	No	部品名	例
27	フレーム				
28	AJAN継続動作				
29	図形描画				
30	動画再生				
31	音声再生				
32	ダイアログボックス				
33	ウインドウ				
34	ダイアグラム				
35	アップロード				
36	一括実行				
37	AJAN_WEB_FORM\$ 更新				
38	プロパティ取得				

2.4 AJAN Webアプリのプログラム説明

2.4.1 AJAN Webアプリの構成

AJAN Webアプリは以下の構成になります。

```

INCLUDE "WEB.AJN"      ' ← 必ずこの1文を書いてください。
                           ' 各種 AJAN 処理よりも先に記述してください。

WEB_GRAPH      "ID_GRAPH1", "10", "10"           ' グラフ配置
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_TYPE, "LINE" ' 折線グラフ

' データを設定
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_LABEL, "1月,2月,3月,4月"
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA,          "200,500,400,700"

```

2.4.2 予約されているグローバル変数

AJAN Webアプリ内では、以下の変数にWeb情報が格納されており、参照することができます。

※"AJAN_"で始まるグローバル変数はシステムで予約されていますので、アプリケーションプログラムで定義して使用しないでください。

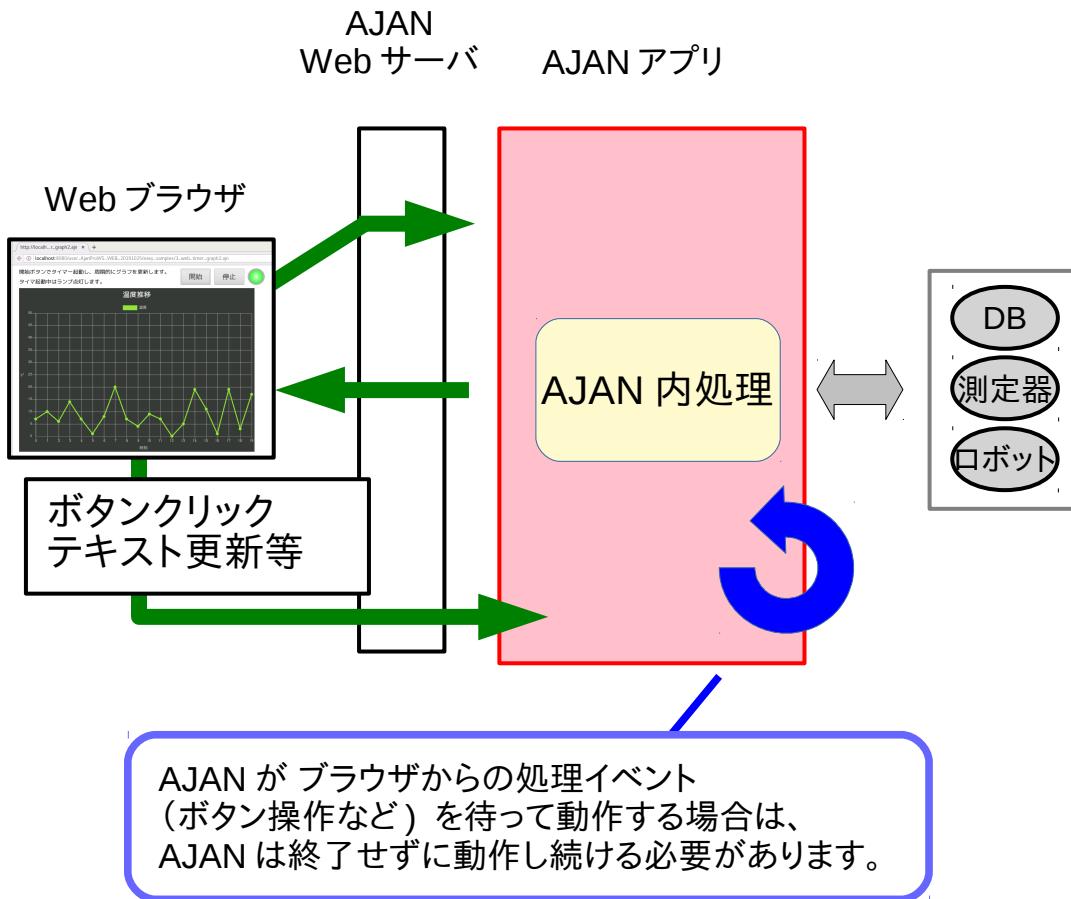
No	変数名	内容
1	AJAN_WEB\$	<p>URLのクエリストリングで指定した値を取得できます。</p> <p>[書式] AJAN_WEB\$(<クエリストリングの項目名>) ※連想配列の形式でデータが格納されます。</p> <p>[例] ページURLが「~xxx.ajn?data1=100」の場合、AJAN_WEB\$("data1")には"100"が格納されます。</p>
2	AJAN_WEB_FORM\$	<p>ブラウザ上で発生したボタンクリックなどのイベントによってAJANが呼び出されたときに、ブラウザ上のWeb部品のデータが格納されます。</p> <p>詳しくは『3.18.2 ON WEB CALL』をご参照ください。</p>
3	AJAN_END_FLG	<p>WebブラウザとAJAN間での通信が切断された場合(主にブラウザを閉じた場合等)に本フラグがセットされます。</p> <p>AJANプログラムの動作中にブラウザが閉じられた場合にAJANプログラム自体を終了させる場合等に使用できます。</p> <p>詳しくは『2.4.3 AJAN Webアプリの終了について』をご参照ください。</p>
4	AJAN_WEB_CLIENT\$	<p>WEB_PAGE_SETコマンドでクライアント情報の取得時にクライアント情報が格納されます。</p> <p>詳しくは『3.8 ページ設定』をご参照ください。</p>

2.4.3 AJAN Webアプリの終了について

Webブラウザからのボタン操作を待つようなプログラムの場合は、AJAN Webアプリは終了せず動作し続ける必要があります。

AJAN Webアプリが終了してしまうと、その後ブラウザからの入出力等も行えなくなります。

プログラム内でループ処理などを使用しておりAJANが継続動作している場合は問題ありません。ループ処理等の継続処理が含まれていない場合は、以下に示す方法で AJANを終了させずに継続動作させることができます。



AJAN Webアプリを終了させずに、継続して動作し続けるためには、以下の WEB_MAIN_LOOPコマンドを使用します。

本コマンドを実行すると、ブラウザが閉じられたなどの状態によりネットワークが切断されるまで本コマンドからは処理が戻らずに継続動作します。

~

'常駐サービスプログラムとして動きつづける
WEB_MAIN_LOOP

もし AJANプログラムの終了時(ブラウザが閉じられた場合)に何らかの処理を実行したい場合は、WEB_MAIN_LOOPコマンドの下に続けて命令を記述することで、AJAN終了時に処理を実行できます。(AJANプログラムの強制終了等は除きます)

```
～
' 常駐サービスプログラムとして動きつづける
WEB_MAIN_LOOP

' ↓ ここに処理を記載すると、ブラウザが閉じられた場合等
' AJAN 終了時に実行させることができます。
CALL SYSTEM_END ' 終了処理例
```

また、以下のように直接 AJANを継続動作させる処理を記述してカスタマイズすることもできます。
(AJAN-END_FLG は、ブラウザが閉じられてネットワークが切断された場合等に 1になります。)

```
～
' 常駐サービスプログラムとして動きつづける
DO WHILE TRUE
    SLEEP 1
    IF(AJAN-END_FLG = 1) THEN
        END      ' ネットワーク切断時：終了する
    END IF
LOOP
```

イベントを待つような必要がない場合(たとえば、ブラウザに1回グラフを表示するだけの処理等)では、上記のような処理は不要です。
詳しくは、WEB_MAIN_LOOPコマンド、各種サンプルプログラム(ボタンやタイマ、イベント操作)をご参照ください。

また、上記プログラムのDOループ中にSLEEPコマンドを実行していますが、これは、AJANとWebブラウザが非同期で動作する上で、AJANが先走って動かないようにウェイト時間を入れています。
この例では適当な時間(1秒)を設定していますが、適切な時間を設定するために、最小ウェイト時間を確認するサンプルプログラムを用意していますのでご利用ください。(10_web_wait_check.ajn)
最小ウェイト時間の1.5~2倍を目安にウェイト時間を設定してください。

2.4.4 AJAN Webアプリの外部公開について

IDEのプロジェクトで作成したAJAN Webアプリは、デフォルトでローカルのみの公開となっていますので、ご利用の端末のIDE、ブラウザでのみ参照できます。

ネットワークで接続された外部のコンピュータから参照する場合は、IDEのWebプロジェクト設定で「外部公開設定」を「ローカル」から「外部公開」に変更してご利用ください。

詳しくは、「AJAN Pro 基本マニュアル」のプロジェクト管理の説明をご参考ください。

2.4.5 AJAN Webアプリで使用できないコマンド

AJAN WebアプリはWebブラウザで使用するため、GUIコマンド、PRINTやINPUTなどの画面出力コマンドはWebプログラム内では使用できません。

2.4.6 色の指定方法

1) 基本色

Web コマンドで色を指定する箇所では、以下の色名が使用できます。

(W3C標準 基本16色、CSS1準拠)

日本語指定	英語指定	表示色
黒	BLACK	
灰	GRAY	
銀	SILVER	
白	WHITE	
青	BLUE	
紺	NAVY	
青緑	TEAL	
緑	GREEN	
薄緑	LIME	
空	AQUA (CYAN)	
黄	YELLOW	
赤	RED	
ピンク	FUCHSIA (MAGENTA)	
濃黄	OLIVE	
紫	PURPLE	
茶	MAROON	

CSS3の色名指定

CSS3で規定される147色の色名(英語名)での指定が可能です。

(AJANで採用している40色の色名を含みます)

カラーコードによる指定

カラーコード(16進数)による指定ができます。

#記号に続いて、R(赤)2桁 G(緑)2桁 B(青)2桁 の6桁の16進数で指定します。

カラーコードは、約1677万色の色から選択できます。詳しくは、コマンドリファレンスのテキストボックス部品、サンプルプログラムをご参照ください。

例: #AA55CC

透明度の指定

上記カラーコードの指定に、透明度を付加できます。

カラーコード(6桁の16進数)に続いて、透明度を2桁の16進数で指定できます(数値が小さいほど色が薄くなり、00で透明になります)。

例: #AA55CC88

背景色への透明指定

下記部品の背景色に TRANSPARENT を指定して透明にすることができます。

グラフ(WEB_GRAPH): 棒(縦)、棒(横)、折線、複合、円、散布図

ラベル(WEB_LABEL)

画像のキャプション(WEB_IMG)

2.4.7 位置・サイズの指定方法

位置やサイズを指定する際は、数値のみの文字列を指定してください。単位はピクセルです。

例:

①位置指定

WEB_GRAPH "ID_GRAPH1", "30", "50"
→ ブラウザの上端から30ピクセル、左端から50ピクセルの位置に
グラフ部品を配置します。

②サイズ指定

WEB_IMG_SET "IMG1", AJAN_IMG_WIDTH, "200"
→ 部品ID「IMG1」の画像横幅を200ピクセルにします。

2.4.8 AJAN Webサーバの停止方法

AJANとAJAN以外のWebサーバ (Apache等)は、ネットワークポートが競合するために同時に使用することができません。AJAN以外のWebサーバを使用される場合は、以下の手順でAJANのWebサーバを無効にしてください。

※AJANのWebサーバを停止した場合は、AJANのWebアプリケーションや、本Web サーバを使用している開発ツール/エディタ等が使用できなくなります。

AJAN組込アプリケーションへの影響はありません。

【AJAN Webサーバを無効にする手順】

(1)デスクトップ画面の画面上部のメニューバーから「アプリケーション」→「システムツール」→「端末」をクリックします。

(2)端末で以下コマンドを入力してください。

Web Serverの停止

```
sudo ifweb stop
```

Web Serverの自動起動を無効化

```
sudo ifweb disable
```

※コマンド入力時にパスワードを求められた場合は、ログイン時のパスワードを入力してください。

※コマンドの実行ができなかった場合は、スーパーユーザ(管理者)でログインしてコマンドを実行してください。(スーパーユーザ(管理者)でログインする方法はOSマニュアルをご参照ください。)

【AJAN Webサーバを有効にする手順】

(1)デスクトップ画面の画面上部のメニューバーから「アプリケーション」→「システムツール」→「端末」をクリックします。

(2)端末で以下コマンドを入力してください。

Web Serverの自動起動を有効化

```
sudo ifweb enable
```

Web Serverの開始

```
sudo ifweb start
```

2.4.9 AJAN Web アプリケーションの実行権限

AJAN Web アプリケーションは Webサーバによって実行されます。

初期状態では、実行時の権限はAJAN実行ファイルをビルドしたユーザ(ファイルの所有者)になります。

そのため、「ユーザ権限」でビルドしたAJANを実行した場合、コンピュータの管理者権限が必要なコマンド(シリアルポート通信や、アクセス権のかかったフォルダへのアクセスなど)は権限が不足して使用できません。

コンピュータの管理者権限(root権限)が必要な処理を実行させる場合は、「Web Serverの高度な設定」でAJANを実行する権限を「root権限モード」にしてからご使用ください。

本設定方法につきましては、2.4.12 Web Serverの高度な設定 をご参照ください。

2.4.10 作成したアプリケーションを別環境に移行する

AJAN Webアプリケーションを作成した後、別環境に移動して実行させる場合、以下を考慮する必要があります。（開発環境で作成したWebアプリケーションを本番環境に移行する場合等）

[AJAN実行ファイルの権限]

AJAN Webアプリケーションは、AJAN Webアプリケーションをビルドしたユーザ（ファイルの所有者）の権限で実行されています。

よって、移行元の環境でビルドしたユーザが移行先の環境に存在しない場合には、移行先の環境で正常に動作しないため、Webアプリケーションを再ビルドする（または Webアプリケーションの所有者を変更する）必要があります。

※Web ServerでAJANを実行する権限を「root権限モード」に設定している場合は、本権限の考慮は不要です。

「root権限モード」では、AJAN Webアプリケーションは 実行環境が変わっても常にroot権限で実行されますので、AJAN Web アプリケーションをビルドしたユーザ等の変更は不要です。

「root権限モード」の設定方法につきましては、2.4.12 Web Serverの高度な設定 をご参照ください。

例：移行元環境ではユーザ名「user」でAJANをビルドし、この実行ファイルを移行先環境に移動させた場合、移行先環境に「user」が存在していればそのユーザの権限で実行されます。

もし、移行先環境に「user」が存在しない場合は、正常に実行されません。その場合は 移行先環境の該当ユーザでログオンした状態でビルドするか、実行ファイルの所有者を変更する必要があります。

※ ファイルの所有者の変更方法（Linuxの知識を持った方向けの 高度な説明）

移行先環境でAJAN Web アプリケーションの再ビルドが困難な場合は、以下の方法でファイルの所有者を変更することができます。

【ファイルの所有者を変更】

- (1)画面上部のメニューバーから「アプリケーション」→「システムツール」→「端末」をクリックします。
- (2)端末で以下コマンドを入力してください。

```
chown user1:group1 /home/user/web1
```

上記の例では、AJAN実行ファイル「/home/user/web1」の所有者を「user1」に、グループを「group1」に変更しています。

本処理により、上記AJANの実行ファイルは 移行先コンピュータで user1の権限で実行されます。所有者・グループ名につきましては、移行先コンピュータの管理者にご確認ください。

2.4.11 Web エラー時に表示されるページのカスタマイズ

Webでエラーが発生した場合に表示されるエラーページをカスタマイズすることができます。
詳しくは、2.4.12 Web Serverの高度な設定をご参照ください。

カスタマイズされたエラーページ



2.4.12 Web Serverの高度な設定

AJAN Web Serverの動作は、管理ファイルを更新することでカスタマイズすることができます。
通常は設定することはありませんが、高度なカスタマイズが必要な場合にご使用ください。

[管理ファイル]

1. 外部公開用 Web Server

ネットワーク経由で外部に公開する場合のWebServerの管理ファイル
`/etc/interface/ajan/web/ifweb.ini`

2. 内部動作用 Web Server

ローカルPCの内部でのみ動作(またはIDEでのデバッグ時)する場合の
WebServerの管理ファイル

`/etc/interface/ajan/web/ifweb_local.ini`

[設定方法]

(1) デスクトップ画面の画面上部のメニューバーから「アプリケーション」→「システムツール」→「端末」をクリックします。

(2) 端末で以下コマンドを入力してください。

外部公開用 Web Serverの設定ファイルの場合

```
sudo gedit /etc/interface/ajan/web/ifweb.ini
```

内部動作用 Web Server の設定ファイルの場合

```
sudo gedit /etc/interface/ajan/web/ifweb_local.ini
```

※本ファイルの編集には管理者検眼が必要です。

(3) テキストエディタ(gedit)が起動して設定ファイルが開きますので、内容を更新して保存してください。

[設定ファイル画面例]

```

1 [SERVER]
2 #クライアント側・本サーバのアドレス
3 SERVER_ADDRESS:127.0.0.1,8080
4
5 #AJAN実行モード
6 AJAN_EXEC_MODE:0
7
8 #スレッド生成数(1~4096)
9 THREAD_NUM:128
10
11 #AJAN割当ポート番号範囲
12 PORT_MIN:53000
13 PORT_MAX:53999
14
15 #ネットワーク監視
16 MONITOR_CYCLE_AJAN:300000
17 MONITOR_CYCLE_JS:20000

```

.ini ▾ タブ幅: 4 ▾ (5行、11列) ▾ [挿入]

[設定項目の説明]

[SERVER] セクション

設定項目	内容
SERVER_ADDRESS	Web Serverの使用するアドレス、ポート番号
AJAN_EXEC_MODE	<p>AJANを実行する権限。</p> <p>[設定値] 0: ユーザ権限モード AJAN実行ファイルの所有者(ビルト作成者)の権限でAJANを実行します。通常は本設定で問題ありません(初期値) 1: root権限モード コンピュータの管理者権限で AJANを実行します。ファイルの所有者に関わらず、AJANを管理者権限で実行させたい場合には本モードに設定してください。</p> <p>※root権限モードでAJANを起動させる場合、AJANのプログラムに記載した内容がすべて管理者の権限で実行されます。 本PC内にある、第三者が書いたAJANコードも 管理者の権限で実行されてしまいますのでご注意ください。</p>
THREAD_NUM	<p>内部で使用するスレッドの数。 スレッドの数を増やすと同時アクセスへの処理パフォーマンスが向上しますが、PC内のCPU負荷が上昇します。</p> <p>[設定値] 1~4096 の値が設定できます。</p>
PORT_MIN	システム予約(変更しないでください)
PORT_MAX	
MONITOR_CYCLE_AJAN	
MONITOR_CYCLE_JS	
MANAGEMENT_WAIT	

[ERROR_PAGE] セクション

設定項目	内容
ERROR_ALL	Webでエラーが発生した場合に表示するページを指定できます。 お客様にて作成したエラーページを指定することで、エラー時の表示画面を自由にカスタマイズできます。
ERROR_401	
ERROR_403	
ERROR_404	※本セクションでエラーページを指定しなかった場合は、標準のエラーメッセージが表示されます。
ERROR_500	[設定内容] エラー発生時に表示するページ(html等)の ファイルパス ERROR_ALL は、エラー発生時に共通で表示されます。 ERROR_xxx のように末尾に数字がついているものは、数字に該当する http エラーが発生した場合に指定したエラーページが表示されます。 [例] http エラーコード404 (Webページが見つからない)が発生した場合は、ERROR_404で指定したページが表示されます。 ※各httpエラーコードの意味につきましては、お手数ですが 書籍やインターネット等で Web 関連情報をご参照ください。 ERROR_ALL と ERROR_xxx(末尾に数字がついているもの)を両方指定している場合は、ERROR_xxxを優先して処理します。 ※標準では、AJANのインストール先の サンプル用エラーページを指定しています。お客様にてカスタムされる場合は、任意のフォルダにエラーページを作成して、ファイルパスを上記セクションに記載してください。

[WEB] セクション

設定項目	内容
ADD_TYPE	Webで使用するMINEタイプを追加で指定できます。 MINEタイプは、WebServerが ブラウザに渡す、ファイルのタイプを示す情報です。一般的なMINEタイプはWeb Serverに組み込まれていますが、新たな拡張子等のファイルがある場合は、ここで 該当する拡張子に対するMINEタイプを指定できます。 [設定内容] <タイプ> <拡張子> 例: video/mp4 .mp4 URLのファイル拡張子が ".mp4" の場合、データのタイプに "video/mp4" を指定して ブラウザに送ります。

(4)ファイル保存後は、PCを再起動するか、以下の手順で Web Serverを再起動してください。

[Web Serverの再起動方法] ※管理者権限が必要です。

```
sudo ifweb restart
```

2.4.13 ログファイルについて

AJANでは、Webに関するログを以下ファイルに記載しています。
問題発生時の原因調査などにご活用できます。

- ・AJAN Webアプリを外部公開設定しているときのログファイル
/var/log/ifweb_pro.log
- ・AJAN WebアプリをローカルPC内でのみ使用しているときのログファイル
/var/log/ifweb_pro_local.log

2.4.14 Web アプリケーションのパフォーマンス

AJAN かんたんWeb部品を使用したWeb アプリケーションは、ブラウザ(クライアント側)とAJAN(サーバ側)の間をソケット通信で高速接続しています。
(従来のWeb アプリケーション(HTTPプロトコル)では都度リクエスト-レスポンスの処理が必要でしたが、かんたんWebでは必要なタイミングで必要な情報を高速に送受信できる仕組みになっています。)

AJAN かんたんWeb部品を使用したアプリケーションでデータの周期的な更新を行う場合は、基本的には数秒～数分単位の動作を想定しています。これよりも 高速動作をさせると環境によっては正常に動作しない場合があります。(また、環境によっては 最小 数ms～数百msでも動作します)

実際の動作速度は 以下の要因によって変化しますので、ご使用の環境に応じて適切なパラメータを設定して検証・ご確認ください。

[Web アプリケーションの動作速度に影響する要因]

- ・ ブラウザ側のコンピュータの性能:
ブラウザ自体の画面更新等に負荷がかかるため、ブラウザ側コンピュータの性能(CPU速度やメモリ容量など)が低いと、ブラウザの動作がだんだん遅くなり、最悪 ブラウザでの処理が停止します。
- また、ブラウザ自体の負荷が高いため、AJAN本体とブラウザを同一コンピュータで動作させると、その分余計にブラウザの負荷が高くなり表示速度が低下する場合があります。
- ・ 作成するWebアプリケーションの構成
以下のようなアプリケーション構成では、ブラウザ側の負荷が高くなります。
 - 画面上のデータの更新周期が短い場合
 - 更新する部品の数が多い場合
 - 折線グラフ等で複数系列のデータを表示・更新する処理
- ・ ブラウザの種類によって、ブラウザ側の 表示・処理速度が大きく変わります。
- ・ ネットワークの負荷:
通信速度が遅い環境では、ブラウザとの通信パフォーマンスが低下します。

※使用環境の負荷を超えるパフォーマンスでWeb プログラムを動かすように作成された場合、正常な動作を行うことが困難なためご注意ください。
(環境、アプリの構成にもよりますが、 200ms より 短い周期でのアクセス(部品が一つの場合)を行う場合は注意が必要です。)

2.4.15 AJAN Webサーバが使用するネットワークポートについて

AJAN Webサーバは、以下のネットワークポートを使用します。

ポート番号	内容
8080	AJAN Webサーバ: PCの内部で使用(ローカルPC内)
80	AJAN Webサーバ: 外部接続時に使用 (IDEで Webアプリケーションを「外部公開」にした場合のみ)

※本製品をネットワーク経由で使用する場合は、セキュリティを考慮して閉域網/VPN環境でのご使用を推奨します。ネットワーク接続に関しましては、ご使用の環境のネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.4.16 動作確認済ブラウザ

AJAN かんたんWeb 部品は、以下の環境で動作確認を行っています。

クライアント(ブラウザ側)OS	ブラウザ
Interface Linux System 8	Chromium 73 Firefox 52 Chrome 68

※動作確認済環境は、順次追加していく予定です。

※ IE11は、IE11が一部HTML5に対応できておらず未サポートとなります。

「Windows10 IoT」の場合は、Chromium、Firefox、Chrome等のブラウザをご使用ください。

2.4.17 動作確認済カメラ

本書で紹介している AJAN側カメラ/ブラウザ側カメラは、以下の機種で動作確認を行っています。

#	メーカ	型式	備考
1	Logicool	C270n	USBカメラ
2	Logicool	C922n	USBカメラ
3	サンワサプライ	CMS-V37BK	USBカメラ
4	Buffalo	BSWHD06M	USBカメラ
5	ELECOM	UCAM-C750FBBK	USBカメラ

※上記は弊社の環境にて基本的なデータ表示動作について動作確認した機種です。

各機器のサポート、動作保証はいたしかねますのでご了承ください。

2.4.18 作成した Web アプリケーションが動作しない場合

Webが正常に動作しない、またはエラーが発生する場合は、「AJAN Pro 基本マニュアル」のFAQもあわせてご確認ください。

2.4.19 スレッドについて

AJANのプログラムでは最大15までのスレッドが使用できますが、AJAN Webアプリのシステムで2つのスレッド(14,15)を使用しますので、アプリケーションプログラムで使用できるスレッドは13(1~13)です。

尚、スレッドにつきましては、AJAN標準コマンドリファレンスの「スレッドに関する関数・命令」の説明をご参照ください。

また、一括実行コマンド(WEB_BATCH_BEGIN、WEB_BATCH_END)は、単一のスレッド内で完結するようにご使用ください。WEB_BATCH_BEGIN と WEB_BATCH_END が複数のスレッドにまたがった場合の動作は保証できません。

2.4.20 Webブラウザのズーム設定について

Webブラウザのズーム設定で画面を縮小した場合、レイアウトが崩れる場合があります。
50%以上の設定でご使用ください。50%未満を設定した場合、警告が表示されます。

尚、この警告を非表示にする場合、WEB_PAGE_SETコマンドのAJAN_PAGE_ZOOM_WARNING に”NOMSG”を設定してください。

2.4.21 Webブラウザの最小フォントサイズについて

WebブラウザにChromeまたはChromiumを使用される場合、標準の最小フォントサイズが10に設定されています。Webアプリで10未満のフォントサイズを指定する場合、指定通りの表示の表示をするためには、Chromiumの最小フォントサイズの設定を変更してください。

設定方法(Chromiumの場合)

右上の「⋮」(Chromiumの設定)→「フォントをカスタマイズ」→「最小フォントサイズ」を変更。

第3章 かんたんWeb 部品コマンド

3.1 かんたんWeb部品 コマンド一覧

カテゴリ	コマンド名	内容
グラフ (棒、折線、円、積層、散布、濃淡)	WEB_GRAPH	グラフを配置
	WEB_GRAPH_SET	グラフを設定
テキストボックス (数字形式、スライダ、色選択)	WEB_TEXT	テキストボックスを配置
	WEB_TEXT_SET	テキストボックスを設定
テキストエリア (複数行テキストボックス)	WEB_TEXTAREA	テキストエリアを配置
	WEB_TEXTAREA_SET	テキストエリアを設定
ラベル	WEB_LABEL	ラベルを配置
	WEB_LABEL_SET	ラベルを設定
表	WEB_TABLE	表を配置
	WEB_TABLE_SET	表を設定
データグリッド	WEB_GRID	データグリッドを配置
	WEB_GRID_SET	データグリッドを設定
ページ設定	WEB_PAGE_SET	Webページを設定、クライアント情報取得
画像	WEB_IMG	画像を配置
	WEB_IMG_SET	画像を設定
ページ移動	WEB_MOVE_PAGE	ページを移動
メッセージボックス	WEB_MSG_BOX	メッセージボックスを表示
ボタン	WEB_BUTTON	ボタンを配置
	WEB_BUTTON_SET	ボタンを設定
セレクトボックス	WEB_SELECT	セレクトボックス(選択リスト)を配置
	WEB_SELECT_SET	セレクトボックス(選択リスト)を設定
ラジオボタン	WEB_RADIO	ラジオボタンを配置
	WEB_RADIO_SET	ラジオボタンを設定
チェックボックス	WEB_CHECKBOX	チェックボックスを配置
	WEB_CHECKBOX_SET	チェックボックスを設定
ランプ	WEB_LAMP	ランプを配置
	WEB_LAMP_SET	ランプを設定
図形描画	WEB_DRAW	図形を配置
	WEB_DRAW_SET	図形を設定
イベント	ON WEB CALL	イベントを設定
HTML/JavaScript直接記述	WEB_WRITE	HTML、JavaScriptを直接実行
カメラ接続 (AJAN側USBカメラ)	-	-
カメラ接続 (ブラウザ側USBカメラ：撮影、 画像取得、QR/バーコード認識)	WEB_CAMERA	カメラ部品(ブラウザ側カメラ)を配置
	WEB_CAMERA_SET	カメラ撮影、ファイル保存
メータ	WEB_METER	メータを配置
	WEB_METER_SET	メータを設定
フレーム	WEB_FRAME	フレームを配置
	エラー: 参照先が見つかりません。	フレームを設定
AJAN継続動作	WEB_MAIN_LOOP	プログラムを終了せずに継続動作させる

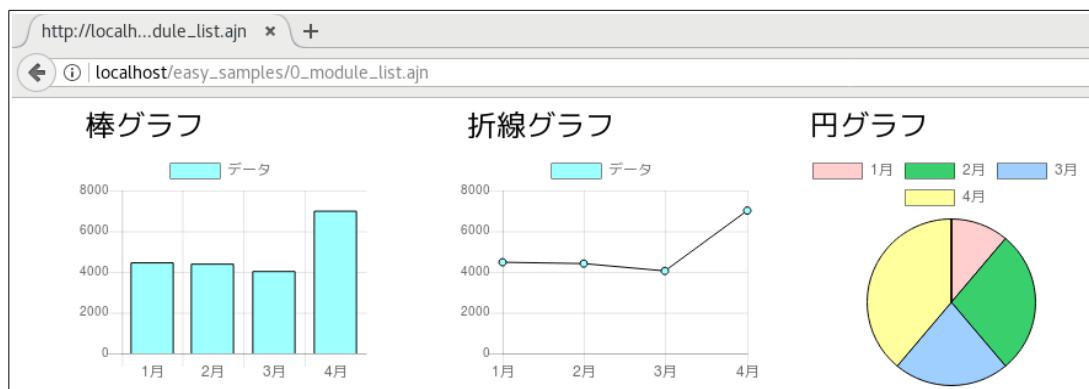
動画再生	WEB_AUDIO	音声再生を設置
	WEB_AUDIO_SET	音声再生を設定
音声再生	WEB_VIDEO	動画再生を設置
	WEB_VIDEO_SET	動画再生を設定
ダイアログボックス	WEB_DIALOG	ダイアログボックスを開く
ウインドウ	WEB_WINDOW	新規にウインドウを開く
	WEB_WINDOW_CLOSE	ウインドウを設定
ダイアグラム	WEB_DIAGRAM	ダイアグラムを設置
	WEB_DIAGRAM_SET	ダイアグラムを設定
アップロード	WEB_UPLOAD	ファイルのアップロード
	WEB_UPLOAD_SET	アップロードの設定
一括実行	WEB_BATCH_BEGIN	コマンドの蓄積開始
	WEB_BATCH_END	コマンドの蓄積を終了し一括実行
AJAN_WEB_FORM\$更新	WEB_FORM_UPDATE	各部品の取得データを更新
位置・サイズ取得	WEB_GET_PROPERTY\$	指定部品の位置、サイズ取得

3.2 グラフ

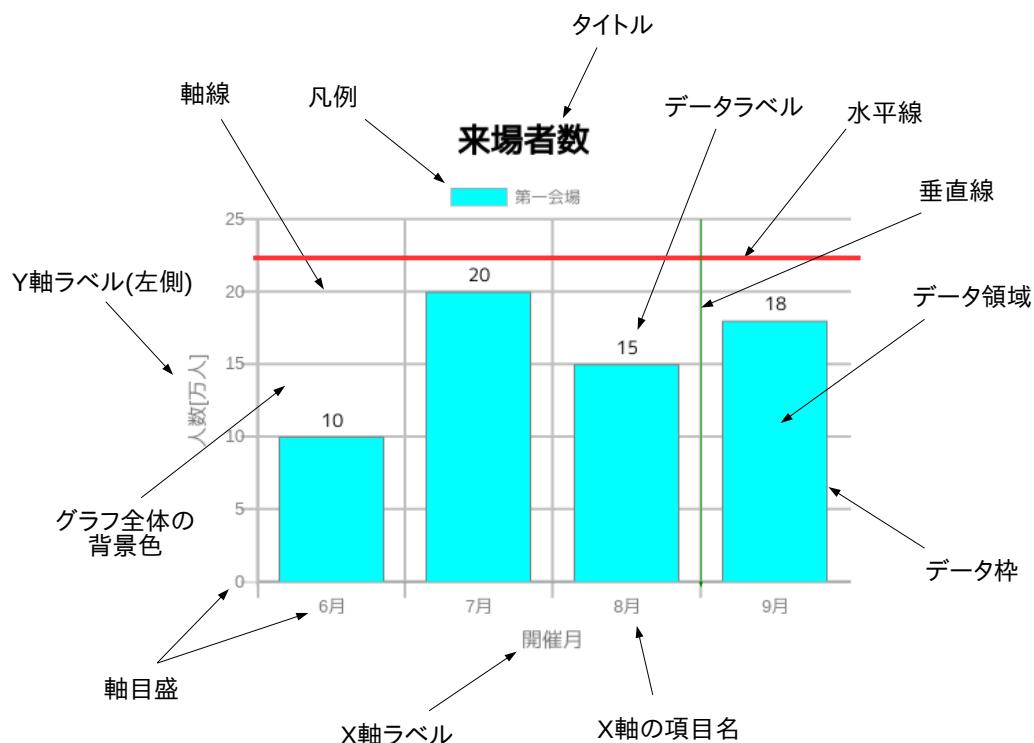
3.2.1 概要

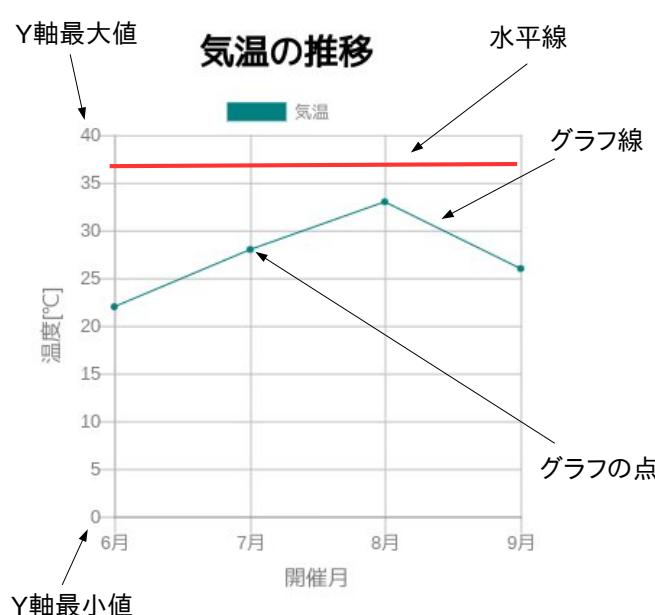
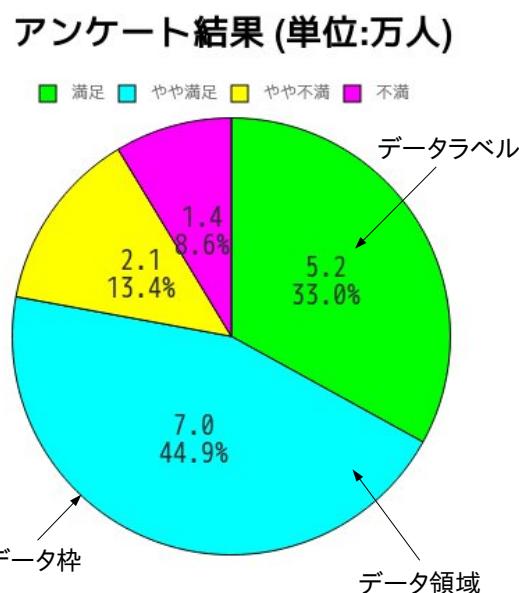
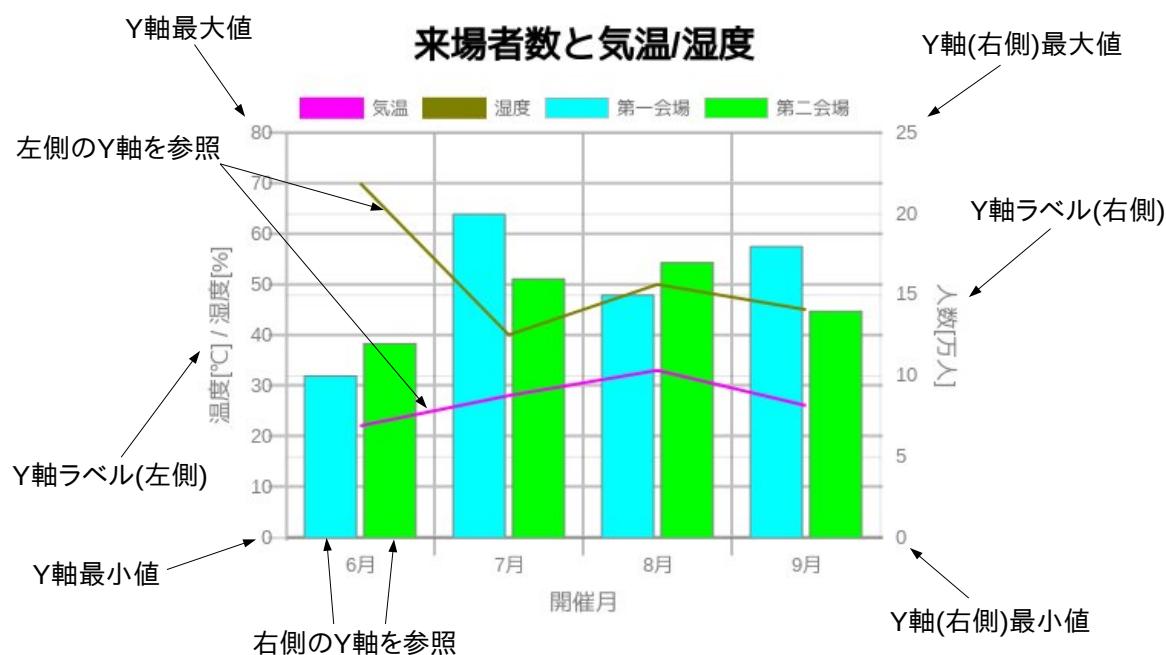
Web上にグラフを表示します。

棒グラフ、折線グラフ、円グラフ、複合グラフ、積層グラフ、散布図が作成できます。



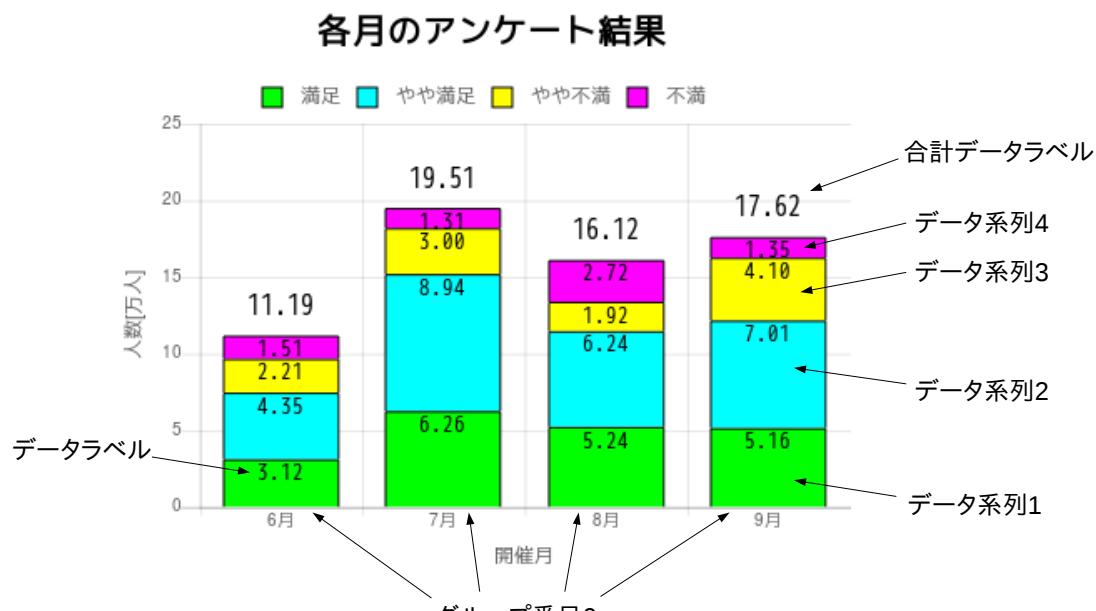
棒グラフ



折れ線グラフ**円グラフ****複合グラフ**

※データ系列ごとに左側または右側のY軸の使用を指定できます。

積層グラフ



3.2.2 WEB_GRAPH

命令			
機能	グラフを配置します。		
書式	WEB_GRAPH <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
	任意の部品IDを指定します。		
	②	<垂直位置>	文字列
	表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
	③	<水平位置>	文字列
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	WEB_GRAPH_SETコマンドをご参照ください。		

3.2.3 WEB_GRAPH_SET

機能	グラフの設定を行います。		
書式	WEB_GRAPH_SET <①部品ID>, <②グラフ系列番号>, <③設定項目>, <④設定値>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
設定したい部品IDを指定します。			
	②	<グラフ系列番号>	数値
データを設定したいグラフの系列番号を指定します。 ※線グラフが常に手前に表示されます。			
	③	<設定項目>	定数
	④	<設定値>	文字列/数値
以下の設定項目、設定値を指定することで、グラフの設定ができます。			
■グラフの種類と系列数 下記の7種類の設定ができます。			
1) 棒グラフ 2) 折線グラフ 3) 円グラフ 4) 散布図 5) 濃淡図 6) 棒グラフ+折線グラフ 7) 積層グラフ			
■設定順序 本コマンドの設定項目は、下記の順序で設定してください。			
①最初の設定 グラフの種類を設定 AJAN_GRAPH_TYPE, AJAN_DATA_TYPE			
②各種設定 グラフの種類、系列数により、実行可能な設定項目が異なります。 以降の説明で、グラフの種類、系列数ごとに設定できる項目を記載します。			
③最後の設定 グラフの値を設定 AJAN_DATA			
④更新 ラベル設定 AJAN_GRAPH_LABEL_SETONLY データ設定 AJAN_DATA_SETONLY 画面更新 AJAN_GRAPH_REFRESH			
※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。			

対応表（グラフ種類 － 設定項目）

設定項目	グラフ種類					
	棒	折線	円	積層	濃淡	散布
グラフの種類設定	AJAN_GRAPH_TYPE	<input type="radio"/>				
グラフの種類設定（複合型）	AJAN_DATA_TYPE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
棒グラフを積層させるグループ	AJAN_DATA_STACK				<input type="radio"/>	
ラベル	AJAN_GRAPH_LABEL	<input type="radio"/>				
タイトル	AJAN_GRAPH_TITLE	<input type="radio"/>				
タイトルのサイズ	AJAN_GRAPH_TITLE_SIZE	<input type="radio"/>				
タイトルの文字色	AJAN_GRAPH_TITLE_COLOR	<input type="radio"/>				
グラフの向き	AJAN_GRAPH_HORIZONTAL	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
横幅	AJAN_GRAPH_WIDTH	<input type="radio"/>				
高さ	AJAN_GRAPH_HEIGHT	<input type="radio"/>				
背景色	AJAN_GRAPH_BACKGROUND_COLOR	<input type="radio"/>				
グリッドの線色	AJAN_GRAPH_GRID_COLOR	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グリッドの太さ	AJAN_GRAPH_GRID_WIDTH	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軸目盛の文字色	AJAN_GRAPH_TICKS_COLOR	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸目盛の文字色	AJAN_GRAPH_X_TICKS_COLOR	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸目盛の文字色	AJAN_GRAPH_Y_TICKS_COLOR	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軸目盛の文字サイズ	AJAN_GRAPH_TICKS_SIZE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸目盛の文字サイズ	AJAN_GRAPH_X_TICKS_SIZE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸目盛の文字角度	AJAN_GRAPH_X_TICKS_ROTATE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸目盛の対数設定	AJAN_GRAPH_X_TICKS_LOGARITHMIC					<input type="radio"/>
Y軸目盛の対数設定	AJAN_GRAPH_Y_TICKS_LOGARITHMIC	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
Y軸目盛の対数設定(右側)	AJAN_GRAPH_Y_TICKS_LOGARITHMIC_RIGHT	<input type="radio"/>				
軸ラベル文字色	AJAN_GRAPH_SCALE_LABEL_COLOR	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
軸ラベル文字サイズ	AJAN_GRAPH_SCALE_LABEL_SIZE	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸ラベル	AJAN_GRAPH_X_LABEL	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸ラベル	AJAN_GRAPH_Y_LABEL	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸ラベル(右側)	AJAN_GRAPH_Y_LABEL_RIGHT	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
X軸最大値	AJAN_GRAPH_X_MAX					<input type="radio"/>
X軸最小値	AJAN_GRAPH_X_MIN					<input type="radio"/>
Y軸最大値	AJAN_GRAPH_Y_MAX	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸最小値	AJAN_GRAPH_Y_MIN	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸最大値(右側)	AJAN_GRAPH_Y_MAX_RIGHT	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Y軸最小値(右側)	AJAN_GRAPH_Y_MIN_RIGHT	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
凡例の名称	AJAN_DATA_NAME	<input type="radio"/>				
凡例の文字色	AJAN_DATA_NAME_COLOR	<input type="radio"/>				

設定項目	グラフ種類					
	棒	折線	円	積層	濃淡	散布
凡例の文字サイズ	AJAN_DATA_NAME_FONT_SIZE	<input type="radio"/>				
凡例の表示/非表示	AJAN_DATA_NAME_DISPLAY	<input type="radio"/>				
データ領域の色	AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
データ線色	AJAN_DATA_BORDER_COLOR	<input type="radio"/>				
グラフ線の太さ	AJAN_DATA_BORDER_WIDTH	<input type="radio"/>				
グラフ線の破線設定	AJAN_DATA_BORDER_DASH		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
グラフ線の曲線度合い	AJAN_DATA_LINE_TENSION		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
離散値表示	AJAN_DATA_STEPPED_LINE		<input type="radio"/>			
参照するY軸の左右配置	AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
先頭にデータを追加	AJAN_DATA_ADD_FIRST	<input type="radio"/>				
末尾にデータを追加	AJAN_DATA_ADD_LAST	<input type="radio"/>				
グラフの点の形	AJAN_DATA_POINT_STYLE				<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
グラフの点の半径	AJAN_DATA_POINT_RADIUS		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
データ表示 有効／無効(指定系列)	AJAN_GRAPH_DATA_VISIBLE	<input type="radio"/>				
データラベル表示 有効／無効(全系列)	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_DISP	<input type="radio"/>				
データラベル表示 有効／無効(指定系列)	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_VISIBLE	<input type="radio"/>				
円グラフ データラベル表示形式	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_TYPE			<input type="radio"/>		
データラベルのフォントサイズ	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_FONT_SIZE	<input type="radio"/>				
データラベルのフォント色	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_COLOR	<input type="radio"/>				
データラベルの小数点以下桁数	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_DECIMAL_PLACES	<input type="radio"/>				
データラベルのオフセット位置	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_OFFSET	<input type="radio"/>				
積層グラフ データラベルのオフセット位置	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_STACK_OFFSET				<input type="radio"/>	
データラベルの表示する最小値	AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_VISIBLE_MIN	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
データの強度のカラーパターン	AJAN_GRAPH_DATA_COLOR_PATTERN				<input type="radio"/>	
データの強度の最大値	AJAN_GRAPH_DATA_MAX				<input type="radio"/>	
データの強度の最小値	AJAN_GRAPH_DATA_MIN				<input type="radio"/>	
全データ削除	AJAN_GRAPH_DATA_REMOVE_ALL	<input type="radio"/>				
積層グラフ 合計データラベル 全データ表示	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_DISP				<input type="radio"/>	
積層グラフ 合計データラベル グループごとの表示	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_VISIBLE				<input type="radio"/>	
積層グラフ 合計データラベル フォントサイズ	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_FONT_SIZE				<input type="radio"/>	
積層グラフ 合計データラベル フォント色	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_COLOR				<input type="radio"/>	

設定項目	グラフ種類					
	棒	折線	円	積層	濃淡	散布
積層グラフ 合計データラベル 小数点以下桁数	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_DECIMAL_PLACES			○		
積層グラフ 合計データラベル オフセット位置	AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_STACK_OFFSET			○		
水平線を引く	AJAN_GRAPH_DRAW_LINE_HORIZONTAL	○	○	○	○	
垂直線を引く	AJAN_GRAPH_DRAW_LINE_VERTICAL	○	○	○	○	
グラフ部品 有効／無効	AJAN_WEB_VISIBLE	○	○	○	○	○
グラフ部品 重なり順番	AJAN_WEB_ZINDEX	○	○	○	○	○
グラフ部品 削除	AJAN_WEB_REMOVE	○	○	○	○	○
グラフ部品 吹き出し	AJAN_WEB_TOOLTIP	○	○	○	○	○
グラフ部品 上端からの位置	AJAN_WEB_TOP	○	○	○	○	○
グラフ部品 左端からの位置	AJAN_WEB_LEFT	○	○	○	○	○
データセット＆グラフ表示	AJAN_DATA	○	○	○	○	○
X軸ラベルセットのみ (AJAN_GRAPH_REFRESHで表示)	AJAN_GRAPH_LABEL_SETONLY	○	○	○	○	
データのセットのみ (AJAN_GRAPH_REFRESHで表示)	AJAN_DATA_SETONLY	○	○	○	○	○
グラフ表示更新	AJAN_GRAPH_REFRESH	○	○	○	○	○
設定の保存 (全系列)	AJAN_GRAPH_CONFIG_SAVE_ALL	○	○	○	○	○
設定の復元 (全系列)	AJAN_GRAPH_CONFIG_LOAD_ALL	○	○	○	○	○
設定の復元 (指定系列)	AJAN_GRAPH_CONFIG_LOAD	○	○			○

①最初の設定

③設定項目	④設定値
グラフの種類設定 AJAN_GRAPH_TYPE	"BAR" : 棒グラフ（初期値） "LINE" : 折線グラフ "PIE" : 円グラフ "BAR" : 棒グラフ "SCATTER" : 散布図 "SHADE" : 濃淡図
グラフの種類設定（複合型） AJAN_DATA_TYPE	"LINE" : 折線グラフ（複合型） "BAR" : 棒グラフ（複合型），積層グラフ ※棒グラフ+折線グラフの複合型は、系列ごとに" BAR"か" LINE"を指定してください。

②設定

③設定項目	④設定値
棒グラフを積層させるグループ AJAN_DATA_STACK	積層させるグループ番号 ("0"から始まる数字) 各系列に対して、本項目に"0"を設定すると、各系列のデータが一つのグループに積層されます。 例："2" グループ番号2へ積層させる。
ラベル (X軸の項目名と表示件数) AJAN_GRAPH_LABEL	X軸の項目名と件数 を示す1次元の文字列配列 ※グラフのX軸に表示する件数は、本配列の件数で指定します。 グラフのX軸に 20件のデータを表示する場合： → 20件のデータを持つ配列を指定。 (例： DIM LABEL\$(19) で定義した一次元配列) ※本項目の設定は 必須です。 ※カンマ区切りの文字列でも設定できます。
タイトル AJAN_GRAPH_TITLE	表示したい文字列
タイトルのサイズ AJAN_GRAPH_TITLE_SIZE	タイトルサイズ
タイトルの文字色 AJAN_GRAPH_TITLE_COLOR	タイトル文字の色
グラフの向き AJAN_GRAPH_HORIZONTAL	グラフの向き AJAN_TRUE : 横向き AJAN_FALSE : 縦向き（初期値）
横幅 AJAN_GRAPH_WIDTH	グラフ幅
高さ AJAN_GRAPH_HEIGHT	グラフ高さ
背景色 AJAN_GRAPH_BACKGROUND_COLOR	グラフ全体背景色
グリッドの軸線色 AJAN_GRAPH_GRID_COLOR	軸線色
グリッドの太さ AJAN_GRAPH_GRID_WIDTH	軸線太さ
軸目盛の文字色 AJAN_GRAPH_TICKS_COLOR	軸目盛文字色

X軸目盛の文字色 AJAN_GRAPH_X_TICKS_COLOR	X軸目盛文字色
Y軸目盛の文字色 AJAN_GRAPH_Y_TICKS_COLOR	Y軸目盛文字色
軸目盛の文字サイズ AJAN_GRAPH_TICKS_SIZE	軸目盛文字サイズ
X軸目盛の文字サイズ AJAN_GRAPH_X_TICKS_SIZE	X軸目盛文字サイズ
X軸目盛の文字角度 AJAN_GRAPH_X_TICKS_ROTATE	X軸目盛文字角度
X軸目盛の対数設定 AJAN_GRAPH_X_TICKS_LOGARITHMIC	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効(初期値)
Y軸目盛の対数設定 AJAN_GRAPH_Y_TICKS_LOGARITHMIC	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効(初期値)
Y軸目盛の対数設定(右側) AJAN_GRAPH_Y_TICKS_LOGARITHMIC_RIGHT	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効(初期値)
軸ラベル文字色 AJAN_GRAPH_SCALE_LABEL_COLOR	軸ラベル文字色
軸ラベル文字サイズ AJAN_GRAPH_SCALE_LABEL_SIZE	軸ラベル文字サイズ
X軸ラベル AJAN_GRAPH_X_LABEL	表示したい文字列
Y軸ラベル(左側) AJAN_GRAPH_Y_LABEL	表示したい文字列
Y軸ラベル(右側) AJAN_GRAPH_Y_LABEL_RIGHT	表示したい文字列
X軸最大値 AJAN_GRAPH_X_MAX	設定したい値 例:"100"
X軸最小値 AJAN_GRAPH_X_MIN	設定したい値 例:"-10"
Y軸最大値 AJAN_GRAPH_Y_MAX	設定したい値 例:"100"
Y軸最小値 AJAN_GRAPH_Y_MIN	設定したい値 例:"-10"
Y軸最大値(右側) AJAN_GRAPH_Y_MAX_RIGHT	設定したい値 例:"100"
Y軸最小値(右側) AJAN_GRAPH_Y_MIN_RIGHT	設定したい値 例:"-10"
凡例の名称 AJAN_DATA_NAME	凡例の文字列
凡例の文字色 AJAN_DATA_NAME_COLOR	凡例の文字色
凡例の文字サイズ AJAN_DATA_NAME_FONT_SIZE	凡例の文字サイズ
凡例の表示/非表示 AJAN_DATA_NAME_DISPLAY	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
データ領域の色 AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR	グラフのデータ領域色 ※枠内の色を設定します。

	<p>データ線色 AJAN_DATA_BORDER_COLOR</p> <p>グラフ線の太さ AJAN_DATA_BORDER_WIDTH</p> <p>グラフ線の破線設定 AJAN_DATA_BORDER_DASH</p> <p>グラフの線の曲線度合い AJAN_DATA_LINE_TENSION</p> <p>離散値表示 AJAN_DATA_STEPPED_LINE</p> <p>参照するY軸の左右配置 AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE</p> <p>先頭にデータを追加 AJAN_DATA_ADD_FIRST</p> <p>末尾にデータを追加 AJAN_DATA_ADD_LAST</p>	<p>グラフのデータ線色</p> <p>棒グラフ : 枠線の色 折線グラフ : 線の色 円グラフ : 枠線の色 カンマ区切りでデータ毎に指定可能 散布図 : データの点の色 および、点をつなぐ線の色</p> <p>グラフの線の太さ</p> <p>棒グラフ : 枠線の太さ 折線グラフ : 線の太さ 円グラフ : 枠線の太さ 散布図 : 点をつなぐ線の太さ (初期値"0")</p> <p>グラフ線を破線に設定</p> <p>書式 : 線の部分の長さ, 線と線の幅</p> <p>例 : "10,5" グラフの線を、線の長さを10, 線と線の間隔を5 の破線に指定します。</p> <p>" " 破線設定を削除します。 (実線になります)</p> <p>"0" : 折線表示(初期値) "0.1"~ "0.9" : 曲線表示 例 : "0.4"</p> <p>※曲線を指定した場合は、ベジェ曲線のテンション(張り具合)を示します。 "0" (直線)から、"0.1"、"0.2"と 値を増やしていくことによって 徐々に 直線→曲線に変わっていきます。</p> <p>AJAN_TRUE : 離散値表示 AJAN_FALSE : 離散値表示しない(初期値)</p> <p>※離散値(ステップ状のグラフ)は、デジタル値(連続的なアナログデータではなく 0, 1等の値の表示に適しています)。</p> <p>"Y_LEFT" : 左側(初期値) "Y_RIGHT" : 右側</p> <p>※グラフの向きを横向き(AJAN_GRAPH_HORIZONTAL)を横向きに設定した場合、本設定に関わらずY軸は左側になります。</p> <p>追加対象データ(文字列)</p> <p>※現在の表示データは1つずつ後に移動し、末尾データは削除されます。</p> <p>追加対象データ(文字列)</p> <p>※現在の表示データは1つずつ前に移動し、先頭データは削除されます。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

グラフの点の形 AJAN_DATA_POINT_STYLE	グラフの点の形を下記より選択する（大文字、小文字を正しく指定してください） “circle”（初期値） “cross” “crossRot” “dash” “line” “rect” “rectRounded” “rectRot” “star” “triangle”
グラフの点の半径 AJAN_DATA_POINT_RADIUS	グラフの点の半径 “0”を設定した場合の動作 濃淡図：自動調整（初期値） その他：点を非表示
データ表示 有効／無効(指定系列) AJAN_GRAPH_DATA_VISIBLE	AJAN_TRUE : データ表示（初期値） AJAN_FALSE : データ非表示
データラベル表示 有効／無効（全系列） AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_DISP	AJAN_TRUE : データラベル表示 AJAN_FALSE : データラベル非表示（初期値）
データラベル表示 有効／無効(指定系列) AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_VISIBLE	AJAN_TRUE : データラベル表示（初期値） AJAN_FALSE : データラベル非表示 ※AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_DISPがAJAN_TRUEの場合有効。
円グラフ データラベル表示形式 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_TYPE	データラベルの表示形式を指定します。 “VALUE” : 値（初期値） “PERCENT” : パーセント表示 “BOTH” : 値とパーセント表示
データラベルのフォントサイズ AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_FONT_SIZE	グラフ上データラベルのフォントサイズ 例：“16”
データラベルのフォント色 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_COLOR	グラフ上データラベルのフォント色 例：“RED”
データラベルの小数点以下桁数 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_DECIMAL_PLACES	グラフ上データラベル 小数点以下桁数 例： “0”小数点以下表示なし（初期値） “2”小数点以下2桁表示
データラベルのオフセット位置 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_OFFSET	グラフ上のデータラベルのオフセット位置 例：“-10” ※グラフ値の増加方向が正の値、減少方向が負の値です。
積層グラフ データラベルのオフセット位置 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_STACK_OFFSET	積層グラフのデータラベルのオフセット位置 例：“-10” ※グラフ値の増加方向が正の値、減少方向が負の値です。
データラベルを表示する最小値 AJAN_GRAPH_DATA_LABEL_VISIBLE_MIN	グラフ上のデータラベルを表示する最小値 データが、ここで設定した最小値以上であればラベルを表示します。 書式 “[<表示する最小値>]:[<VISIBLE/HIDDEN>]” 例： “10” : データが10未満を非表示 “”（空文字） : 全データラベルを表示（初期値） 下記書式も受け付けます。 “10:HIDDEN” : データラベル表示する最小値を設定 “HIDDEN” : 全データラベルを非表示 “10:VISIBLE” : 全データラベルを表示 “VISIBLE” : 同上

	データの強度のカラーパターン AJAN_GRAPH_DATA_COLOR_PATTERN	"blue_green_red" : 青(低) - 緑(中) - 赤(高) "gray" : 黒(低) - 灰(中) - 白(高)
	データの強度の最大値 AJAN_GRAPH_DATA_MAX	AJAN_GRAPH_DATA_COLOR_PATTERNの最高となる値 例："100" 入力するデータに応じて設定してください。
	データの強度の最小値 AJAN_GRAPH_DATA_MIN	AJAN_GRAPH_DATA_COLOR_PATTERNの最低となる値 例："0" 入力するデータに応じて設定してください。
	全データ削除 AJAN_GRAPH_DATA_REMOVE_ALL	"" (空文字) : 全系列のデータと設定を削除します
	積層グラフ 合計データラベル 全データ表示 AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_DISP	AJAN_TRUE : 合計データラベル表示 AJAN_FALSE : 合計データラベル非表示 (初期値)
	積層グラフ 合計データラベル グループごとの表示 AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_VISIBLE	AJAN_TRUE : 合計データラベル表示 (初期値) AJAN_FALSE : 合計データラベル非表示 ※AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_DISPがAJAN_TRUEの場合有効。 ※グラフ系列番号には、設定を適用したいグループ番号に含まれる系列番号を指定してください。
	積層グラフ 合計データラベル フォントサイズ AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_FONT_SIZE	積層グラフの合計データラベルのフォントサイズ 例："16"
	積層グラフ 合計データラベル フォント色 AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_COLOR	積層グラフの合計データラベルのフォント色 例："RED"
	積層グラフ 合計データラベル 小数点以下桁数 AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_DECIMAL_PLACES	積層グラフの合計データラベル 小数点以下桁数 例： "0"小数点以下表示なし (初期値) "2"小数点以下2桁表示
	積層グラフ 合計データラベル オフセット位置 AJAN_GRAPH_TOTAL_LABEL_STACK_OFFSET	積層グラフの合計データラベルのオフセット位置 例：" -10 " ※グラフ値の増加方向が正の値、減少方向が負の値です。
	水平線を引く AJAN_GRAPH_DRAW_LINE_HORIZONTAL	水平線の情報 書式： Y軸の位置, 線の太さ, 線の色 Y軸の位置は、データ系列1の目盛りの単位です。 ※グラフが横向きの場合はラベル単位です。 例： "75,4,#ff9090" Y軸の75の位置に 太さ4、色#ff9090の水平線を引きます。 " 全水平線を削除します。 ※線は何本でも引くことができます。 ※""を指定すると、全水平線を削除します。

垂直線を引く AJAN_GRAPH_DRAW_LINE_VERTICAL	<p>垂直線の情報</p> <p>書式： X軸の位置, 線の太さ, 線の色</p> <p>X軸の位置は、データ系列のラベル単位です。 ※グラフが横向きの場合は目盛りの単位です。</p> <p>例： "7.0,2,#33FF00" X軸の7の位置に 太さ2、色#33FF00の垂直線を引きます。</p> <p>※X軸の位置は小数点1桁まで指定できます。</p> <p>例： 棒グラフの場合、3を指定すると3本目の棒の左側に線を表示。3.5を指定すると3本目の棒の中央に線を引きます。</p> <p>" " 全垂直線を削除します。</p> <p>※線は何本でも引くことができます。 ※""を指定すると、全水直線を削除します。</p>
グラフ部品 有効／無効 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
グラフ部品 重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
グラフ部品 削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
グラフ部品吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
グラフ部品 上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
グラフ部品 左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
設定の保存 (全系列) AJAN_GRAPH_CONFIG_SAVE_ALL	"" (空文字列を指定) WEB_GRAPH_SETコマンドで設定した全系列の設定を保存します。何度も保存できますが、保存できる設定は最後の保存した1つです。グラフ系列番号の指定は何でも構いません。
設定の復元 (全系列) AJAN_GRAPH_CONFIG_LOAD_ALL	"" (空文字列を指定) AJAN_GRAPH_CONFIG_SAVE_ALLで保存した設定を復元します。AJAN_GRAPH_DATA_REMOVE_ALLでグラフを消した後、同じ設定でデータを書き直す場合にご使用ください。
設定の復元 (指定系列) AJAN_GRAPH_CONFIG_LOAD	"" (空文字列を指定) AJAN_GRAPH_CONFIG_SAVE_ALLで保存した設定を系列単位で復元します。AJAN_GRAPH_DATA_REMOVE_ALLでグラフを消した後、系列の構成を変えてデータを書き直す場合にご使用ください。

③最後の設定	
③設定項目	④設定値
グラフの値 (散布図、濃淡図以外) AJAN_DATA	<p>グラフデータを指定。 データは 1次元の文字列配列、1次元の数値配列、カンマ区切り文字列のいずれかが指定できます。</p> <p>例： 1次元の文字列配列で指定 DIM DATA1\$(3) = ["22", "28", "33", "26"] DATA1\$ を指定</p> <p>1次元の数字配列で指定 DIM DATA1(3) = [22, 28, 33, 26] DATA1 を指定</p> <p>カンマ区切り文字列で指定 "200,500,400,700"</p> <p>一部のデータを欠損させる(グラフに描画させない)ことができます。</p> <p>欠損データの指定方法： 1次元の文字列配列、カンマ区切り文字列の場合は "" (空文字列)を指定すると欠損データになります。 例：["22", "28", "", "26"]</p> <p>1次元の数字配列の場合は AJAN_NO_NUM を指定すると欠損データになります。 例：[22, 28, AJAN_NO_NUM, 26]</p> <p>※積層グラフで、一部のデータを描画したくない場合は、積層させるグループ番号の同じ列のデータに "" (空文字列)または AJAN_NO_NUM を指定してください。</p> <p>例： DIM DATA1\$(3) = ["22", "", "33", "26"] 'グループ番号0 DIM DATA2\$(3) = ["83", "", "10", "29"] 'グループ番号0</p>
グラフの値 (散布図) AJAN_DATA	<p>グラフデータを指定。 データは、x軸の値の配列と、y軸の値の配列を、2次元配列で指定します。</p> <p>イメージ： [[x1, x2, x3, . . .], [y1, y2, y3, . . .]]</p> <p>2次元の数値配列、2次元配列書式の文字列 のいずれかが指定できます。</p> <p>例： 2次元の数値配列で指定 DIM DATA1(1,3) = [22;28;33;26, 51;58;64;81]</p> <p>2次元配列書式の文字列で指定 DATA1\$ = "[[10,20,30,40],[20,30,40,50]]"</p> <p>一部のデータを欠損させる(グラフに描画させない)ことができます。</p> <p>欠損データの指定方法： 数値配列の場合は AJAN_NO_NUM を指定すると欠損データになります。 例：[22;28;33;AJAN_NO_NUM, 51;58;64;AJAN_NO_NUM]</p>

<p>グラフの値（濃淡図） AJAN_DATA</p>	<p>グラフデータを指定。 データは、2次元配列で指定します。</p> <p>X軸の列を データは、2次元配列でデータの強度を指定します。x軸の値の配列を、y軸方向に積み上げるイメージです。</p> <p>イメージ： <code>[[data0, data1, data2, ...], [data10, data11, data12, ...], : [data90, data91, data92, ...]]</code></p> <p>尚、画面上の表示は、下から上に積み上がる所以、ご注意ください。</p> <p>2次元の数値配列、2次元配列書式の文字列 のいずれかが指定できます。</p> <p>例： 2次元の数値配列で指定 <code>DIM DATA1(3,3) = [46;20;31;26, 51;58;64;81, 84;34;91;56, 44;19;55;38]</code></p> <p>2次元配列書式の文字列で指定 <code>DATA1\$ = "[[10,20,30,40],[20,30,40,50], [60,70,80,90],[100,110,120,130]]"</code></p>
---------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

④更新

③設定項目	④設定値
グラフのラベル(X軸の項目名)のセットのみ AJAN_GRAPH_LABEL_SETONLY	<p>設定値は、AJAN_GRAPH_LABELと同様。</p> <p>※本コマンドは、ラベルのセットのみで、画面への反映は行いません。</p> <p>※本コマンドの使用用途は、AJAN_GRAPH_REFRESHの備考をご参照ください。</p>
データのセットのみ AJAN_DATA_SETONLY	<p>設定値は、AJAN_DATAと同様。</p> <p>※本コマンドは、データのセットのみで、画面への反映は行いません。</p> <p>※本コマンドの使用用途は、AJAN_GRAPH_REFRESHの備考をご参照ください。</p>
グラフ画面を更新 AJAN_GRAPH_REFRESH	<p>空の文字列: ""</p> <p>AJAN_GRAPH_LABEL_SETONLY、 AJAN_DATA_SETONLYで ラベルや複数系列のデータを設定した後、本コマンドで画面への反映を行ってください。</p>

文例1

```

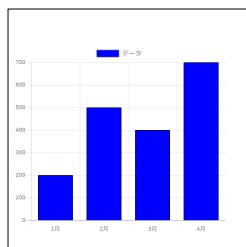
INCLUDE "WEB.AJN"

'部品ID「GRAPH1」のグラフを配置
WEB_GRAPH      "GRAPH1", "10", "10"

'棒グラフの色を設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH1", 1, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "BLUE"

'棒グラフにデータを設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_LABEL,   "1月,2月,3月,4月"
WEB_GRAPH_SET "GRAPH1", 1, AJAN_DATA,           "200,500,400,700"

```



文例2

```

INCLUDE "WEB.AJN"

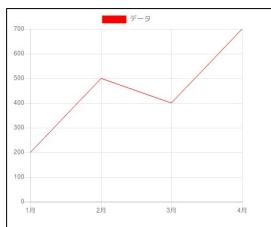
'部品ID「GRAPH2」のグラフを配置
WEB_GRAPH      "GRAPH2", "10", "10"

'部品ID「GRAPH2」のグラフを、折線グラフに設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH2", 1, AJAN_GRAPH_TYPE,   "LINE"

'折線グラフの色を設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH2", 1, AJAN_DATA_BORDER_COLOR, "RED"

'折線グラフにデータを設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH2", 1, AJAN_GRAPH_LABEL,   "1月,2月,3月,4月"
WEB_GRAPH_SET "GRAPH2", 1, AJAN_DATA,           "200,500,400,700"

```



文例3

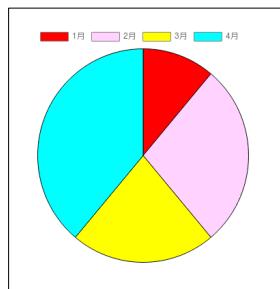
```
INCLUDE "WEB.AJN"

'部品ID「GRAPH3」のグラフを設置
WEB_GRAPH      "GRAPH3", "50", "50"

'部品ID「GRAPH3」のグラフを、円グラフに設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH3", 1, AJAN_GRAPH_TYPE, "PIE"

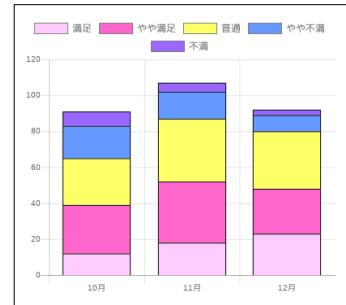
'円グラフのデータごとの色を設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH3", 1, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "赤,#FFCCFF,YELLOW,空"

'円グラフにデータを設定
WEB_GRAPH_SET "GRAPH3", 1, AJAN_GRAPH_LABEL, "1月,2月,3月,4月"
WEB_GRAPH_SET "GRAPH3", 1, AJAN_DATA,           "200,500,400,700"
```



文例4	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「GRAPH4」の複合グラフを設置 WEB_GRAPH "GRAPH4", "60", "100" 'グラフ1,2は折線グラフ。グラフ3,4は棒グラフ。 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_DATA_TYPE, "LINE" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 2, AJAN_DATA_TYPE, "LINE" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 3, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 4, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" 'グラフ1は気温、グラフ2は湿度のグラフ。 'グラフ3は男性入場者、グラフ4は女性入場者のグラフ。 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_DATA_NAME, "気温" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 2, AJAN_DATA_NAME, "湿度" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 3, AJAN_DATA_NAME, "男性入場者" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 4, AJAN_DATA_NAME, "女性入場者" 'グラフ1～4の色を設定 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_DATA_BORDER_COLOR, "#FF6633" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 2, AJAN_DATA_BORDER_COLOR, "#6633CC" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 3, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#99FFFF" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 4, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#FF99CC" 'グラフ1,2は左側のY軸を参照するように設定 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE, "Y_LEFT" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 2, AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE, "Y_LEFT" 'グラフ3,4は左側のY軸を参照するように設定 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 3, AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE, "Y_RIGHT" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 4, AJAN_DATA_Y_AXIS_SIDE, "Y_RIGHT" 'グラフの左右のY軸のラベルを設定 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_GRAPH_Y_LABEL_LEFT, "温度 [°C] / 湿度 [%]" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_GRAPH_Y_LABEL_RIGHT, "人数 [千人]" 'グラフに表示するデータを設定 WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_GRAPH_LABEL, "6月,7月,8月,9月" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 1, AJAN_DATA, "22,28,33,26" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 2, AJAN_DATA, "70,40,50,45" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 3, AJAN_DATA, "260,650,520,310" WEB_GRAPH_SET "GRAPH4", 4, AJAN_DATA, "580,200,160,480" </pre>
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

文例5	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" DIM LABEL\$(2) = ["10月", "11月", "12月"] DIM DATA1(2) = [12, 18, 23] DIM DATA2(2) = [27, 34, 25] DIM DATA3(2) = [26, 35, 32] DIM DATA4(2) = [18, 15, 9] DIM DATA5(2) = [8, 5, 3] '積層グラフの配置 WEB_GRAPH "ID_GRAPH1", "40", "40" '各グラフの形状を設定 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 3, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 4, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 5, AJAN_DATA_TYPE, "BAR" '各グラフを積層させるグループ番号を指定 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_STACK, "0" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_STACK, "0" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 3, AJAN_DATA_STACK, "0" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 4, AJAN_DATA_STACK, "0" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 5, AJAN_DATA_STACK, "0" '各グラフの内容を設定 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_NAME, "満足" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_NAME, "やや満足" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 3, AJAN_DATA_NAME, "普通" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 4, AJAN_DATA_NAME, "やや不満" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 5, AJAN_DATA_NAME, "不満" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#FFCCFF" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#FF66CC" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 3, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#FFFF66" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 4, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#6699FF" WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 5, AJAN_DATA_BACKGROUND_COLOR, "#9966FF" 'グラフ表示データ設定 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_LABEL, LABEL\$ WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA, DATA1 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA, DATA2 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 3, AJAN_DATA, DATA3 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 4, AJAN_DATA, DATA4 WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 5, AJAN_DATA, DATA5 </pre>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



文例6

```

INCLUDE "WEB.AJN"

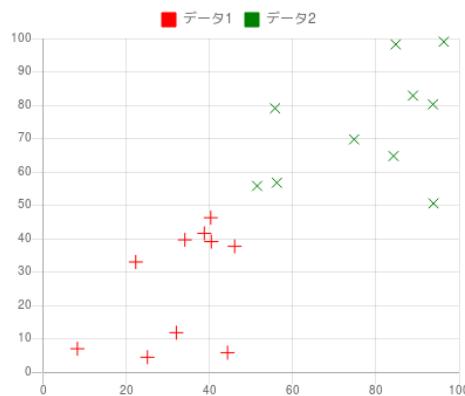
DIM DATA1(1,9)
DIM DATA2(1,9)

WEB_GRAPH      "ID_GRAPH1", "50", "40"
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_TYPE, "SCATTER"          '散布図
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_NAME, "データ1"           '凡例
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_NAME, "データ2"
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_BORDER_COLOR, "RED"        'データ1は赤
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_BORDER_COLOR, "GREEN"       'データ2は緑
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_POINT_STYLE, "cross"        '点の形(+)
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_POINT_STYLE, "crossRot"      '点の形(×)
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA_POINT_RADIUS, "6"           '点のサイズ(半径)
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA_POINT_RADIUS, "6"           '点のサイズ(半径)

'散布データ作成(10点×2系統)
FOR CNTxy = 0 TO 1
    FOR CNTi = 0 TO 9
        DATA1(CNTxy, CNTi) = RND(1) * 50
        DATA1(CNTxy, CNTi) = RND(1) * 50
        DATA2(CNTxy, CNTi) = 50 + RND(1) * 50
        DATA2(CNTxy, CNTi) = 50 + RND(1) * 50
    NEXT CNTi
NEXT CNTxy

'データをグラフに設定
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA, DATA1
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 2, AJAN_DATA, DATA2

```



文例7

```

INCLUDE "WEB.AJN"

DATA_NUM = 100          '一辺のデータ数 (100 * 100 = 10000データ)

WEB_PAGE_SET AJAN_PAGE_TITLE, "濃淡図"
WEB_LABEL     "ID_LABEL1", "20", "50", "濃淡図"

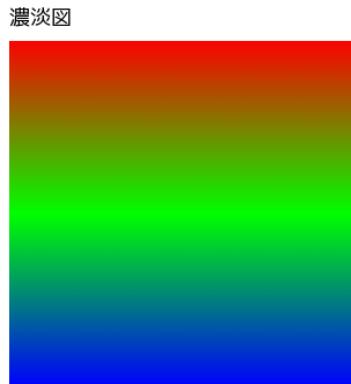
'濃淡図を配置、設定
WEB_GRAPH     "ID_GRAPH1", "50", "50"
'グラフ部品を配置
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_TYPE, "shade"      '濃淡図とする
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_WIDTH, "300"        '横幅
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_HEIGHT, "300"       '縦幅
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_DATA_MAX, "100"      'データ最大値
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_GRAPH_DATA_MIN, "0"        'データ最小値

'データ作成
LIST DATA_N
REDIM DATA_N(DATA_NUM-1, DATA_NUM-1)

FOR CNTY = 0 TO DATA_NUM-1
    FOR CNTX = 0 TO DATA_NUM-1
        DATA_N(CNTY,CNTX) = CNTY
    NEXT CNTX
NEXT CNTY

'データ設定
WEB_GRAPH_SET "ID_GRAPH1", 1, AJAN_DATA, DATA_N

```



3.3 テキストボックス

3.3.1 概要

Web上にテキストボックスを表示します。文字入力もできます。
ボタンやイベント部品と組み合わせることで、入力したデータをAJAN側で処理できます。

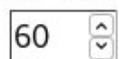
テキストボックスの各種形式

テキストボックスは、設定により以下のような形式で使用することができます。

- ・テキスト形式 (AJAN_TEXT_TYPE : TEXT)



- ・数字入力形式 (AJAN_TEXT_TYPE : NUMBER)



- ・スライダー形式 (AJAN_TEXT_TYPE : RANGE)



- ・色選択形式 (AJAN_TEXT_TYPE : COLOR)

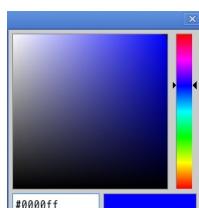


クリック

Firefoxの場合



Chromiumの場合



※ブラウザの種類、バージョンによって若干体裁が異なる場合があります。

テキストボックスに候補リストを出す

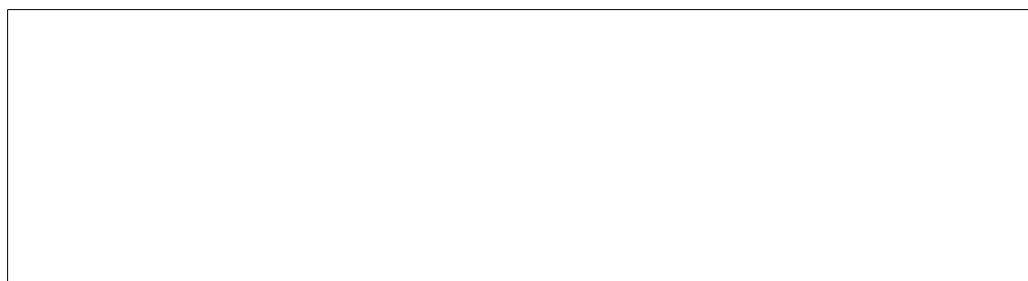
テキストボックスに入力候補となる候補リストを設定して、データ入力時に候補リストから選択してデータ入力することができます。

候補リストは、AJAN側から自由に設定することができます。

候補リストの設定は、設定するデータの特性によって、以下を使い分けるのが適切です。

※以下の具体的な動作例につきましては、テキストボックスのサンプルプログラムをご参照下さい。

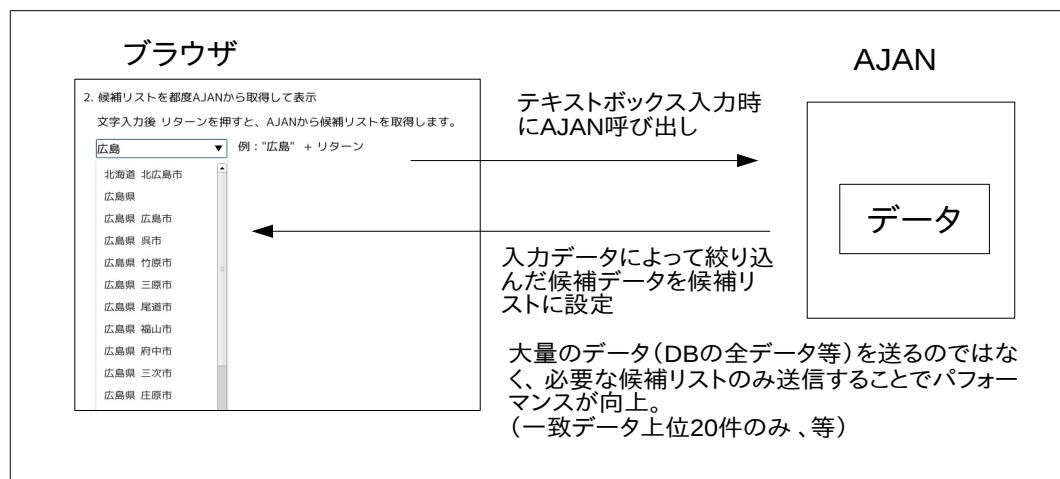
- (1) 候補リストのデータが固定で、データ量が少ない場合:
予めテキストボックスの配置時に候補リストを設定して使用します。



- (2) 入力内容によって候補リストを個別に設定したい場合や、候補リストが大量にある場合:

テキストボックスへの入力内容によって、AJAN内のデータ（データベースやデータファイルからの取得データなどを含む）を検索して、候補を絞り込んでいく場合などは、本方法が適しています。

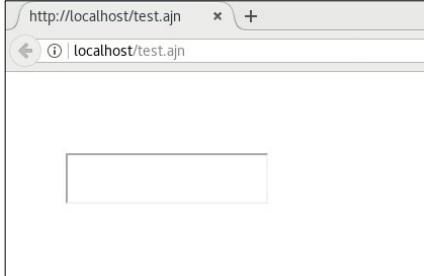
最初から大量の候補リスト（数百、数千件～）をテキストボックスへ設定すると、データをブラウザに設定するために時間がかかり、ページ表示速度の低下が発生します。
よって、検索対象が大量にある場合は、絞り込んだデータのみをAJANから都度送り込むようにします。



テキストボックスの内容によって候補リストを動的に設定するには、以下の流れになります。

- ① テキストボックスのデータ変更時にAJANを呼び出す。
- ② AJAN内でテキストボックス内のデータに対する候補リストを作成して、テキストボックスに設定する。

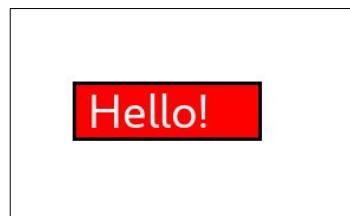
3.3.2 WEB_TEXT

命令		
機 能	テキストボックスを配置します。	
書 式	WEB_TEXT <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「TEXT1」のテキストを、ページの上端から80ピクセル、 '左端から60ピクセルの位置に配置 WEB_TEXT "TEXT1", "80", "60"</pre> 	

3.3.3 WEB_TEXT_SET

命令																												
機能	テキストボックスの設定を行います。																											
書式	WEB_TEXT_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																											
パラメータ	①	<部品ID> 文字列 設定したい部品IDを指定します。																										
	②	<設定項目> 定数 ③ <設定値> 文字列 以下の設定項目、設定値を指定することで、テキストボックスの設定ができます。																										
		<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキストの内容 AJAN_TEXT_VALUE</td><td>表示したい文字列</td></tr> <tr> <td>テキストの幅 AJAN_TEXT_WIDTH</td><td>テキスト幅 例："160"</td></tr> <tr> <td>テキストの高さ AJAN_TEXT_HEIGHT</td><td>テキスト高さ 例："30"</td></tr> <tr> <td>テキストのタイプ AJAN_TEXT_TYPE</td><td>"TEXT" : テキスト形式（初期値） "NUMBER" : 数字入力形式 "RANGE" : スライダー形式 "COLOR" : 色選択形式 "PASSWORD" : パスワード形式 "DATE" : 日付形式（カレンダー表示可能）※ ※"DATE"は、L8のFireFoxは非対応です。</td></tr> <tr> <td>テキストの文字サイズ AJAN_TEXT_FONT_SIZE</td><td>文字サイズ 例："24"</td></tr> <tr> <td>テキストの文字色 AJAN_TEXT_COLOR</td><td>文字色</td></tr> <tr> <td>テキストの背景色 AJAN_TEXT_BACKGROUND_COLOR</td><td>背景色</td></tr> <tr> <td>プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXT_PLACEHOLDER</td><td>初期表示するヒント文字列 "住所を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。</td></tr> <tr> <td>最小値 AJAN_TEXT_MIN</td><td>テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最小値</td></tr> <tr> <td>最大値 AJAN_TEXT_MAX</td><td>テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最大値</td></tr> <tr> <td>スライダーの数値表示 AJAN_TEXT_GUIDE</td><td>テキストの対応がスライダー形式の場合の数値表示（スライダーの下側中央に表示します） AJAN_TRUE : 表示 AJAN_FALSE : 非表示</td></tr> <tr> <td>テキストの枠線の太さ AJAN_TEXT_BORDER_WIDTH</td><td>枠線の太さ 例："3"</td></tr> </tbody> </table>	②設定項目	③設定値	テキストの内容 AJAN_TEXT_VALUE	表示したい文字列	テキストの幅 AJAN_TEXT_WIDTH	テキスト幅 例："160"	テキストの高さ AJAN_TEXT_HEIGHT	テキスト高さ 例："30"	テキストのタイプ AJAN_TEXT_TYPE	"TEXT" : テキスト形式（初期値） "NUMBER" : 数字入力形式 "RANGE" : スライダー形式 "COLOR" : 色選択形式 "PASSWORD" : パスワード形式 "DATE" : 日付形式（カレンダー表示可能）※ ※"DATE"は、L8のFireFoxは非対応です。	テキストの文字サイズ AJAN_TEXT_FONT_SIZE	文字サイズ 例："24"	テキストの文字色 AJAN_TEXT_COLOR	文字色	テキストの背景色 AJAN_TEXT_BACKGROUND_COLOR	背景色	プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXT_PLACEHOLDER	初期表示するヒント文字列 "住所を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。	最小値 AJAN_TEXT_MIN	テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最小値	最大値 AJAN_TEXT_MAX	テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最大値	スライダーの数値表示 AJAN_TEXT_GUIDE	テキストの対応がスライダー形式の場合の数値表示（スライダーの下側中央に表示します） AJAN_TRUE : 表示 AJAN_FALSE : 非表示	テキストの枠線の太さ AJAN_TEXT_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例："3"
②設定項目	③設定値																											
テキストの内容 AJAN_TEXT_VALUE	表示したい文字列																											
テキストの幅 AJAN_TEXT_WIDTH	テキスト幅 例："160"																											
テキストの高さ AJAN_TEXT_HEIGHT	テキスト高さ 例："30"																											
テキストのタイプ AJAN_TEXT_TYPE	"TEXT" : テキスト形式（初期値） "NUMBER" : 数字入力形式 "RANGE" : スライダー形式 "COLOR" : 色選択形式 "PASSWORD" : パスワード形式 "DATE" : 日付形式（カレンダー表示可能）※ ※"DATE"は、L8のFireFoxは非対応です。																											
テキストの文字サイズ AJAN_TEXT_FONT_SIZE	文字サイズ 例："24"																											
テキストの文字色 AJAN_TEXT_COLOR	文字色																											
テキストの背景色 AJAN_TEXT_BACKGROUND_COLOR	背景色																											
プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXT_PLACEHOLDER	初期表示するヒント文字列 "住所を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。																											
最小値 AJAN_TEXT_MIN	テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最小値																											
最大値 AJAN_TEXT_MAX	テキストのタイプが数字入力形式またはスライダー形式の場合の最大値																											
スライダーの数値表示 AJAN_TEXT_GUIDE	テキストの対応がスライダー形式の場合の数値表示（スライダーの下側中央に表示します） AJAN_TRUE : 表示 AJAN_FALSE : 非表示																											
テキストの枠線の太さ AJAN_TEXT_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例："3"																											

テキストの枠線の形状 AJAN_TEXT_BORDER_STYLE	"NONE"(なし。初期値) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)
テキストの枠線の色 AJAN_TEXT_BORDER_COLOR	枠色
テキストの左右揃えの位置 AJAN_TEXT_ALIGN	"LEFT"(左揃え。初期値) "CENTER"(中央) "RIGHT"(右揃え)
テキストボックスの候補リスト AJAN_TEXT_SUGGEST_SET	表示する候補リストのデータを1次元の文字列配列で指定。 例： DIM DATA_LIST1\$(4) DATA_LIST1\$ = ["東京", "大阪", "名古屋", "広島", "大分"] DATA_LIST1\$ を指定する。 ※候補リストを設定すると、テキストボックス上で上下キー、または候補文字列の入力により選択リストが開いて選択入力もできるようになります。
テキストボックスの候補リストを開く AJAN_TEXT_SUGGEST_OPEN	"" (空文字) ※実行すると、ブラウザ上で候補リストの候補が表示されます。
フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	"" (空文字)
テキストボックスの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。
テキストボックスの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
テキストボックスの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1" ~ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
テキストボックスの無効化 AJAN_TEXT_DISABLED	AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化(初期値)
テキストボックスの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
テキストボックスの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
CSS設定 AJAN_WEB_CSS	CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。

文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" ' 部品ID「TEXT1」のテキストボックスを配置します。 WEB_TEXT "TEXT1", "80", "60" ' テキストボックスの内容を「Hello!」にします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_VALUE, "Hello!" ' テキストボックスの幅を160ピクセルにします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_WIDTH, "160" ' テキストボックスの高さを50ピクセルにします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_HEIGHT, "50" ' テキストボックスの文字サイズを40ピクセルにします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_FONT_SIZE, "40" ' テキストボックスの文字色を白にします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_COLOR, "WHITE" ' テキストボックスの背景色を赤にします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_BACKGROUND_COLOR, "RED" ' テキストボックスの枠線幅を3ピクセルにします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_BORDER_WIDTH, "3" ' テキストボックスの枠線形状を実線にします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_BORDER_STYLE, "SOLID" ' テキストボックスの枠線色を黒にします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_BORDER_COLOR, "BLACK" ' テキストボックス内の文字を中央揃えにします。 WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_TEXT_ALIGN, "CENTER" </pre> 
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.4 テキストエリア(複数行テキストボックス)

3.4.1 概要

Web上にテキストエリア(複数行テキストボックス)を表示します。

文字入力もできます。

ボタンやイベント部品と組み合わせることで、入力したデータをAJAN側で処理できます。

3.4.2 WEB_TEXTAREA

命令		
機 能	テキストエリア(複数行テキストボックス)を配置します。	
書 式	WEB_TEXTAREA <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	文 例	
INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「TEXTAREA1」のテキストエリアを配置 WEB_TEXTAREA "TEXTAREA1", "80", "60"		

3.4.3 WEB_TEXTAREA_SET

命令																									
機能	テキストエリア(複数行テキストボックス)の設定を行います。																								
書式	WEB_TEXTAREA_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																								
パラメータ	①	<部品ID>	文字列																						
	設定したい部品IDを指定します。																								
	②	<設定項目>	定数																						
	③	<設定値>	文字列																						
	以下の設定項目、設定値を指定することで、テキストエリア(複数行テキストボックス)の設定ができます。																								
	<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。</p>																								
	<p>※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表示する文字列 AJAN_TEXTAREA_VALUE</td> <td>例: "hello, world." ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)</td> </tr> <tr> <td>テキストエリアの幅(文字数指定) AJAN_TEXTAREA_COLS</td> <td>横幅(一行の文字数) 例: "40" *1</td> </tr> <tr> <td>テキストエリアの高さ(行数指定) AJAN_TEXTAREA_ROWS</td> <td>縦幅(行数) 例: "3" *2</td> </tr> <tr> <td>テキストエリアの幅 AJAN_TEXTAREA_WIDTH</td> <td>横幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *1</td> </tr> <tr> <td>テキストエリアの高さ AJAN_TEXTAREA_HEIGHT</td> <td>縦幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *2</td> </tr> <tr> <td>文字サイズ AJAN_TEXTAREA_FONT_SIZE</td> <td>文字サイズ 例: "20"</td> </tr> <tr> <td>文字色 AJAN_TEXTAREA_COLOR</td> <td>文字色</td> </tr> <tr> <td>背景色 AJAN_TEXTAREA_BACKGROUND_COLOR</td> <td>背景色</td> </tr> <tr> <td>プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXTAREA_PLACEHOLDER</td> <td>表示するヒント文字列 "本文を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。</td> </tr> <tr> <td>枠線の太さ AJAN_TEXTAREA_BORDER_WIDTH</td> <td>枠線の太さ 例"3"</td> </tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	表示する文字列 AJAN_TEXTAREA_VALUE	例: "hello, world." ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)	テキストエリアの幅(文字数指定) AJAN_TEXTAREA_COLS	横幅(一行の文字数) 例: "40" *1	テキストエリアの高さ(行数指定) AJAN_TEXTAREA_ROWS	縦幅(行数) 例: "3" *2	テキストエリアの幅 AJAN_TEXTAREA_WIDTH	横幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *1	テキストエリアの高さ AJAN_TEXTAREA_HEIGHT	縦幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *2	文字サイズ AJAN_TEXTAREA_FONT_SIZE	文字サイズ 例: "20"	文字色 AJAN_TEXTAREA_COLOR	文字色	背景色 AJAN_TEXTAREA_BACKGROUND_COLOR	背景色	プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXTAREA_PLACEHOLDER	表示するヒント文字列 "本文を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。	枠線の太さ AJAN_TEXTAREA_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例"3"
②設定項目	③設定値																								
表示する文字列 AJAN_TEXTAREA_VALUE	例: "hello, world." ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)																								
テキストエリアの幅(文字数指定) AJAN_TEXTAREA_COLS	横幅(一行の文字数) 例: "40" *1																								
テキストエリアの高さ(行数指定) AJAN_TEXTAREA_ROWS	縦幅(行数) 例: "3" *2																								
テキストエリアの幅 AJAN_TEXTAREA_WIDTH	横幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *1																								
テキストエリアの高さ AJAN_TEXTAREA_HEIGHT	縦幅(ピクセル単位で指定) 例: "300" *2																								
文字サイズ AJAN_TEXTAREA_FONT_SIZE	文字サイズ 例: "20"																								
文字色 AJAN_TEXTAREA_COLOR	文字色																								
背景色 AJAN_TEXTAREA_BACKGROUND_COLOR	背景色																								
プレースホルダー (初期表示するヒント) AJAN_TEXTAREA_PLACEHOLDER	表示するヒント文字列 "本文を入力してください" ※プレースホルダーは、実際にデータの入力を開始すると消えます。																								
枠線の太さ AJAN_TEXTAREA_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例"3"																								

枠線の形状 AJAN_TEXTAREA_BORDER_STYLE	"NONE"(なし。初期値) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)
枠線の色 AJAN_TEXTAREA_BORDER_COLOR	枠色
左右位置設定 AJAN_TEXTAREA_ALIGN	"LEFT"(左揃え。初期値) "CENTER"(中央) "RIGHT"(右揃え)
右端での折り返し AJAN_TEXTAREA_OVERFLOW	AJAN_TRUE : 折り返さない AJAN_FALSE : 折り返す(初期値)
テキストエリアの無効化 AJAN_TEXTAREA_DISABLED	AJAN_TRUE : 無効 AJAN_FALSE : 有効(初期値)
最下行までスクロールする AJAN_TEXTAREA_ROLLUP	AJAN_TRUE : 無効(初期値) AJAN_FALSE : 有効 AJAN_TEXTAREA_VALUEで、テキストエリアの高さを超える行数のデータを設定した時に、最下行が見えるようスクロールする設定。
フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	""(空文字)
テキストエリアの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。
テキストエリアの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
テキストエリアの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1" ~ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
テキストエリアの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
テキストエリアの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
CSS設定 AJAN_WEB_CSS	CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。

*1 テキストエリアの幅は、AJAN_TEXTAREA_COLSか AJAN_TEXTAREA_WIDTHのいずれかを指定できます。

*2 テキストエリアの高さは、AJAN_TEXTAREA_ROWSか AJAN_TEXTAREA_HEIGHTのいずれかを指定できます。

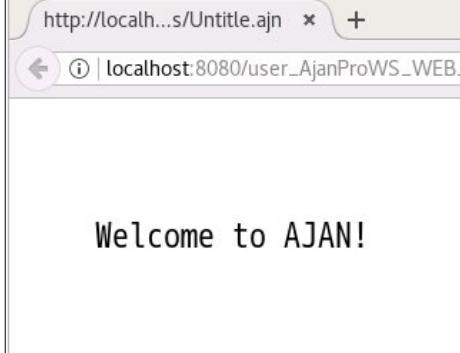
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'テキストエリア (複数行のテキストボックス) WEB_TEXTAREA "TEXTAREA1", "50", "40" 'テキストエリア配置 WEB_TEXTAREA_SET "TEXTAREA1", AJAN_TEXTAREA_COLS, "40" '横幅(一行の文字数) WEB_TEXTAREA_SET "TEXTAREA1", AJAN_TEXTAREA_ROWS, "6" '縦幅(行数) WEB_TEXTAREA_SET "TEXTAREA1", AJAN_TEXTAREA_FONT_SIZE, "20" '文字サイズ DATA\$ = "複数行入力できるテキスト領域です。\\n改行もできます。" WEB_TEXTAREA_SET "TEXTAREA1", AJAN_TEXTAREA_VALUE, DATA\$ 'データ</pre> 
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.5 ラベル

3.5.1 概要

Web上にラベル(文字列)を表示します。

3.5.2 WEB_LABEL

命令		
機能	ラベルを配置します。	
書式	WEB_LABEL <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>, <④表示内容>	
パラメータ	1. ①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	④	<表示内容> Web上に表示する内容を指定します。 ※改行する場合は、"\n"を入力してください。
	INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「LABEL1」のラベルを設置し、「Welcome to AJAN!」と表示します。 WEB_LABEL "LABEL1", "80", "60", "Welcome to AJAN!"	
		

3.5.3 WEB_LABEL_SET

命令		
機能	ラベルの設定を行います。	
書式	WEB_LABEL_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>	
パラメータ	① <部品ID>	文字列
	設定したい部品IDを指定します。	
	② <設定項目>	定数
	③ <設定値>	文字列／定数
	以下の設定項目、設定値を指定することで、ラベルの設定ができます。	
	※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。	
②設定項目		③設定値
ラベルの内容 AJAN_LABEL_VALUE	表示したい文字列 ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。) ※自動改行は、AJAN_LABEL_AUTO_LFの設定項目をご参照ください。	
ラベルの幅 AJAN_LABEL_WIDTH	ラベルの幅 例："150"	
ラベルの高さ AJAN_LABEL_HEIGHT	ラベルの高さ 例："30"	
ラベルの文字フォント種類 AJAN_LABEL_FONT_TYPE	フォント種類 例："Arial"	
ラベルの文字サイズ AJAN_LABEL_FONT_SIZE	文字サイズ 例："20"	
ラベルの文字色 AJAN_LABEL_COLOR	文字色	
ラベルの背景色 AJAN_LABEL_BACKGROUND_COLOR	背景色	
ラベルのHTML有効化 AJAN_LABEL_HTML_ENABLE	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効(初期値)	
ラベルの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示	
ラベルの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。	
ラベルの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)	
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"	
ラベル枠線の色 AJAN_LABEL_BORDER_COLOR	枠線の色	
ラベル枠線の幅 AJAN_LABEL_BORDER_WIDTH	枠線の幅	

	<p>枠線の幅左右揃えの位置 AJAN_LABEL_ALIGN</p>	<p>"LEFT"(左揃え。初期値) "CENTER"(中央) "RIGHT"(右揃え)</p>
	<p>ラベルの角を丸くする AJAN_LABEL_BORDER_RADIUS</p>	<p>"5" : 角を丸くする円弧の半径 "" : 角を丸くしない(初期値) ※枠線が無く、背景色だけの場合も有効。</p>
	<p>ラベルの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</p>	<p>ブラウザの上端からの位置</p>
	<p>ラベルの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</p>	<p>ブラウザの左端からの位置</p>
	<p>リンク設定(カレントウインドウ) AJAN_LABEL_LINK</p>	<p>"URL=<リンク先のURL>" URL : リンク先のURL ラベルをクリックすると、カレントウインドウに指定したURLを表示します。 URLにオプション(クエリーストリング)を含めることができます。その場合、URL全体をWEB URI ENCODE\$コマンドでパーセントエンコーディングした文字列に変換して指定してください。(ご参考:文例3) ※AJAN_LABEL_HTML_ENABLEとの併用はできません。</p>
	<p>リンク設定(指定フレーム) AJAN_LABEL_LINK_FRAME</p>	<p>"URL=<リンク先のURL>, FRAME=<リンク先を表示するフレームのID>" FRAME : WEB_FRAMEコマンドで指定した部品ID ラベルをクリックすると、指定したフレームに、指定したURLを表示します。 URLにオプション(クエリーストリング)を含めることができます。その場合、URL全体をWEB URI ENCODE\$コマンドでパーセントエンコーディングした文字列に変換して指定してください。(ご参考:文例3)</p>
	<p>リンク設定(新規ウインドウ) AJAN_LABEL_LINK_WINDOW</p>	<p>"URL=<リンク先のURL>, WIDTH=<ピクセル値>, HEIGHT=<ピクセル値>, LEFT=<ピクセル値>, TOP=<ピクセル値>, DEPENDENT=<yes no>" パラメータ説明(URL以外) WIDTH : ウィンドウの横幅 HEIGHT : ウィンドウの高さ LEFT : ウィンドウの左上の水平位置 TOP : ウィンドウの左上の垂直位置 DEPENDENT : 親ウインドウを閉じたときの挙動設定 yes 親ウインドウが閉じたら一緒に閉じる。 no 親ウインドウに連動しない。 ラベルをクリックすると、ウィンドウを開き、指定したURLを表示します。 WIDTH, HEIGHT, LEFT, TOPのいずれも設定されていなければタブを開き、いずれか設定があれば、新規にウィンドウを開きます。 URLにオプション(クエリーストリング)を含めることができます。その場合、URL全体をWEB URI ENCODE\$コマンドでパーセントエンコーディングした文字列に変換して指定してください。(ご参考:文例3)</p>

	<p>リンク先のウインドウを閉じる AJAN_LABEL_CLOSE_WINDOW</p> <p>"" (空文字)</p> <p>AJAN_LABEL_LINK_WINDOWで開いたウインドウを閉じる。</p>
	<p>CSS設定 AJAN_WEB_CSS</p> <p>CSSのプロパティを設定 例: "color:red;" "cursor:crosshair;"</p> <p>複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。 文例6に設定例を記載しています。</p>
	<p>自動改行設定 AJAN_LABEL_AUTO_LF</p> <p>AJAN_TRUE : 右端で自動改行する AJAN_FALSE : 右端で自動改行しない (初期値)</p>
	<p>枠を吹き出し風にする AJAN_LABEL_SPEAK_BALOON</p> <p>指定した方向にくちばし形の三角形を表示します。</p> <p>"" : 非表示 (初期値) "TOP" : 上側 "RIGHT" : 右側 "BOTTOM" : 下側 "LEFT" : 左側</p> <p>※色は基本的に枠の色 (AJAN_LABEL_BORDER_COLOR) です。但し、枠の幅が0の場合、ラベルの背景色を枠の色に適用します。背景色とくちばしの色を違う色にしたい場合、この設定の後で枠の色 (AJAN_LABEL_BORDER_COLOR) を設定してください。</p>
	<p>マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_LABEL_MOUSE_HOVER</p> <p>"BRIGHT" : 部品を光らせる "POINTER" : マウスカーソルを人差し指の形にする "ARROW" : マウスカーソルを矢印の形にする "" : 設定なし</p> <p>下記組み合わせが可能 (半角スペースで区切る) "BRIGHT POINTER" "BRIGHT ARROW"</p> <p>※AJAN_LABEL_SPEAK_BALOONとの併用はできません。</p>
文 例 1	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'ラベルを配置します。 WEB_LABEL "LABEL1", "80", "60", "Welcome to AJAN!" '3秒待って、ラベルの内容、文字サイズ、文字色を変更します。 SLEEP(3) WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_VALUE, "Interface" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "60" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_COLOR, "青"</pre>
文 例 2	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'ラベルを配置して次々とデータを書き換える例です。 'ラベルの配置は一回のみで、ラベルセットで内容を書き換えます。 WEB_LABEL "LABEL1", "80", "60", "" '1秒毎に内容を書き換えます FOR I = 0 TO 9 STEP 1 WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_VALUE, "DATA: " + STR\$(I) SLEEP 1 NEXT I</pre>

文 例3	<p>'リンクの例① INCLUDE "WEB.AJN"</p> <p>' 「リンク」をクリックすると、指定したURLに切り替わります。 WEB_LABEL "LABEL1", "10", "10", "リンク" URL\$ = "6_web_frame_page.htm" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_LINK, "URL=" + URL\$</p> <p>URLにパラメータ（クエリーストリング）を含める場合、上記のURL\$の部分を以下のようにWEB URI ENCODE\$でパーセントエンコーディングしてご使用ください。</p> <p>URL\$ = WEB URI ENCODE\$("6_web_frame_page.htm?a=10&b=20")</p> <p>上記は、a=10 と b=20 の2つのパラメータを含めた例です。</p> <p>また、リンク先が かんたんWEBのアプリの場合、AJAN_WEB\$でパラメータを受け取れます。 ご参考：予約されているグローバル変数</p>
文 例4	<p>'リンクの例② リンク先をフレームに表示 INCLUDE "WEB.AJN"</p> <p>' フレーム配置、設定 WEB_LABEL "", "10", "120", "ボタンで選択したWebページを、枠内に表示します。" WEB_FRAME "FRAME1", "40", "120" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_WIDTH, "400" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_HEIGHT, "200" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BACKGROUND_COLOR, "WHITE" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_WIDTH, "3" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_COLOR, "NAVY" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_STYLE, "SOLID"</p> <p>WEB_LABEL "LABEL1", "40", "20", "ページ1" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_COLOR, "BLUE" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_LINK_FRAME, "URL=6_web_frame_page.htm, FRAME=FRAME1"</p> <p>WEB_LABEL "LABEL2", "80", "20", "ページ2" WEB_LABEL_SET "LABEL2", AJAN_LABEL_COLOR, "GREEN" WEB_LABEL_SET "LABEL2", AJAN_LABEL_LINK_FRAME, "URL=6_web_frame_page2.htm, FRAME=FRAME1"</p>
文例5	<p>'リンクの例③ リンク先を新規ウインドウに表示 INCLUDE "WEB.AJN"</p> <p>' 「リンク」をクリックすると、新しいウインドウが開き、指定したURLのページを表示します WEB_LABEL "LABEL1", "10", "10", "リンク" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_LINK_WINDOW, "URL=6_web_frame_page.htm, TOP=100, LEFT=100, WIDTH=500, HEIGHT=300, dependent=yes"</p> <p>'3秒後、ウインドウを閉じます SLEEP(3) WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_CLOSE_WINDOW, ""</p>

文例6

AJAN_WEB_CSSの設定例です。各例は個別に（あるいは組み合わせて）ご使用ください。

' 例①：ラベルの端（枠線の内側）から文字までの隙間の大きさを設定する
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "padding: 10px;"

' 例②：ラベルを右側に配置する（左の位置設定は初期化、右からの位置を指定）
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "left:initial;"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "right:10px;"

' 例③：縦書き
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "writing-mode:tb-rl;"

' 例④：影1（横ずれ 縦ずれ ぼかし強度 影の色 を指定）
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "text-shadow:3px 3px 2px #663333;"

' 例⑤：影2（影を2つ指定）

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "text-shadow:1px 1px 0px #ffffff, 3px 3px 2px #663333;"

' 例⑥：飾り 下線(色指定付き)

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "text-decoration:underline red;"

' 例⑦：ボーダー影1（横ずれ 縦ずれ ぼかし強度 影長さ 影の色 を指定）

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "box-shadow:5px 5px 10px 0px #333333;"

' 例⑧：ボーダー影2（外側、内側 の影を指定）

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "box-shadow:5px 5px 10px 0px #333333, 5px 5px 10px 0px #333333 inset;"

' 例⑨：横位置センタリング

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "text-align:center;"

' 例⑩：縦位置センタリング

WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "display:grid;"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_WEB_CSS, "place-items:center;"

3.6 表

3.6.1 概要

Web上に表を表示します。

3.6.2 WEB_TABLE

命令		
機能	表を配置します。	
書式	WEB_TABLE <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラメータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
文例	WEB_TABLE_SETコマンドをご参照ください。	

3.6.3 WEB_TABLE_SET

命令																						
機能	表の設定をします。																					
書式	WEB_TABLE_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																					
パラメータ	① <部品ID>	文字列																				
	設定したい部品IDを指定します。																					
	② <設定項目>	定数																				
	③ <設定値>	数値 / 文字列																				
	以下の設定項目、設定値を指定することで、表の設定ができます。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>表の最上部の列名 AJAN_TABLE_COLUMN</td> <td>表示内容をまとめた1次元の文字列配列、または数値配列</td></tr> <tr> <td>表のデータ AJAN_TABLE_DATA</td> <td>設定値をまとめた2次元の文字列配列、または数値配列 1次元配列で指定した場合は行として扱われます。</td></tr> <tr> <td>表の幅 AJAN_TABLE_WIDTH</td> <td>表の幅 例："400"</td></tr> <tr> <td>表の高さ AJAN_TABLE_HEIGHT</td> <td>表の高さ 例："200"</td></tr> <tr> <td>ヘッダ行の背景色 AJAN_TABLE_COLUMN_BACKGROUND_COLOR</td> <td>ヘッダ行の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。</td></tr> <tr> <td>データ部分の背景色 AJAN_TABLE_DATA_BACKGROUND_COLOR</td> <td>データ部分の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。</td></tr> <tr> <td>表の文字サイズ (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_SIZE</td> <td>文字サイズ 例："26" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。</td></tr> <tr> <td>表の文字色 (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_COLOR</td> <td>文字色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。</td></tr> <tr> <td>指定列の列幅 AJAN_TABLE_COLUMN_WIDTH</td> <td>書式： 指定列,列幅 ※列幅はパーセントで指定することも可能です。 例： "2,100"</td></tr> </tbody> </table>		②設定項目	③設定値	表の最上部の列名 AJAN_TABLE_COLUMN	表示内容をまとめた1次元の文字列配列、または数値配列	表のデータ AJAN_TABLE_DATA	設定値をまとめた2次元の文字列配列、または数値配列 1次元配列で指定した場合は行として扱われます。	表の幅 AJAN_TABLE_WIDTH	表の幅 例："400"	表の高さ AJAN_TABLE_HEIGHT	表の高さ 例："200"	ヘッダ行の背景色 AJAN_TABLE_COLUMN_BACKGROUND_COLOR	ヘッダ行の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。	データ部分の背景色 AJAN_TABLE_DATA_BACKGROUND_COLOR	データ部分の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。	表の文字サイズ (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_SIZE	文字サイズ 例："26" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。	表の文字色 (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_COLOR	文字色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。	指定列の列幅 AJAN_TABLE_COLUMN_WIDTH	書式： 指定列,列幅 ※列幅はパーセントで指定することも可能です。 例： "2,100"
②設定項目	③設定値																					
表の最上部の列名 AJAN_TABLE_COLUMN	表示内容をまとめた1次元の文字列配列、または数値配列																					
表のデータ AJAN_TABLE_DATA	設定値をまとめた2次元の文字列配列、または数値配列 1次元配列で指定した場合は行として扱われます。																					
表の幅 AJAN_TABLE_WIDTH	表の幅 例："400"																					
表の高さ AJAN_TABLE_HEIGHT	表の高さ 例："200"																					
ヘッダ行の背景色 AJAN_TABLE_COLUMN_BACKGROUND_COLOR	ヘッダ行の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。																					
データ部分の背景色 AJAN_TABLE_DATA_BACKGROUND_COLOR	データ部分の背景色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。																					
表の文字サイズ (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_SIZE	文字サイズ 例："26" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。																					
表の文字色 (ヘッダ含む表全体) AJAN_TABLE_FONT_COLOR	文字色 例："RED" "#FF0000" ※表のデータ設定(AJAN_TABLE_DATA)より先に設定してください。																					
指定列の列幅 AJAN_TABLE_COLUMN_WIDTH	書式： 指定列,列幅 ※列幅はパーセントで指定することも可能です。 例： "2,100"																					

	<p>指定列の左右寄せ AJAN_TABLE_COLUMN_ALIGN</p>	<p>書式 : 指定列, 左右寄せ種類</p> <p>"LEFT" :左寄せ "CENTER" :中央寄せ "RIGHT" :右寄せ</p> <p>例 : "2,RIGHT" 二列目を右寄せに設定</p>
	<p>表の文字色 (指定した範囲) AJAN_TABLE_CELL_FONT_COLOR</p>	<p>指定したセル範囲+文字色</p> <p>書式 : 開始行:開始列, 終了行:終了列, 色</p> <p>※行、列は、表のデータ部分（ヘッダ行を除く）に対して1始まりで指定してください。</p> <p>※開始行、 開始列に "-"を指定するとテーブルの行/列の最小値指定と同等です。</p> <p>※終了行、 終了列に "-"を指定するとテーブルの行/列的最大値指定と同等です。</p> <p>※AJAN_TABLE_DATAより後に実行してください。</p> <p>※空文字 (" ") の指定で、指定した文字色を全てクリアします。</p> <p>例 : "1:1,1:2,BLUE" 行1:列1～行1:列2の文字色を設定</p> <p>"2:-,2:-,RED" 行2の文字色を設定</p> <p>"-:3,-:3,#00FF00" 列3の文字色を設定</p> <p>" " 指定した文字色を全てクリア</p>

表の背景色（指定した範囲） AJAN_TABLE_CELL_BACKGROUND_COLOR	<p>指定したセル範囲+文字色</p> <p>書式： 開始行:開始列,終了行:終了列,色</p> <p>※行、列は、表のデータ部分（ヘッダ行を除く）に対して1始まりで指定してください。</p> <p>※開始行、 開始列に "-" を指定するとテーブルの行/列の最小値指定と同等です。 ※終了行、 終了列に "-" を指定するとテーブルの行/列的最大値指定と同等です。</p> <p>※AJAN_TABLE_DATAより後に実行してください。</p> <p>※空文字（" "）の指定で、指定した背景色を全てクリアします。</p> <p>例： "1:1,1:2,BLUE" 行1:列1～行1:列2の背景色を設定</p> <p>"2:-,2:-,RED" 行2の背景色を設定</p> <p>"-:3,-:3,#00FF00" 列3の背景色を設定</p> <p>"" 指定した背景色を全てクリア</p>
表のデータ書き換え（1データ） AJAN_TABLE_CELL_DATA	<p>指定したセル範囲に、指定した1つの文字列を書きます。 単一セルの書き換えや、セル範囲のクリアなどに使えます。</p> <p>書式： 開始行:開始列,終了行:終了列,文字列</p> <p>※行、列は、表のデータ部分（ヘッダ行を除く）に対して1始まりで指定してください。</p> <p>※開始行、 開始列に "-" を指定するとテーブルの行/列の最小値指定と同等です。 ※終了行、 終了列に "-" を指定するとテーブルの行/列的最大値指定と同等です。</p> <p>例： "1:3,1:3,SuperCD" 行1:列3に文字列" SuperCD" を設定</p> <p>"2:-,2:-, " 行2を空白で埋める</p> <p>"1:2,1:2,¥80,000" 行1:列2に文字列" ¥80,000" を設定 ※2つ目より後のカンマ「,」は文字列に含めます。</p>
表の表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
表の重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~" 1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
表の削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)

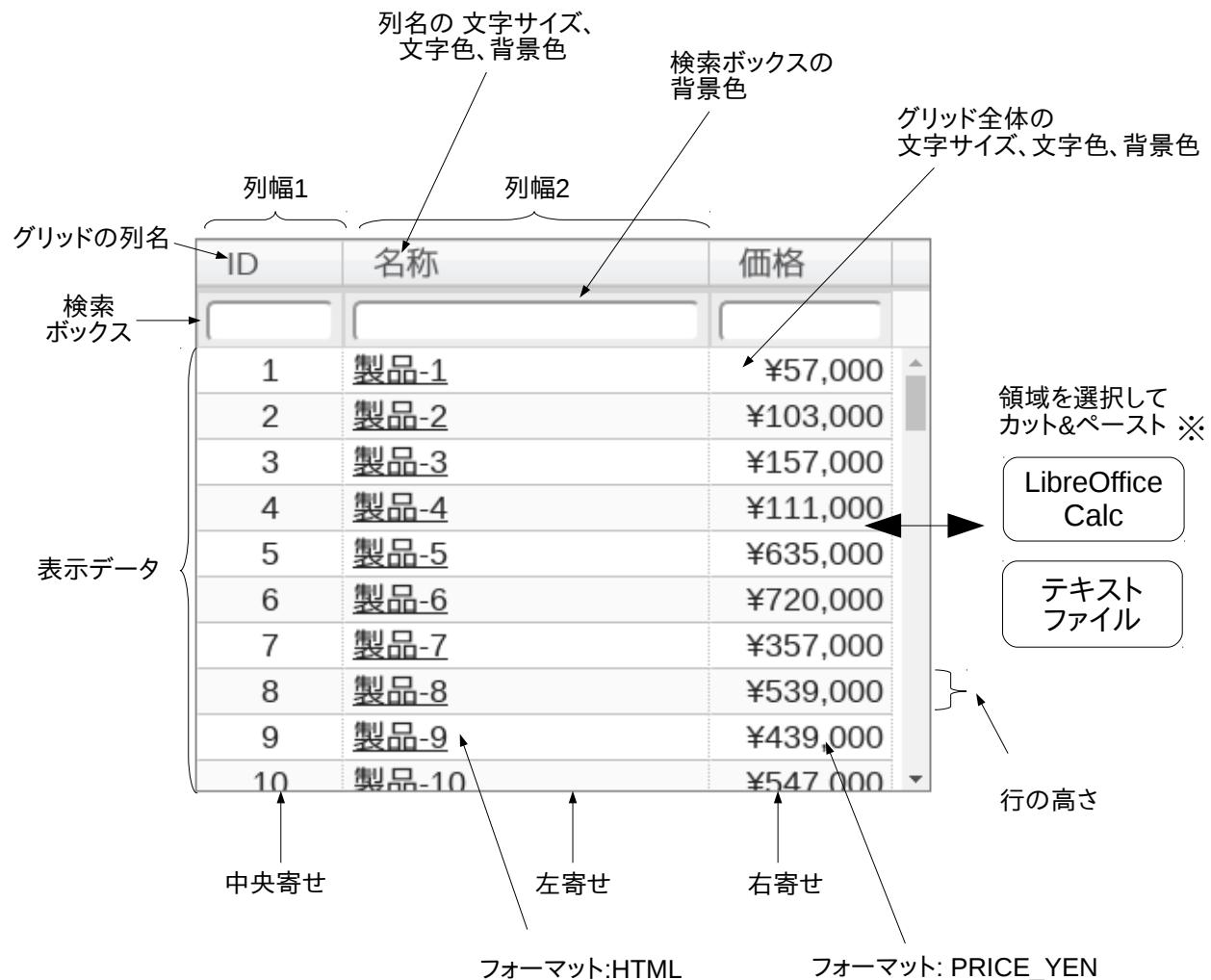
	<table border="1"> <tr> <td>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</td><td>吹き出し内容 例："xxです"</td></tr> <tr> <td>表の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td><td>ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>表の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td><td>ブラウザの左端からの位置</td></tr> <tr> <td>CSS設定 AJAN_WEB_CSS</td><td>CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。</td></tr> </table>	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"	表の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	表の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置	CSS設定 AJAN_WEB_CSS	CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"								
表の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置								
表の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置								
CSS設定 AJAN_WEB_CSS	CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。								
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" '表に表示する列名の設定 DIM COLUMN\$(2) COLUMN\$(0) = "ID" COLUMN\$(1) = "名称" COLUMN\$(2) = "価格" '表に表示する値の設定 DIM DATA\$(1, 2) DATA\$(0,0) ="01" DATA\$(0,1) ="SuperCD" DATA\$(0,2) ="¥98,000" DATA\$(1,0) ="02" DATA\$(1,1) ="通さん犬" DATA\$(1,2) ="¥99,000" '部品ID「TABLE1」の表を、Webページの上端から40ピクセル、 '左端から60ピクセルの位置に設置します。 WEB_TABLE "TABLE1", "40", "60" 'COLUMN\$の内容を列名として表示 WEB_TABLE_SET "TABLE1", AJAN_TABLE_COLUMN, COLUMN\$ 'DATA\$の内容を表の値として表示 WEB_TABLE_SET "TABLE1", AJAN_TABLE_DATA, DATA\$</pre> <p style="text-align: center;">設定項目「AJAN_TABLE_COLUMN」で表示</p>  <p style="text-align: center;">設定項目「AJAN_TABLE_DATA」で表示</p>								

3.7 データグリッド

3.7.1 概要

Web上にデータグリッドを表示します。

データグリッドは、一覧形式のデータ表示やスクロール、データ入力等が行えます。



※右クリックで行の追加/削除メニュー表示

※GRID内容のカット(コピー)&ペースト機能の対応は、Webブラウザによって異なります。

対応 :Chromium

非対応:FireFox

3.7.2 WEB_GRID

命令		
機能	データグリッドを配置します。	
書式	WEB_GRID <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラメータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	文例 WEB_GRID_SETコマンドをご参照ください。	

3.7.3 WEB_GRID_SET

命令														
機能	データグリッドの設定をします。													
書式	WEB_GRID_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値1>, <④設定値2>													
パラメータ	①	<部品ID> 設定したい部品IDを指定します。												
	②	<設定項目> 以下の設定項目、設定値を指定することで、データグリッドの設定ができます。												
	③	<設定値1> ※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。												
	④	<設定値2> ※以下の設定は設定項目名を変更しています。但し、変更前の名称も使用できます。												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>新設定項目名</th> <th>旧設定項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AJAN_GRID_HEADER_FONT_COLOR</td> <td>AJAN_GRID_COLUMN_FONT_COLOR</td> </tr> <tr> <td>AJAN_GRID_HEADER_FONT_SIZE</td> <td>AJAN_GRID_COLUMN_FONT_SIZE</td> </tr> <tr> <td>AJAN_GRID_HEADER_BACKGROUND_COLOR</td> <td>AJAN_GRID_COLUMN_BACKGROUND_COLOR</td> </tr> </tbody> </table>			新設定項目名	旧設定項目名	AJAN_GRID_HEADER_FONT_COLOR	AJAN_GRID_COLUMN_FONT_COLOR	AJAN_GRID_HEADER_FONT_SIZE	AJAN_GRID_COLUMN_FONT_SIZE	AJAN_GRID_HEADER_BACKGROUND_COLOR	AJAN_GRID_COLUMN_BACKGROUND_COLOR				
新設定項目名	旧設定項目名													
AJAN_GRID_HEADER_FONT_COLOR	AJAN_GRID_COLUMN_FONT_COLOR													
AJAN_GRID_HEADER_FONT_SIZE	AJAN_GRID_COLUMN_FONT_SIZE													
AJAN_GRID_HEADER_BACKGROUND_COLOR	AJAN_GRID_COLUMN_BACKGROUND_COLOR													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値1</th> <th>④設定値2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グリッドの列名 AJAN_GRID_COLUMN</td><td>列名をクリックしてソートする操作を有効にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 有効（初期値） AJAN_FALSE : 無効 ※ "" (空文字) は、AJAN_TRUEとして設定します。</td><td>グリッドの列名をカンマ区切りで設定。 例："ID,名称,価格"</td></tr> <tr> <td>設定するデータ AJAN_GRID_DATA</td><td>データの先頭行をデータグリッドの列名にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 先頭行を列名にする AJAN_FALSE : 先頭行を列名にしない（設定値2を全てデータとして扱います）</td><td>グリッド表示データを2次元の文字列配列で設定。 例： DIM DATA\$(2,1) DATA\$ = _ [["ID", "製品名"], _ ["01", "データ1"], _ ["02", "データ2"]]</td></tr> <tr> <td>指定列の列幅 AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH</td><td>列幅を指定する列番号を、列の左から1で始まる数字を指定。 例："2" 左から2番目の列を設定 空文字列を指定することで全ての列を指定できます。 ("AUTO"と"NONE"のみ)</td><td>列幅を指定 数値：ピクセル単位で指定 数値%：データグリッドの幅に対する割合で指定 "AUTO" : 自動設定 "NONE" : 自動設定を解除</td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値1	④設定値2	グリッドの列名 AJAN_GRID_COLUMN	列名をクリックしてソートする操作を有効にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 有効（初期値） AJAN_FALSE : 無効 ※ "" (空文字) は、AJAN_TRUEとして設定します。	グリッドの列名をカンマ区切りで設定。 例："ID,名称,価格"	設定するデータ AJAN_GRID_DATA	データの先頭行をデータグリッドの列名にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 先頭行を列名にする AJAN_FALSE : 先頭行を列名にしない（設定値2を全てデータとして扱います）	グリッド表示データを2次元の文字列配列で設定。 例： DIM DATA\$(2,1) DATA\$ = _ [["ID", "製品名"], _ ["01", "データ1"], _ ["02", "データ2"]]	指定列の列幅 AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH	列幅を指定する列番号を、列の左から1で始まる数字を指定。 例："2" 左から2番目の列を設定 空文字列を指定することで全ての列を指定できます。 ("AUTO"と"NONE"のみ)	列幅を指定 数値：ピクセル単位で指定 数値%：データグリッドの幅に対する割合で指定 "AUTO" : 自動設定 "NONE" : 自動設定を解除
②設定項目	③設定値1	④設定値2												
グリッドの列名 AJAN_GRID_COLUMN	列名をクリックしてソートする操作を有効にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 有効（初期値） AJAN_FALSE : 無効 ※ "" (空文字) は、AJAN_TRUEとして設定します。	グリッドの列名をカンマ区切りで設定。 例："ID,名称,価格"												
設定するデータ AJAN_GRID_DATA	データの先頭行をデータグリッドの列名にするかどうかのフラグ。 AJAN_TRUE : 先頭行を列名にする AJAN_FALSE : 先頭行を列名にしない（設定値2を全てデータとして扱います）	グリッド表示データを2次元の文字列配列で設定。 例： DIM DATA\$(2,1) DATA\$ = _ [["ID", "製品名"], _ ["01", "データ1"], _ ["02", "データ2"]]												
指定列の列幅 AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH	列幅を指定する列番号を、列の左から1で始まる数字を指定。 例："2" 左から2番目の列を設定 空文字列を指定することで全ての列を指定できます。 ("AUTO"と"NONE"のみ)	列幅を指定 数値：ピクセル単位で指定 数値%：データグリッドの幅に対する割合で指定 "AUTO" : 自動設定 "NONE" : 自動設定を解除												

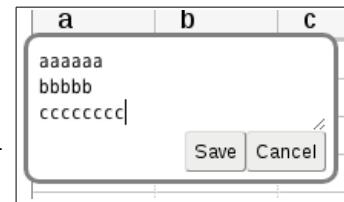
	<p>指定列の左右寄せ AJAN_GRID_COLUMN_ALIGN</p> <p>例："2" 左から2番めの列を設定</p>	<p>列幅を指定する列番号を、列の左から1始まる数字で指定。</p> <p>例："2" 左から2番めの列を設定</p>	<p>列の左右寄せ種類</p> <p>"LEFT" : 左寄せ "CENTER" : 中央寄せ "RIGHT" : 右寄せ</p>
	<p>指定列のフォーマット設定 AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT</p> <p>例："2" 左から2番めの列を設定</p>	<p>列幅を指定する列番号を、列の左から1始まる数字で指定。</p> <p>例："2" 左から2番めの列を設定</p>	<p>列のフォーマット種別</p> <p>"NUMBER" : 数値フォーマット ソート時に数値として扱います。</p> <p>"PRICE" : 金額フォーマット (カンマ区切り)</p> <p>"PRICE_YEN" : 金額フォーマット (円マーク+カンマ区切り)</p> <p>"HTML" : HTMLを有効にします。HTMLの各種タグを認識して表示します。</p> <p>"TEXT" : データをそのまま表示 (初期値)</p> <p>"LONGTEXT" : データをそのまま表示 改行を含む編集が可能です。</p> <p>"CHECK" : チェックボックスを表示</p> <p>"CALENDAR" : カレンダーを表示</p> <p>"SELECT" : 選択リストを表示</p> <p>".00" (ゼロと小数点の組み合わせ): 小数点以下の桁数指定。値は四捨五入されます。</p> <p>".00,ROUNDUP" : 小数点以下の桁数指定。値は切り上げられます。</p> <p>".00,ROUNDDOWN" : 小数点以下の桁数指定。値は切り下げられます。</p> <p>"PASSWORD" : 入力された文字が'●'で隠して表示されます。</p> <p>※列のフォーマット種別の詳細をご参照ください。</p>
	<p>検索ボックスの表示有無 AJAN_GRID_FILTER_ENABLE</p>	<p>"" (空文字列を指定)</p>	<p>AJAN_TRUE : 検索ボックスを表示する AJAN_FALSE : 検索ボックスを表示しない</p> <p>※データ設定(AJAN_GRID_DATA)より先に設定してください。</p> <p>※検索ボックスは、列ごとに入力した検索条件で部分一致のフィルタを設定することができます。</p> <p>※行の絞り込みにより、カーソル位置の行がなくなった場合、検索条件を設定した列の先頭行にカーソルを移動します。</p>

行の高さ AJAN_GRID_ROW_HEIGHT	"" (空文字列を指定)	1行の高さ 例："30"
データ全体の文字サイズ AJAN_GRID_FONT_SIZE	"" (空文字列を指定)	文字サイズ 例："26"
データ全体の文字色 AJAN_GRID_FONT_COLOR	"" (空文字列を指定)	文字色 例："RED" "#FF0000"
指定した範囲の文字色 AJAN_GRID_CELL_FONT_COLO R	"" (空文字列を指定)	書式: 開始行:開始列,終了行:終了列,色 ※行、列は1始まりで指定してください。 ※空文字 (" ") の指定で、指定した文字色を全てクリアします。 例: "1:1,1:2,BLUE"
指定した範囲の背景色 AJAN_GRID_CELL_BACKGROU NDS_COLOR	"" (空文字列を指定)	書式: 開始行:開始列,終了行:終了列,色 ※行、列は1始まりで指定してください。 ※空文字 (" ") の指定で、指定した背景色を全てクリアします。 例: "1:1,1:2,BLUE"
列名の文字色 AJAN_GRID_HEADER_FONT_CO LOR	"" (空文字列を指定)	列名の文字色 例："RED" "#FF0000"
列名の背景色 AJAN_GRID_HEADER_BACKGRO UND_COLOR	"" (空文字列を指定)	列名の背景色 例："RED" "#204a87"
列名の文字サイズ AJAN_GRID_HEADER_FONT_SI ZE	"" (空文字列を指定)	文字サイズ 例："26"
検索ボックス部分の背景色 AJAN_GRID_FILTER_BACKGRO UND_COLOR	"" (空文字列を指定)	検索ボックス部分の背景色 例："RED" "#FF0000"
データ部分の背景色 AJAN_GRID_DATA_BACKGROU NDS_COLOR	"" (空文字列を指定)	データ部分の背景色 例："RED" "#FF0000"
データグリッドの高さ AJAN_GRID_HEIGHT	"" (空文字列を指定)	データグリッドの高さ
データグリッドの幅 AJAN_GRID_WIDTH	"" (空文字列を指定)	データグリッドの幅
先頭に固定する行数 AJAN_GRID_FIXED_ROW	"" (空文字列を指定)	先頭に固定する行数 ※データ追加可能に設定する場合(AJAN_GRID_ADD_ENABLE に AJAN_TRUE を設定)、本設定を行わないでください(あるいは"0"を設定)。
左端に固定する列数 AJAN_GRID_FIXED_COLUMN	"" (空文字列を指定)	左端に固定する行数

	1ページあたりの表示行数 AJAN_GRID_PAGE_SIZE	"" (空文字列を指定)	"NONE" : ページ切り替えを無効にします。(初期値) "ALL" : ページ切り替えを有効にして、全行を表示します。 "数値" : ページ切り替えを有効にして、指定行数毎に表示します。
データ更新の許可 AJAN_GRID_UPDATE_ENABLE	"" (空文字列を指定)	データ全体の更新許可 AJAN_TRUE : 更新可能 AJAN_FALSE : 更新禁止 (初期値)	
	"COLUMN:1" 列番号を指定 "ROW:2" 行番号を指定	列、行単位の更新許可 AJAN_TRUE : 更新可能 (初期値) AJAN_FALSE : 更新禁止	本設定は、データ全体の更新許可が AJAN_TRUE に設定されている場合のみ有効です。
データ追加の許可 AJAN_GRID_ADD_ENABLE	"" (空文字列を指定)	データ追加許可 AJAN_TRUE : データ追加可能 AJAN_FALSE : データ追加禁止	※データ追加可能に設定する場合、固定行数の設定 (AJAN_GRID_FIXED_ROW) を行わないでください (あるいは"0"を設定)。
右クリックメニューの許可 AJAN_GRID_MENU_ENABLE	"" (空文字列を指定)	右クリックメニューの表示を制御します。右クリックメニューでは行や列の追加、削除を行えます。 AJAN_TRUE : 右クリックメニュー表示 AJAN_FALSE : 右クリックメニュー非表示 (初期値)	
ソート AJAN_GRID_SORT	"1" 列番号を指定	AJAN_TRUE : 増加順 AJAN_FALSE : 減少順	
ソート条件をリセット AJAN_GRID_SORT_RESET	"" (空文字列を指定)	"" (空文字列を指定)	
指定列を削除 AJAN_GRID_DELETE_COLUMN	"" (空文字列を指定)	削除する列 例 : "2,5" 2列目と5列目を削除	
データグリッドの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	"" (空文字列を指定)	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示	非表示の場合は操作できません。
データグリッドの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"" (空文字列を指定)	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。	
データグリッドの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)	"" (空文字列を指定)	
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	"" (空文字列を指定)	吹き出し内容 例 : "xxです"	
データグリッドの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	"" (空文字列を指定)	ブラウザの上端からの位置	
データグリッドの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	"" (空文字列を指定)	ブラウザの左端からの位置	
フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	"" (空文字列を指定)	"" (空文字列を指定)	

列のフォーマット種別の詳細

フォーマット名	説明
NUMBER	ソート時に数値として扱います。
PRICE	数値を3桁ごとのカンマ区切りで表示します。 例 : 1,234.56
PRICE_YEN	数値を3桁ごとのカンマ区切りで表示し、数値の先頭に円マークを付けて表示します。 例 : ¥1,234.56
HTML	HTMLを有効にして表示します。 <A>タグを使用したリンクやタグによる太字等が使用できます。 ※HTMLフォーマットを指定した列は、AJAN_GRID_UPDATE_ENABLEの設定によらず編集は行なえませんのでご注意ください。
TEXT	データをそのまま表示します。
LONGTEXT	データをそのまま表示します。 改行を含む編集が可能です。 エディタの高さと幅は以下の設定項目で指定できます。 高さ : AJAN_GRID_LONGTEXT_EDITOR_HEIGHT 幅 : AJAN_GRID_LONGTEXT_EDITOR_WIDTH
CHECK	チェックボックスを表示します。 値は"TRUE"または"FALSE"です。
CALENDAR	"2000/01/01"の形式で日付を表示します。 セルの編集時はカレンダーを表示して日付の選択ができます。
SELECT	選択リストを表示します。 選択リストの内容は、" SELECT" の指定に続いて一次元配列または二次元配列で指定します。 一次元配列では選択リストの値が表示内容になります。 二次元配列では一列目が選択リストの値、二列目が表示内容になります。 一次元配列の例： DIM SELECT_DATA\$(2) SELECT_DATA\$ = ["選択1", "選択2", "選択3"] AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT, "2", "SELECT" AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT, "2", SELECT_DATA\$ 二次元配列の例： DIM SELECT_DATA\$(2, 1) SELECT_DATA\$ = [["SEL1", "選択1"], - ["SEL2", "選択2"], - ["SEL3", "選択3"]] AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT, "2", "SELECT" AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT, "2", SELECT_DATA\$



	<p>.00 (ゼロと小数点の組み合 わせ)</p> <p>例： ".000" : 小数点以下 3桁 3.1415 → 3.142</p> <p>".00" : 小数点以下 2桁 3.1415 → 3.14</p> <p>"00.00" : 小数点以下 2桁、整数部 2桁ゼロ埋め 3.1415 → 03.14</p>	<p>小数点以下の桁数を指定できます。 小数点以下の桁数は0の数で指定します。 値は四捨五入されます。</p>
	.00,ROUNDUP	<p>小数点以下の桁数を指定できます。 値は切り上げられます。</p> <p>例： ".00" : 小数点以下 2桁 切り上げ 3.1415 → 3.15</p>
	.00,ROUNDDOWN	<p>小数点以下の桁数を指定できます。 値は切り下げられます。</p> <p>例： ".000" : 小数点以下 3桁 切り下げ 3.1415 → 3.141</p>
	PASSWORD	<p>入力した文字を '●' で隠して表示します。 入力：'abcde' → 表示：' ●●●●'</p>
文 例 1	<pre>DIM DATA\$(2,1) DATA\$ = [["ID","製品名"], - ["01","データ1"], - ["02","データ2"]] 'データグリッド表示 WEB_GRID "ID_GRID1", "100", "20" 'データグリッド配置 'データ設定 + 先頭行を列名にする WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_DATA, AJAN_TRUE, DATA\$</pre>	

文 例 2	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" DIM COLUMN\$(2) COLUMN\$(0) = "ID" COLUMN\$(1) = "名称" COLUMN\$(2) = "価格" '表示データ生成 DATA_NUM = 10000 LIST DATA\$ REDIM DATA\$(DATA_NUM-1 ,2) FOR INDEX = 0 TO DATA_NUM-1 DATA\$(INDEX,0) = STR\$(INDEX+1) DATA\$(INDEX,1) = "製品-" + STR\$(INDEX+1) DATA\$(INDEX,2) = str\$(ROUND(RND() * 1000000,0)) NEXT WEB_GRID "ID_GRID1", "90", "20" 'データグリッド配置 WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN, "", "ID,名称,価格" '列名指定 WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH, 1, "50" '列幅設定 WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH, 2, "250" WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_WIDTH, 3, "150" WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_ALIGN, 1, "CENTER" '列 左右寄せ WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_ALIGN, 3, "RIGHT" WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_FILTER_ENABLE, "", AJAN_TRUE '検索ボックス表示 WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_COLUMN_SET_FORMAT, 3, "PRICE_YEN" '3列目を金額フォーマットに設定 WEB_GRID_SET "ID_GRID1", AJAN_GRID_DATA, AJAN_FALSE, DATA\$ 'データ設定 + 先頭行を列名にしない </pre>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ID	名称	価格
1	製品-1	¥449,801
2	製品-2	¥935,417
3	製品-3	¥32,935
4	製品-4	¥81,795
5	製品-5	¥212,278
6	製品-6	¥451,543
7	製品-7	¥430,416
8	製品-8	¥379,177
9	製品-9	¥677,985
10	製品-10	¥525,922

10000件のデータを作成して データグリッドに表示します。
 データグリッドには、列名、列幅、左右寄せ、フォーマット指定を行います。
 検索ボックスを表示してフィルタ検索できるようにしています。

3.8 ページ設定

3.8.1 概要

Webページの設定をします。

3.8.2 WEB_PAGE_SET

命令		
機能	ページ全体の設定をします。	
書式	WEB_PAGE_SET <①設定項目>, <②設定値>	
	① <設定項目>	定数
	② <設定値>	文字列
以下の設定により、Webページ全体の設定およびデータ取得ができます。		
※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。		
①設定項目	②設定値	
ページタイトル AJAN_PAGE_TITLE	表示したいページタイトル	
ページの背景色 AJAN_PAGE_BACKGROUND_COLOR	ページ背景色	
ページの背景画像 AJAN_PAGE_BACKGROUND_IMG_FILE	画像ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス	
ページのアイコン(ファビコン) AJAN_PAGE_FAVICON_IMG_FILE	画像ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス	
指定した部品IDにフォーカスを当てる AJAN_PAGE_SET_FOCUS	フォーカスを当てる部品ID フォーカス可能な部品は次の通りです。 WEB_TEXT WEB_TEXTAREA WEB_GRID WEB_BUTTON WEB_SELECT WEB_RADIO WEB_CHECKBOX ※各コマンドのAJAN_WEB_FOCUSの設定と同じ機能です。	
クライアント情報の取得 AJAN_PAGE_GET_CLIENT_DATA	空の文字列 "" ※本コマンド実行時は、AJAN_WEB_CLIENT\$にデータが格納されます。 詳しくは、以下の備考をご参照ください。	
Webブラウザの縮小警告を非表示 AJAN_PAGE_ZOOM_WARNING	"NOMSG" メッセージを非表示にする 上記以外 メッセージを表示する ※初期状態は警告メッセージを表示する設定です。 参考「Webブラウザのズーム設定について」	
AJANのエラーメッセージを非表示 AJAN_PAGE_ERROR_MESSAGE	"NOMSG" エラーメッセージを非表示にする 上記以外 エラーメッセージを表示する ※初期状態はエラーメッセージを表示する設定です。	

備考	<p>クライアント情報の取得について</p> <p>AJAN_PAGE_GET_CLIENT_DATAを実行すると、各種クライアントデータが 連想配列 AJAN_WEB_CLIENT\$に格納されます。</p> <p>AJAN_PAGE_GET_CLIENT_DATA でデータ取得を要求すると、ブラウザからの情報取得が完了した時点で AJAN_WEB_CLIENT\$("GET_TIME") にデータ取得時刻が格納されます。AJAN_PAGE_GET_CLIENT_DATA 実行時には、AJAN_WEB_CLIENT\$("GET_TIME") にデータが格納されるのを待ってから、AJAN_WEB_CLIENT\$に格納されたデータを読み込んでください。 ※詳しくは、サンプルプログラムをご参照ください。</p> <table border="1" data-bbox="318 473 1409 923" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">Webアクセス情報</th> </tr> <tr> <th>データが格納される領域</th> <th>取得データ</th> <th>取得データの例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("URL")</td> <td>URL</td> <td>"/user_AjanProWS_WEB_samples/7_web_get_info.ajn"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("METHOD")</td> <td>HTTP メソッド</td> <td>"GET"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("USER_AGENT")</td> <td>ユーザエージェント (ブラウザを示す情報)</td> <td>"Mozilla/5.0 (X11; Linux x86_64; rv:52.0) Gecko/20100101 Firefox/52.0"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("REFERER")</td> <td>HTTPリファラ (ページのリンク元)</td> <td>"http://localhost:8080/user_AjanProWS_WEB/7_web_link.ajn"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("CLIENT_IP")</td> <td>クライアントのIP</td> <td>"192.168.0.3"</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="318 968 1409 1522" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">クライアント（ブラウザ）情報</th> </tr> <tr> <th>データが格納される領域</th> <th>取得データ</th> <th>取得データの例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("GET_TIME")</td> <td>取得時刻</td> <td>"2020/04/01 12:00:00"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_WIDTH")</td> <td>画面幅</td> <td>"1920"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_HEIGHT")</td> <td>画面高さ</td> <td>"1080"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_WIDTH")</td> <td>モニタの利用可能領域幅</td> <td>"1920"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_HEIGHT")</td> <td>モニタの利用可能領域高さ</td> <td>"1928"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_WIDTH")</td> <td>ウィンドウ表示可能範囲幅</td> <td>"1920"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_HEIGHT")</td> <td>ウィンドウ表示可能範囲高さ</td> <td>"920"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_WIDTH")</td> <td>ウィンドウ幅</td> <td>"1920"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_HEIGHT")</td> <td>ウィンドウ高</td> <td>"991"</td> </tr> <tr> <td>AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_ORIENTATION")</td> <td>画面向き(スマホの場合)</td> <td>"90"</td> </tr> </tbody> </table>	Webアクセス情報			データが格納される領域	取得データ	取得データの例	AJAN_WEB_CLIENT\$("URL")	URL	"/user_AjanProWS_WEB_samples/7_web_get_info.ajn"	AJAN_WEB_CLIENT\$("METHOD")	HTTP メソッド	"GET"	AJAN_WEB_CLIENT\$("USER_AGENT")	ユーザエージェント (ブラウザを示す情報)	"Mozilla/5.0 (X11; Linux x86_64; rv:52.0) Gecko/20100101 Firefox/52.0"	AJAN_WEB_CLIENT\$("REFERER")	HTTPリファラ (ページのリンク元)	"http://localhost:8080/user_AjanProWS_WEB/7_web_link.ajn"	AJAN_WEB_CLIENT\$("CLIENT_IP")	クライアントのIP	"192.168.0.3"	クライアント（ブラウザ）情報			データが格納される領域	取得データ	取得データの例	AJAN_WEB_CLIENT\$("GET_TIME")	取得時刻	"2020/04/01 12:00:00"	AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_WIDTH")	画面幅	"1920"	AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_HEIGHT")	画面高さ	"1080"	AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_WIDTH")	モニタの利用可能領域幅	"1920"	AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_HEIGHT")	モニタの利用可能領域高さ	"1928"	AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_WIDTH")	ウィンドウ表示可能範囲幅	"1920"	AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_HEIGHT")	ウィンドウ表示可能範囲高さ	"920"	AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_WIDTH")	ウィンドウ幅	"1920"	AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_HEIGHT")	ウィンドウ高	"991"	AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_ORIENTATION")	画面向き(スマホの場合)	"90"
Webアクセス情報																																																										
データが格納される領域	取得データ	取得データの例																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("URL")	URL	"/user_AjanProWS_WEB_samples/7_web_get_info.ajn"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("METHOD")	HTTP メソッド	"GET"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("USER_AGENT")	ユーザエージェント (ブラウザを示す情報)	"Mozilla/5.0 (X11; Linux x86_64; rv:52.0) Gecko/20100101 Firefox/52.0"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("REFERER")	HTTPリファラ (ページのリンク元)	"http://localhost:8080/user_AjanProWS_WEB/7_web_link.ajn"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("CLIENT_IP")	クライアントのIP	"192.168.0.3"																																																								
クライアント（ブラウザ）情報																																																										
データが格納される領域	取得データ	取得データの例																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("GET_TIME")	取得時刻	"2020/04/01 12:00:00"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_WIDTH")	画面幅	"1920"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_HEIGHT")	画面高さ	"1080"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_WIDTH")	モニタの利用可能領域幅	"1920"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("SCREEN_AVAIL_HEIGHT")	モニタの利用可能領域高さ	"1928"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_WIDTH")	ウィンドウ表示可能範囲幅	"1920"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_INNER_HEIGHT")	ウィンドウ表示可能範囲高さ	"920"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_WIDTH")	ウィンドウ幅	"1920"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_OUTER_HEIGHT")	ウィンドウ高	"991"																																																								
AJAN_WEB_CLIENT\$("WINDOW_ORIENTATION")	画面向き(スマホの場合)	"90"																																																								
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'ページタイトルを「かんたんAJAN」にします。 WEB_PAGE_SET AJAN_PAGE_TITLE, "かんたんAJAN" 'ページ背景画像を「static/back.jpg」に設定します。 WEB_PAGE_SET AJAN_PAGE_BACKGROUND_IMG_FILE, "static/back.jpg"</pre> 																																																									

3.9 画像

3.9.1 概要

Web上に画像を表示します。

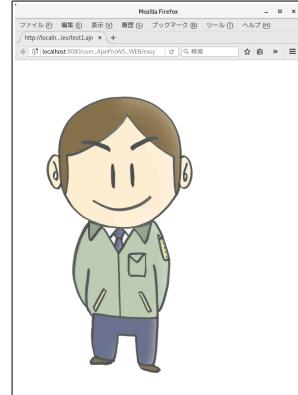
3.9.2 WEB_IMG

命令		
機能	画像を配置します。	
書式	WEB_IMG <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラメータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
文例	WEB_IMG_SETコマンドをご参照ください。	

3.9.3 WEB_IMG_SET

命令			
機能	画像の設定を行います。		
書式	WEB_IMG_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
	設定したい部品IDを指定します。		
	②	<設定項目>	定数
	③	<設定値>	文字列
	以下の設定項目、設定値を指定することで、画像の設定ができます。		
	<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※画像クリック時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p>		
②設定項目		③設定値	
表示する画像ファイル AJAN_IMG_FILE		<p>対象画像ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス</p> <p>複数ファイルの指定が可能です。 " <画像1>,<画像2>, . . ." のように、カンマ区切りで複数の画像ファイルを指定できます。初期状態は先頭の画像が表示されます。切り替えは、AJAN_IMG_INDEXで設定できます。 例:"static/image1.gif,static/image2.gif"</p> <p>また、画像データを直接設定する事も可能です。但し、複数画像は対応していません。 データ形式の例： "data:image/jpeg;base64," + BASE64画像データ サンプルプログラム" 04_web_ajan_camera_advance.ajn" でも使用していますので、ご参照ください。</p>	
表示画像の横幅 AJAN_IMG_WIDTH		画像の幅 例："300"	
表示画像の高さ AJAN_IMG_HEIGHT		画像高さ 例："200"	
画像の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP		ブラウザの上端からの位置	
画像の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT		ブラウザの左端からの位置	
画像の表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE		AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示	
画像の重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX		"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。	
画像の削除 AJAN_WEB_REMOVE		"" (空文字列を指定)	
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP		吹き出し内容 例："xxです"	
CSS設定 AJAN_WEB_CSS		CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。	

	<p>キャプションの文字列 AJAN_IMG_CAPTION_VALUE</p> <p>※空文字(“ ”)は、キャプションを非表示になります。 ※“\n”で改行できます。文字として‘\n’を表示する場合は“\\n”と記述してください。</p>	<p>画像の下に表示する文字列 例：“SuperCD”</p>
	<p>キャプションの文字サイズ AJAN_IMG_CAPTION_FONT_SIZE</p>	<p>文字サイズ(ピクセル値) 例：“18”(初期値)</p>
	<p>キャプションの文字色 AJAN_IMG_CAPTION_COLOR</p>	文字色
	<p>キャプションの背景色 AJAN_IMG_CAPTION_BACKGROUND_COLOR</p>	背景色
	<p>マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_IMG_MOUSE_HOVER</p>	<p>“BRIGHT”：部品を光らせる “POINTER”：マウスカーソルを人差し指の形にする “ARROW”：マウスカーソルを矢印の形にする “”：設定なし</p> <p>下記組み合わせが可能(半角スペースで区切る) “BRIGHT POINTER” “BRIGHT ARROW”</p>
	<p>表示する画像ファイルの選択 AJAN_IMG_INDEX</p>	<p>表示する画像ファイルのインデックス("0"始まり) 例：“0”：AJAN_IMG_FILEで設定した先頭の画像を表示 “2”：AJAN_IMG_FILEで設定した3番目の画像を表示</p>
文 例 1	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" '画像を配置 WEB_IMG "ID_IMG1", "20", "60" '表示する画像ファイルを指定 WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_FILE, "static/iota_center.gif" '画像ファイルの幅を設定 WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_WIDTH, "400" '画像ファイルの高さを設定 WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_HEIGHT, "800"</pre>	



文 例 2

```
'キャプション表示の例
INCLUDE "WEB.AJN"

'画像を配置
WEB_IMG      "ID_IMG1", "50", "50"

'表示する画像の幅を指定（高さを省略すると、画像の比率で自動設定されます）
WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_WIDTH, "100"

'画像ファイルを指定
WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_FILE,    "static/iota_left.gif"

'キャプション文字列を設定し、画像の下に表示（"\n"で改行できます）
WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_CAPTION_VALUE, "左をご覧\nください"

'キャプションの背景色を設定
WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_CAPTION_BACKGROUND_COLOR, "YELLOW"
```



文例 3

```
'複数の画像を切り替えて表示する例
INCLUDE "WEB.AJN"

'画像を配置
WEB_IMG      "ID_IMG1", "10", "10"

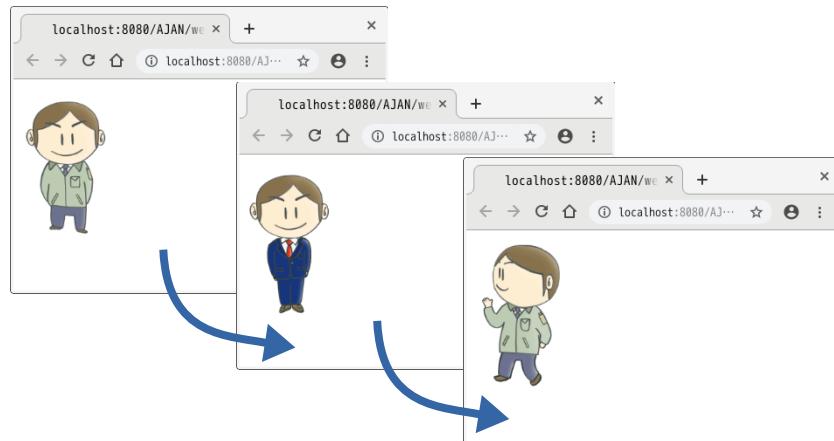
'3枚の画像を指定、先頭の画像を表示
WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_FILE,
              "static/iota_center.gif, _"
              "static/iota_center_suit.gif, _"
              "static/iota_left.gif"

WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_WIDTH,  "100"

'3枚の画像を順に切り替えて表示する
IDX = 0 : IDX_NUM = 3
DO WHILE TRUE

  'ブラウザが終了するまで1秒周期で繰り返す
  SLEEP 1
  IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN
    END
  END IF

  '表示する画像を切り替える ("0"→"1"→"2"の繰り返し)
  IDX = IDX + 1
  IF IDX = IDX_NUM THEN IDX = 0
  WEB_IMG_SET "ID_IMG1", AJAN_IMG_INDEX, STR$(IDX)
LOOP
```



3.10 ページ移動

3.10.1 概要

ブラウザで表示しているページから別ページに移動します。

3.10.2 WEB_MOVE_PAGE

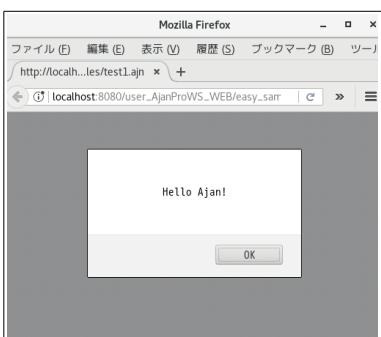
命令		
機 能	ブラウザ上の表示ページを移動します。	
書 式	WEB_MOVE_PAGE <①移動先ページURL>	
パラ メータ	① <移動先ページURL>	文字列
移動するページのURLを指定します。 移動前のページに対する相対URLの指定も可能です。		
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" ' ページ移動前の表示内容を設定。 WEB_WRITE "棒グラフのサンプルページに移動します。" ' 移動先のページURLを指定してページ移動 WEB_MOVE_PAGE "1_web_graph_bar.ajn"</pre>	

3.11 メッセージボックス

3.11.1 概要

Web上にメッセージボックスを表示します。

3.11.2 WEB_MSG_BOX

命令				
機 能	メッセージボックスを表示します。			
書 式	WEB_MSG_BOX <①表示メッセージ>			
パラ メータ	<table border="1"> <tr> <td>①</td> <td><表示メッセージ></td> <td>文字列</td> </tr> </table> <p>メッセージボックス内に表示するメッセージを指定します。</p> <p>※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)</p> <p>※メッセージボックスを表示中も、AJANの処理は進行しますのでご注意ください。 [OK]ボタンを押すまで処理を待たせるには、WEB_DIALOGコマンドをご使用ください。</p>	①	<表示メッセージ>	文字列
①	<表示メッセージ>	文字列		
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" ' メッセージボックスを表示します。 WEB_MSG_BOX "Hello AJAN!"</pre> 			

3.12 ボタン

3.12.1 概要

Web上にボタンを表示します。

イベント部品と組み合わせることで、ボタンが押されたときにAJAX側で処理を行うことができます。

3.12.2 WEB_BUTTON

命令		
機 能	ボタンを配置します。	
書 式	WEB_BUTTON <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>, <④表示内容>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	④	<表示内容> ボタン上に表示する内容を指定します。
文 例	WEB_BUTTON_SET コマンドをご参考ください。	

3.12.3 WEB_BUTTON_SET

命令																				
機能	ボタンの設定を行います。																			
書式	WEB_BUTTON_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																			
パラメータ	① <部品ID>	文字列																		
	設定したい部品IDを指定します。																			
	② <設定項目>	定数																		
	③ <設定値>	文字列																		
	以下の設定項目、設定値を指定することで、ボタンの設定ができます。																			
	<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※ボタンクリック時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボタンの種類 AJAN_BUTTON_TYPE</td><td> ボタンの種類を設定 通常のボタン : "NORMAL" (初期値) プッシュボタン : "PUSH" トグルボタン : "TOGGLE" 通常のクリック動作のボタンは"NORMAL"、押した状態を検知したい場合" PUSH"、クリックごとにON/OFFが切り替える場合" TOGGLE"をご使用ください。 詳細は、ON WEB CALLコマンドの説明をご参照ください。 </td></tr> <tr> <td>ボタンの表示内容 AJAN_BUTTON_TEXT</td><td> 表示したい内容 例："データ設定" </td></tr> <tr> <td>ボタンの横幅 AJAN_BUTTON_WIDTH</td><td> ボタン幅 例："200" ※ボタンに表示する文字より幅が狭い場合、文字が途切れますのでご注意ください。 </td></tr> <tr> <td>ボタンの高さ AJAN_BUTTON_HEIGHT</td><td> ボタン高さ 例："40" </td></tr> <tr> <td>ボタンの文字サイズ AJAN_BUTTON_FONT_SIZE</td><td> ボタン文字サイズ 例："20" ※文字サイズを大きくすると、ボタンに表示しきれない場合があります。ボタンの横幅、高さも調整してください。 </td></tr> <tr> <td>ボタンの文字色 AJAN_BUTTON_FONT_COLOR</td><td>ボタン文字色</td></tr> <tr> <td>ボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR</td><td>ボタン背景色</td></tr> <tr> <td>ボタンを押した時のボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR_ON</td><td>プッシュボタン、トグルボタンを押している状態のボタンの背景色。通常のボタンでは無効です。</td></tr> </tbody> </table>		②設定項目	③設定値	ボタンの種類 AJAN_BUTTON_TYPE	ボタンの種類を設定 通常のボタン : "NORMAL" (初期値) プッシュボタン : "PUSH" トグルボタン : "TOGGLE" 通常のクリック動作のボタンは"NORMAL"、押した状態を検知したい場合" PUSH"、クリックごとにON/OFFが切り替える場合" TOGGLE"をご使用ください。 詳細は、ON WEB CALLコマンドの説明をご参照ください。	ボタンの表示内容 AJAN_BUTTON_TEXT	表示したい内容 例："データ設定"	ボタンの横幅 AJAN_BUTTON_WIDTH	ボタン幅 例："200" ※ボタンに表示する文字より幅が狭い場合、文字が途切れますのでご注意ください。	ボタンの高さ AJAN_BUTTON_HEIGHT	ボタン高さ 例："40"	ボタンの文字サイズ AJAN_BUTTON_FONT_SIZE	ボタン文字サイズ 例："20" ※文字サイズを大きくすると、ボタンに表示しきれない場合があります。ボタンの横幅、高さも調整してください。	ボタンの文字色 AJAN_BUTTON_FONT_COLOR	ボタン文字色	ボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR	ボタン背景色	ボタンを押した時のボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR_ON	プッシュボタン、トグルボタンを押している状態のボタンの背景色。通常のボタンでは無効です。
②設定項目	③設定値																			
ボタンの種類 AJAN_BUTTON_TYPE	ボタンの種類を設定 通常のボタン : "NORMAL" (初期値) プッシュボタン : "PUSH" トグルボタン : "TOGGLE" 通常のクリック動作のボタンは"NORMAL"、押した状態を検知したい場合" PUSH"、クリックごとにON/OFFが切り替える場合" TOGGLE"をご使用ください。 詳細は、ON WEB CALLコマンドの説明をご参照ください。																			
ボタンの表示内容 AJAN_BUTTON_TEXT	表示したい内容 例："データ設定"																			
ボタンの横幅 AJAN_BUTTON_WIDTH	ボタン幅 例："200" ※ボタンに表示する文字より幅が狭い場合、文字が途切れますのでご注意ください。																			
ボタンの高さ AJAN_BUTTON_HEIGHT	ボタン高さ 例："40"																			
ボタンの文字サイズ AJAN_BUTTON_FONT_SIZE	ボタン文字サイズ 例："20" ※文字サイズを大きくすると、ボタンに表示しきれない場合があります。ボタンの横幅、高さも調整してください。																			
ボタンの文字色 AJAN_BUTTON_FONT_COLOR	ボタン文字色																			
ボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR	ボタン背景色																			
ボタンを押した時のボタンの背景色 AJAN_BUTTON_COLOR_ON	プッシュボタン、トグルボタンを押している状態のボタンの背景色。通常のボタンでは無効です。																			

ボタンの背景画像 AJAN_BUTTON_IMG_FILE	画像ファイルのパス 例："static/image1.gif" ※プッシュボタン、トグルボタンを使用時の指定方法 " <OFFの画像>, <ONの画像>" の順で2つの画像ファイルを指定することで、ボタンを押した時に画像を切り替えて表示できます。 例："static/image1.gif,static/image2.gif"
ボタンの無効化 AJAN_BUTTON_DISABLED	AJAN_TRUE :無効化 AJAN_FALSE :有効化（初期値）
ボタンの透明度 AJAN_BUTTON_OPACITY	"0"（透明）～"1.0"完全表示 透明なボタンを作成できます。
マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_BUTTON_MOUSE_HOVER	"BRIGHT" : 部品を光らせる "POINTER" : マウスカーソルを人差し指の形にする※ "ARROW" : マウスカーソルを矢印の形にする "" : 設定なし 下記組み合わせが可能（半角スペースで区切る） "BRIGHT POINTER" "BRIGHT ARROW" ※ボタンは、初期状態が "POINTER" です。
ボタンをクリックする AJAN_BUTTON_CLICK	ボタンの種類(AJAN_BUTTON_TYPE)によって動作が異なります ① "NORMAL" または "TOGGLE" の場合 ""（空文字）：クリック操作 ② "PUSH" の場合 "ON" : ボタンを押した状態にする "OFF" : ボタンを離した状態にする ※本機能は、ON WEBコマンドでイベント設定しているボタンのみ有効です。
フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	""（空文字）
ボタンの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。
ボタンの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1"～"1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
ボタンの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1"～"1000" 小さい数字から大きい数字に移動
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
ボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
ボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
CSS設定 AJAN_WEB_CSS	CSSのプロパティを設定 例："color:red;" "cursor:crosshair;" 複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。

文 例

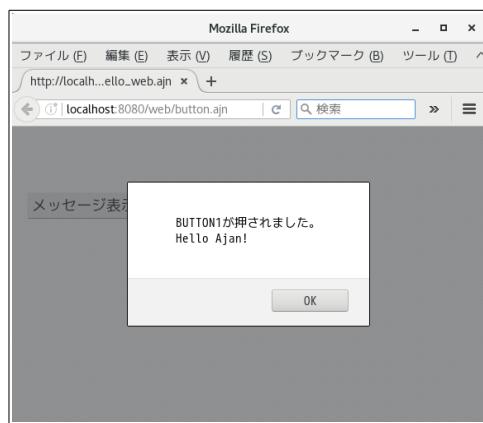
```
INCLUDE "WEB.AJN"

'ボタン配置
WEB_BUTTON "BUTTON1", "80", "20", "メッセージ表示"

'ボタン/画像クリック時の動作登録
ON WEB "BUTTON1", "CLICK" CALL SUB_MSG, "Hello", "Ajan!"

'ボタンクリック時処理：メッセージ表示
SUB SUB_MSG(ID$, PARAM1$, PARAM2$)
    WEB_MSG_BOX ID$ + "が押されました。\\n" + PARAM1$ + " " + PARAM2$
END SUB

'ボタンイベント処理を行うためAJANを継続動作
DO WHILE TRUE
    SLEEP 1
    IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN
        END      'ネットワーク切断時:終了する
    END IF
LOOP
```



3.13 セレクトボックス(選択リスト)

3.13.1 概要

Web上にセレクトボックス(選択リスト)を表示します。

3.13.2 WEB_SELECT

命令		
機能	セレクトボックスを配置します。	
書式	WEB_SELECT <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	文例	
WEB_SELECT_SETコマンドをご参照ください。		

3.13.3 WEB_SELECT_SET

命令																	
機能	セレクトボックスの設定を行います。																
書式	WEB_SELECT_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																
パラメータ	<table border="1"> <tr> <td>①</td><td><部品ID></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">設定したい部品IDを指定します。</td></tr> <tr> <td>②</td><td><設定項目></td><td>定数</td></tr> <tr> <td>③</td><td><設定値></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">以下の設定項目、設定値を指定することで、セレクトボックスの設定ができます。</td></tr> </table>		①	<部品ID>	文字列	設定したい部品IDを指定します。			②	<設定項目>	定数	③	<設定値>	文字列	以下の設定項目、設定値を指定することで、セレクトボックスの設定ができます。		
①	<部品ID>	文字列															
設定したい部品IDを指定します。																	
②	<設定項目>	定数															
③	<設定値>	文字列															
以下の設定項目、設定値を指定することで、セレクトボックスの設定ができます。																	
<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※セレクトボックスのデータ変更時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。また、イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>選択リストの内容 AJAN_SELECT_LIST</td><td> <p>選択リストの内容を二次元配列で設定。 1列目：選択リストの値 2列目：選択リストの表示データ</p> <p>例： DIM SELECT_DATA\$(2,1) SELECT_DATA\$ = [["sel1","選択1"], _ ["sel2","選択2"], _ ["sel3","選択3"]] 上記の二次元配列の場合、 3行の選択リストを示します。 選択リスト1行目の値は"sel1", 表示名は "選択1"になります。</p> </td></tr> <tr> <td>選択するデータ AJAN_SELECT_VALUE</td><td> <p>選択するデータを設定 AJAN_SELECT_LISTで指定した二次元配列の1列目「選択リストの値」を指定し、その行を選択できます。 デフォルトの値を指定する場合などに使用できます。</p> <p>例："sel2" を指定すると、"sel2"を値として持つ選択リストの行を選択します。</p> </td></tr> <tr> <td>表示する選択リストの行数 AJAN_SELECT_LIST_NUM</td><td> <p>表示する選択リストの行数 "1": 初期値</p> <p>"1"の場合は、1行のみ表示されて マウスクリックすると選択リストが開きます。 "2"以上の数字を設定すると、指定した行数分画面に表示され、上下ボタンで移動できるようになります。</p> </td></tr> <tr> <td>選択結果の形式 AJAN_SELECT_RESULT</td><td> <p>ON WEB CALLイベント内で取得するAJAN_WEB_FORM\$のデータ形式を設定します。</p> <p>"0" (初期値) 「選択リストの値」を取得</p> <p>"1" 「選択リストの値」と「選択リストの表示名」を取得</p> </td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	選択リストの内容 AJAN_SELECT_LIST	<p>選択リストの内容を二次元配列で設定。 1列目：選択リストの値 2列目：選択リストの表示データ</p> <p>例： DIM SELECT_DATA\$(2,1) SELECT_DATA\$ = [["sel1","選択1"], _ ["sel2","選択2"], _ ["sel3","選択3"]] 上記の二次元配列の場合、 3行の選択リストを示します。 選択リスト1行目の値は"sel1", 表示名は "選択1"になります。</p>	選択するデータ AJAN_SELECT_VALUE	<p>選択するデータを設定 AJAN_SELECT_LISTで指定した二次元配列の1列目「選択リストの値」を指定し、その行を選択できます。 デフォルトの値を指定する場合などに使用できます。</p> <p>例："sel2" を指定すると、"sel2"を値として持つ選択リストの行を選択します。</p>	表示する選択リストの行数 AJAN_SELECT_LIST_NUM	<p>表示する選択リストの行数 "1": 初期値</p> <p>"1"の場合は、1行のみ表示されて マウスクリックすると選択リストが開きます。 "2"以上の数字を設定すると、指定した行数分画面に表示され、上下ボタンで移動できるようになります。</p>	選択結果の形式 AJAN_SELECT_RESULT	<p>ON WEB CALLイベント内で取得するAJAN_WEB_FORM\$のデータ形式を設定します。</p> <p>"0" (初期値) 「選択リストの値」を取得</p> <p>"1" 「選択リストの値」と「選択リストの表示名」を取得</p>					
②設定項目	③設定値																
選択リストの内容 AJAN_SELECT_LIST	<p>選択リストの内容を二次元配列で設定。 1列目：選択リストの値 2列目：選択リストの表示データ</p> <p>例： DIM SELECT_DATA\$(2,1) SELECT_DATA\$ = [["sel1","選択1"], _ ["sel2","選択2"], _ ["sel3","選択3"]] 上記の二次元配列の場合、 3行の選択リストを示します。 選択リスト1行目の値は"sel1", 表示名は "選択1"になります。</p>																
選択するデータ AJAN_SELECT_VALUE	<p>選択するデータを設定 AJAN_SELECT_LISTで指定した二次元配列の1列目「選択リストの値」を指定し、その行を選択できます。 デフォルトの値を指定する場合などに使用できます。</p> <p>例："sel2" を指定すると、"sel2"を値として持つ選択リストの行を選択します。</p>																
表示する選択リストの行数 AJAN_SELECT_LIST_NUM	<p>表示する選択リストの行数 "1": 初期値</p> <p>"1"の場合は、1行のみ表示されて マウスクリックすると選択リストが開きます。 "2"以上の数字を設定すると、指定した行数分画面に表示され、上下ボタンで移動できるようになります。</p>																
選択結果の形式 AJAN_SELECT_RESULT	<p>ON WEB CALLイベント内で取得するAJAN_WEB_FORM\$のデータ形式を設定します。</p> <p>"0" (初期値) 「選択リストの値」を取得</p> <p>"1" 「選択リストの値」と「選択リストの表示名」を取得</p>																

	<p>セレクトボックスの幅 AJAN_SELECT_WIDTH</p> <p>セレクトボックスの高さ AJAN_SELECT_HEIGHT</p> <p>セレクトボックスの文字サイズ AJAN_SELECT_FONT_SIZE</p> <p>セレクトボックスの文字色 AJAN_SELECT_FONT_COLOR</p> <p>セレクトボックスの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</p> <p>セレクトボックスの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</p> <p>複数選択の許可 AJAN_SELECT_MULTIPLE</p> <p>セレクトボックスの無効化 AJAN_SELECT_DISABLED</p> <p>フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS</p> <p>セレクトボックスの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</p> <p>セレクトボックスの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX</p> <p>セレクトボックスの削除 AJAN_WEB_REMOVE</p> <p>Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX</p> <p>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</p> <p>CSS設定 AJAN_WEB_CSS</p>	<p>セレクトボックスの幅 例："200"</p> <p>セレクトボックスの高さ 例："50"</p> <p>セレクトボックスの文字サイズ 例："20"</p> <p>セレクトボックスの文字色</p> <p>ブラウザの上端からの位置</p> <p>ブラウザの左端からの位置</p> <p>複数選択の許可 AJAN_TRUE : 複数選択可能 AJAN_FALSE : 複数選択不可 (初期値)</p> <p>AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化 (初期値)</p> <p>"" (空文字)</p> <p>AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。</p> <p>"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。</p> <p>"" (空文字列を指定)</p> <p>"1" ~ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動</p> <p>吹き出し内容 例："xxです"</p> <p>CSSのプロパティを設定 例：“color:red;” “cursor:crosshair;”</p> <p>複数の設定をする場合は、行を分けて記述してください。</p>
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'セレクトボックス用 選択リストデータ DIM SELECT_DATA\$(2,1) SELECT_DATA\$ = [["sel1","選択1"], ["sel2","選択2"], ["sel3","選択3"]] WEB_SELECT "SELECT1", "110", "60" 'セレクトボックス配置 WEB_SELECT_SET "SELECT1", AJAN_SELECT_LIST, SELECT_DATA\$ '選択リスト設定 WEB_SELECT_SET "SELECT1", AJAN_SELECT_VALUE, "sel2" '選択するデータを設定 WEB_SELECT_SET "SELECT1", AJAN_SELECT_LIST_NUM, "1" '表示するリストの数 WEB_SELECT_SET "SELECT1", AJAN_SELECT_FONT_SIZE, "20" '文字サイズ</pre> 	

3.14 ラジオボタン

3.14.1 概要

Web上にラジオボタンを表示します。

3.14.2 WEB_RADIO

命令		
機 能	ラジオボタンを配置します。	
書 式	WEB_RADIO <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
文 例	WEB_RADIO_SETコマンドをご参照ください。	

3.14.3 WEB_RADIO_SET

命令																						
機能	ラジオボタンの設定を行います。																					
書式	WEB_RADIO_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																					
パラメータ																						
① <部品ID> 文字列 設定したい部品IDを指定します。																						
② <設定項目> 定数 ③ <設定値> 文字列 以下の設定項目、設定値を指定することで、ラジオボタンの設定ができます。																						
<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※ラジオボタンのデータ変更時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。また、イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラジオボタンの内容 AJAN_RADIO_LIST</td><td> <p>ラジオボタンの内容を二次元配列で設定。 1列目：ラジオボタンリストの値 2列目：ラジオボタンリストの表示データ</p> <p>例： 'ラジオボタン用データ DIM RADIO_DATA\$(2,1) RADIO_DATA\$ = _ [{"rad1", "ラジオ1"},_ {"rad2", "ラジオ2"},_ {"rad3", "ラジオ3"}] 上記の二次元配列の場合、 3行のラジオボタンを示します。 ラジオボタン1つ目の値は"rad1", 表示名は "ラジオ1"になります。</p> </td></tr> <tr> <td>選択するデータ AJAN_RADIO_VALUE</td><td> <p>選択するデータを設定 AJAN_RADIO_LISTで指定したラジオボタンデータの 値を指定することで、指定したラジオボタンが選択されます。</p> <p>例："rad2" を指定すると、"rad2"を値として持つラジオボタンを選択します。</p> </td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの配置 AJAN_RADIO_LAYOUT</td><td> <p>"ROW" : ラジオボタンを横に並べて配置します。 (初期値)</p> <p>"COLUMN" : ラジオボタンを縦に並べて配置します。</p> </td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの幅 AJAN_RADIO_WIDTH</td><td> <p>ラジオボタンのボタン部の幅 *1 例："200"</p> </td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの高さ AJAN_RADIO_HEIGHT</td><td> <p>ラジオボタンのボタン部の高さ *1 例："50"</p> </td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの文字サイズ AJAN_RADIO_FONT_SIZE</td><td> <p>ラジオボタンの文字サイズ 例："20"</p> </td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの文字色 AJAN_RADIO_FONT_COLOR</td><td>ラジオボタンの文字色</td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td><td>ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>ラジオボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td><td>ブラウザの左端からの位置</td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	ラジオボタンの内容 AJAN_RADIO_LIST	<p>ラジオボタンの内容を二次元配列で設定。 1列目：ラジオボタンリストの値 2列目：ラジオボタンリストの表示データ</p> <p>例： 'ラジオボタン用データ DIM RADIO_DATA\$(2,1) RADIO_DATA\$ = _ [{"rad1", "ラジオ1"},_ {"rad2", "ラジオ2"},_ {"rad3", "ラジオ3"}] 上記の二次元配列の場合、 3行のラジオボタンを示します。 ラジオボタン1つ目の値は"rad1", 表示名は "ラジオ1"になります。</p>	選択するデータ AJAN_RADIO_VALUE	<p>選択するデータを設定 AJAN_RADIO_LISTで指定したラジオボタンデータの 値を指定することで、指定したラジオボタンが選択されます。</p> <p>例："rad2" を指定すると、"rad2"を値として持つラジオボタンを選択します。</p>	ラジオボタンの配置 AJAN_RADIO_LAYOUT	<p>"ROW" : ラジオボタンを横に並べて配置します。 (初期値)</p> <p>"COLUMN" : ラジオボタンを縦に並べて配置します。</p>	ラジオボタンの幅 AJAN_RADIO_WIDTH	<p>ラジオボタンのボタン部の幅 *1 例："200"</p>	ラジオボタンの高さ AJAN_RADIO_HEIGHT	<p>ラジオボタンのボタン部の高さ *1 例："50"</p>	ラジオボタンの文字サイズ AJAN_RADIO_FONT_SIZE	<p>ラジオボタンの文字サイズ 例："20"</p>	ラジオボタンの文字色 AJAN_RADIO_FONT_COLOR	ラジオボタンの文字色	ラジオボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	ラジオボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
②設定項目	③設定値																					
ラジオボタンの内容 AJAN_RADIO_LIST	<p>ラジオボタンの内容を二次元配列で設定。 1列目：ラジオボタンリストの値 2列目：ラジオボタンリストの表示データ</p> <p>例： 'ラジオボタン用データ DIM RADIO_DATA\$(2,1) RADIO_DATA\$ = _ [{"rad1", "ラジオ1"},_ {"rad2", "ラジオ2"},_ {"rad3", "ラジオ3"}] 上記の二次元配列の場合、 3行のラジオボタンを示します。 ラジオボタン1つ目の値は"rad1", 表示名は "ラジオ1"になります。</p>																					
選択するデータ AJAN_RADIO_VALUE	<p>選択するデータを設定 AJAN_RADIO_LISTで指定したラジオボタンデータの 値を指定することで、指定したラジオボタンが選択されます。</p> <p>例："rad2" を指定すると、"rad2"を値として持つラジオボタンを選択します。</p>																					
ラジオボタンの配置 AJAN_RADIO_LAYOUT	<p>"ROW" : ラジオボタンを横に並べて配置します。 (初期値)</p> <p>"COLUMN" : ラジオボタンを縦に並べて配置します。</p>																					
ラジオボタンの幅 AJAN_RADIO_WIDTH	<p>ラジオボタンのボタン部の幅 *1 例："200"</p>																					
ラジオボタンの高さ AJAN_RADIO_HEIGHT	<p>ラジオボタンのボタン部の高さ *1 例："50"</p>																					
ラジオボタンの文字サイズ AJAN_RADIO_FONT_SIZE	<p>ラジオボタンの文字サイズ 例："20"</p>																					
ラジオボタンの文字色 AJAN_RADIO_FONT_COLOR	ラジオボタンの文字色																					
ラジオボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置																					
ラジオボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置																					

	ラジオ部分と文字を含んだ枠の幅 AJAN_RADIO_FRAME_WIDTH	ラジオ部分と文字を含んだ枠の幅
	ラジオ部分と文字を含んだ枠の高さ AJAN_RADIO_FRAME_HEIGHT	ラジオ部分と文字を含んだ枠の高さ
	ラジオボタンの無効化 AJAN_RADIO_DISABLED	AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化（初期値）
	フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	" "（空文字） 選択されているラジオボタンがあれば、そこにフォーカスを当てます。未選択の場合、左端（または上端）のボタンにフォーカスを当てます。
	ラジオボタンの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。
	ラジオボタンの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
	ラジオボタンの削除 AJAN_WEB_REMOVE	" " (空文字列を指定)
	Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1" ~ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動
	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"

*1 Firefoxでは、バージョンにより本設定が有効にならない場合があります。

文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" ' ラジオボタン用データ DIM RADIO_DATA\$(2,1) RADIO_DATA\$ = [["rad1", "ラジオ1"], ["rad2", "ラジオ2"], ["rad3", "ラジオ3"]] WEB_RADIO "RADIO01", "80", "60" ' ラジオボタン配置 WEB_RADIO_SET "RADIO01", AJAN_RADIO_LIST, RADIO_DATA\$ ' 選択データ WEB_RADIO_SET "RADIO01", AJAN_RADIO_LAYOUT, "COLUMN" ' 縦に並べて配置 WEB_RADIO_SET "RADIO01", AJAN_RADIO_VALUE, "rad2" ' 選択するデータを設定</pre>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.15 チェックボックス

3.15.1 概要

Web上にチェックボックスを表示します。

3.15.2 WEB_CHECKBOX

命令		
機能	チェックボックスを配置します。	
書式	WEB_CHECKBOX <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>, <④ラベルデータ>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	④	<ラベルデータ> チェックボックスの表示ラベルを指定します。
	WEB_CHECKBOX_SETコマンドをご参照ください。	
文例		

3.15.3 WEB_CHECKBOX_SET

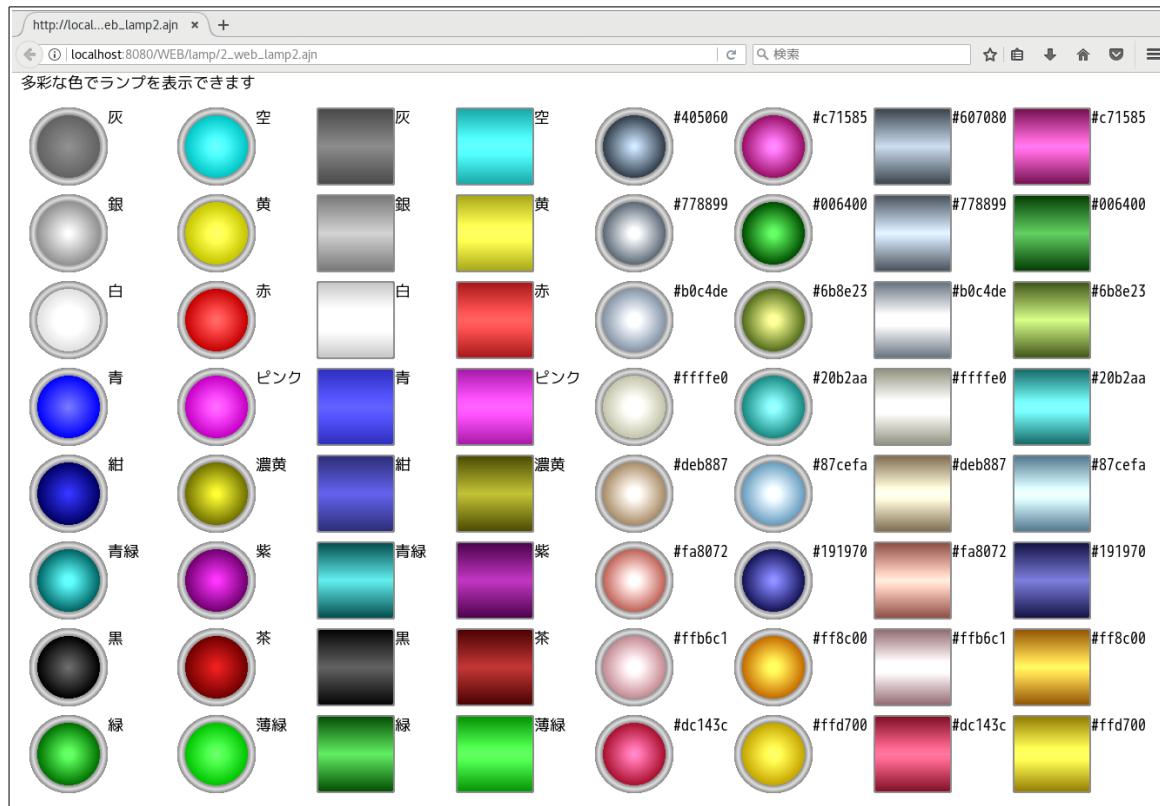
命令																																
機能	チェックボックスの設定を行います。																															
書式	WEB_CHECKBOX_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																															
パラメータ	① <部品ID>	文字列																														
	設定したい部品IDを指定します。																															
	② <設定項目>	定数																														
	③ <設定値>	文字列																														
	以下の設定項目、設定値を指定することで、チェックボックスの設定ができます。																															
	※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※チェックボックスのデータ変更時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。また、イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チェックの有無 AJAN_CHECKBOX_VALUE</td><td>AJAN_TRUE : チェックをつける AJAN_FALSE : チェックを外す（初期値）</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの幅 AJAN_CHECKBOX_WIDTH</td><td>チェックボックスのチェック部の幅 *1 例："20"</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの高さ AJAN_CHECKBOX_HEIGHT</td><td>チェックボックスのチェック部の高さ *1 例："20"</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの文字サイズ AJAN_CHECKBOX_FONT_SIZE</td><td>チェックボックスの文字サイズ 例："20"</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの文字色 AJAN_CHECKBOX_FONT_COLOR</td><td>チェックボックスの文字色</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td><td>ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td><td>ブラウザの左端からの位置</td></tr> <tr> <td>チェック部分と文字を含んだ枠の幅 AJAN_CHECKBOX_FRAME_WIDTH</td><td>チェック部分と文字を含んだ枠の幅 例："300"</td></tr> <tr> <td>チェック部分と文字を含んだ枠の高さ AJAN_CHECKBOX_FRAME_HEIGHT</td><td>チェック部分と文字を含んだ枠の高さ 例："200"</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの無効化 AJAN_CHECKBOX_DISABLED</td><td>AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化（初期値）</td></tr> <tr> <td>フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS</td><td>""（空文字）</td></tr> <tr> <td>チェックボックスの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</td><td>AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。</td></tr> <tr> <td>Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX</td><td>"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動</td></tr> <tr> <td>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</td><td>吹き出し内容 例："xxです"</td></tr> </tbody> </table>		②設定項目	③設定値	チェックの有無 AJAN_CHECKBOX_VALUE	AJAN_TRUE : チェックをつける AJAN_FALSE : チェックを外す（初期値）	チェックボックスの幅 AJAN_CHECKBOX_WIDTH	チェックボックスのチェック部の幅 *1 例："20"	チェックボックスの高さ AJAN_CHECKBOX_HEIGHT	チェックボックスのチェック部の高さ *1 例："20"	チェックボックスの文字サイズ AJAN_CHECKBOX_FONT_SIZE	チェックボックスの文字サイズ 例："20"	チェックボックスの文字色 AJAN_CHECKBOX_FONT_COLOR	チェックボックスの文字色	チェックボックスの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	チェックボックスの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置	チェック部分と文字を含んだ枠の幅 AJAN_CHECKBOX_FRAME_WIDTH	チェック部分と文字を含んだ枠の幅 例："300"	チェック部分と文字を含んだ枠の高さ AJAN_CHECKBOX_FRAME_HEIGHT	チェック部分と文字を含んだ枠の高さ 例："200"	チェックボックスの無効化 AJAN_CHECKBOX_DISABLED	AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化（初期値）	フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	""（空文字）	チェックボックスの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。	Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
②設定項目	③設定値																															
チェックの有無 AJAN_CHECKBOX_VALUE	AJAN_TRUE : チェックをつける AJAN_FALSE : チェックを外す（初期値）																															
チェックボックスの幅 AJAN_CHECKBOX_WIDTH	チェックボックスのチェック部の幅 *1 例："20"																															
チェックボックスの高さ AJAN_CHECKBOX_HEIGHT	チェックボックスのチェック部の高さ *1 例："20"																															
チェックボックスの文字サイズ AJAN_CHECKBOX_FONT_SIZE	チェックボックスの文字サイズ 例："20"																															
チェックボックスの文字色 AJAN_CHECKBOX_FONT_COLOR	チェックボックスの文字色																															
チェックボックスの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置																															
チェックボックスの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置																															
チェック部分と文字を含んだ枠の幅 AJAN_CHECKBOX_FRAME_WIDTH	チェック部分と文字を含んだ枠の幅 例："300"																															
チェック部分と文字を含んだ枠の高さ AJAN_CHECKBOX_FRAME_HEIGHT	チェック部分と文字を含んだ枠の高さ 例："200"																															
チェックボックスの無効化 AJAN_CHECKBOX_DISABLED	AJAN_TRUE : 無効化 AJAN_FALSE : 有効化（初期値）																															
フォーカスを当てる AJAN_WEB_FOCUS	""（空文字）																															
チェックボックスの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。																															
Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動																															
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"																															
	*1 Firefoxでは、バージョンにより本設定が有効にならない場合があります。																															

文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" WEB_CHECKBOX "CHECK1", "60", "80", "チェックボックス1" 'チェックボックス1配置 WEB_CHECKBOX "CHECK2", "90", "80", "チェックボックス2" 'チェックボックス2配置 WEB_CHECKBOX_SET "CHECK1", AJAN_CHECKBOX_VALUE, AJAN_TRUE 'チェックをつける WEB_CHECKBOX_SET "CHECK2", AJAN_CHECKBOX_VALUE, AJAN_FALSE 'チェックを外す</pre>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.16 ランプ

3.16.1 概要

Web上にランプを表示します。



3.16.2 WEB_LAMP

命令			
機能	ランプを配置します。		
書式	WEB_LAMP <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
	任意の部品IDを指定します。		
	②	<垂直位置>	文字列
表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。			
文例	③	<水平位置>	文字列
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	WEB_LAMP_SETコマンドをご参照ください。		

3.16.3 WEB_LAMP_SET

命令																																			
機能	ランプの設定をします。																																		
書式	WEB_LAMP_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																																		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列																																
	設定したい部品IDを指定します。																																		
	②	<設定項目>	定数																																
	③	<設定値>	文字列																																
	以下の設定項目、設定値を指定することで、ランプの設定ができます。																																		
	<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p>																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ランプの形状 AJAN_LAMP FIGURE</td> <td>"CIRCLE" (丸型。初期値) "ROUNDRECT"(角型)</td></tr> <tr> <td></td> <td>※本項目は、AJAN_LAMP_COLORより先に設定してください。</td></tr> <tr> <td>ランプの色 AJAN_LAMP_COLOR</td> <td>ランプの色</td></tr> <tr> <td>ランプのON/OFF状態 AJAN_LAMP_VALUE</td> <td>"0" (OFF。初期値) "1" (ON)</td></tr> <tr> <td>ランプ の幅 AJAN_LAMP_WIDTH</td> <td>ランプ幅 例："160"</td></tr> <tr> <td>ランプの高さ AJAN_LAMP_HEIGHT</td> <td>ランプ高さ 例："160"</td></tr> <tr> <td>ランプの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td> <td>ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>ランプの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td> <td>ブラウザの左端からの位置</td></tr> <tr> <td>ランプ上に表示する文字 AJAN_LAMP_TEXT</td> <td>表示したい文字 "運転中"</td></tr> <tr> <td>ランプ上に表示する文字の色 AJAN_LAMP_TEXT_COLOR</td> <td>文字色</td></tr> <tr> <td>マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_LAMP_MOUSE_HOVER</td> <td>"POINTER" : マウスカーソルを人差し指の形にする "ARROW" : マウスカーソルを矢印の形にする "" : 設定なし ランプには "BRIGHT" の設定はありません。</td></tr> <tr> <td>ランプの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</td> <td>AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示</td></tr> <tr> <td>ランプの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX</td> <td>"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。</td></tr> <tr> <td>ランプの削除 AJAN_WEB_REMOVE</td> <td>"" (空文字列を指定)</td></tr> <tr> <td>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</td> <td>吹き出し内容 例："xxです"</td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	ランプの形状 AJAN_LAMP FIGURE	"CIRCLE" (丸型。初期値) "ROUNDRECT"(角型)		※本項目は、AJAN_LAMP_COLORより先に設定してください。	ランプの色 AJAN_LAMP_COLOR	ランプの色	ランプのON/OFF状態 AJAN_LAMP_VALUE	"0" (OFF。初期値) "1" (ON)	ランプ の幅 AJAN_LAMP_WIDTH	ランプ幅 例："160"	ランプの高さ AJAN_LAMP_HEIGHT	ランプ高さ 例："160"	ランプの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	ランプの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置	ランプ上に表示する文字 AJAN_LAMP_TEXT	表示したい文字 "運転中"	ランプ上に表示する文字の色 AJAN_LAMP_TEXT_COLOR	文字色	マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_LAMP_MOUSE_HOVER	"POINTER" : マウスカーソルを人差し指の形にする "ARROW" : マウスカーソルを矢印の形にする "" : 設定なし ランプには "BRIGHT" の設定はありません。	ランプの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示	ランプの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。	ランプの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
②設定項目	③設定値																																		
ランプの形状 AJAN_LAMP FIGURE	"CIRCLE" (丸型。初期値) "ROUNDRECT"(角型)																																		
	※本項目は、AJAN_LAMP_COLORより先に設定してください。																																		
ランプの色 AJAN_LAMP_COLOR	ランプの色																																		
ランプのON/OFF状態 AJAN_LAMP_VALUE	"0" (OFF。初期値) "1" (ON)																																		
ランプ の幅 AJAN_LAMP_WIDTH	ランプ幅 例："160"																																		
ランプの高さ AJAN_LAMP_HEIGHT	ランプ高さ 例："160"																																		
ランプの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置																																		
ランプの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置																																		
ランプ上に表示する文字 AJAN_LAMP_TEXT	表示したい文字 "運転中"																																		
ランプ上に表示する文字の色 AJAN_LAMP_TEXT_COLOR	文字色																																		
マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_LAMP_MOUSE_HOVER	"POINTER" : マウスカーソルを人差し指の形にする "ARROW" : マウスカーソルを矢印の形にする "" : 設定なし ランプには "BRIGHT" の設定はありません。																																		
ランプの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示																																		
ランプの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。																																		
ランプの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)																																		
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"																																		

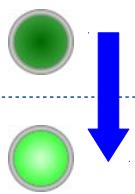
文 例

```
INCLUDE "WEB.AJN"
```

'部品ID「LAMP1」のランプを配置します。
'上端から30ピクセル、左端から50ピクセルの位置に表示します。
WEB_LAMP "LAMP1", "30", "50"

'ランプを緑色にします。 (形状は未指定：丸型)
WEB_LAMP_SET "LAMP1", AJAN_LAMP_COLOR, "GREEN"

'ランプをON状態にします。
WEB_LAMP_SET "LAMP1", AJAN_LAMP_VALUE, "1"



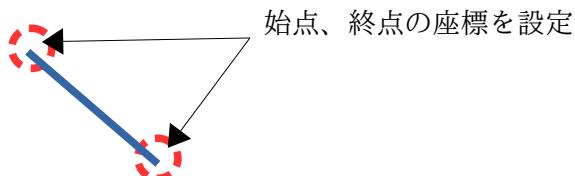
3.17 図形描画

3.17.1 概要

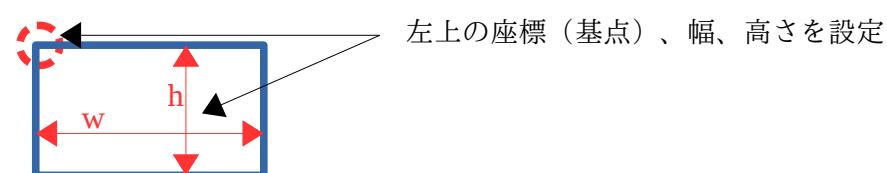
Web上に図形を描画します。

図形の種類は、直線(LINE)、四角形(RECT)、円(CIRCLE)、多角形(POLY)の4種あります。
WEB_DRAWコマンドでの図形の配置方法は、下記の通り図形により異なります。

1) 直線 : LINE



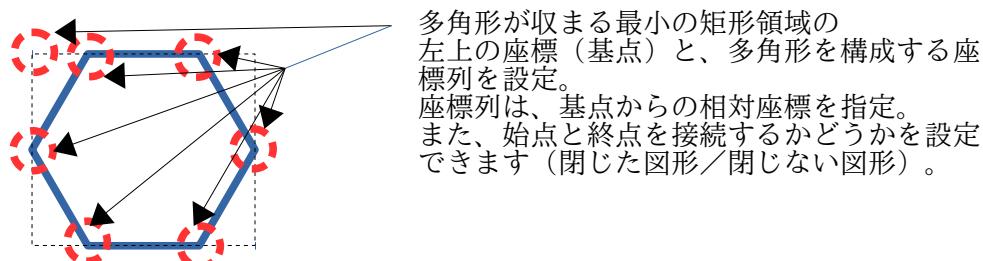
2) 四角形



3) 円



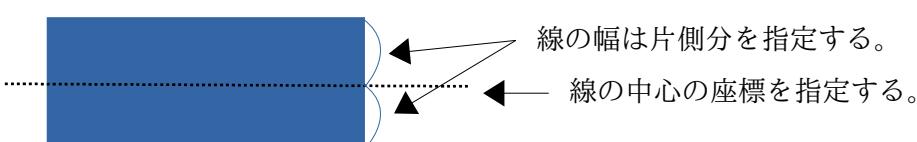
4) 多角形



WEB_DRAW_SETコマンドで、描画位置、線の幅、色などの図形の修飾や、図形同士の重なり順、表示／非表示などを設定できます。

3.17.2 線の幅について

線の幅は、指定した座標を中心にもつて描画されます。指定する幅は片側分で、線の幅は2倍になります。X座標=0、あるいは、Y座標=0を指定した場合、線の幅の片側が隠れますので、ご注意ください。



3.17.3 WEB_DRAW

命令																																					
機能	図形を配置します。																																				
書式	WEB_DRAW <①部品ID>, <②設定1>, <③設定2>, <④設定3>, <⑤設定4>, <⑥設定5>																																				
/パラメータ	<table border="1"> <tr> <td>①</td><td><部品ID></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">任意の部品IDを指定します。</td></tr> <tr> <td>②</td><td><設定1></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">描画する図形種類を指定します。</td></tr> <tr> <td>③</td><td><設定2></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。</td></tr> <tr> <td>④</td><td><設定3></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。</td></tr> <tr> <td>⑤</td><td><設定4></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。</td></tr> <tr> <td>⑥</td><td><設定5></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="3">設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。</td></tr> </table>	①	<部品ID>	文字列	任意の部品IDを指定します。			②	<設定1>	文字列	描画する図形種類を指定します。			③	<設定2>	文字列	設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。			④	<設定3>	文字列	設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。			⑤	<設定4>	文字列	設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。			⑥	<設定5>	文字列	設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。		
①	<部品ID>	文字列																																			
任意の部品IDを指定します。																																					
②	<設定1>	文字列																																			
描画する図形種類を指定します。																																					
③	<設定2>	文字列																																			
設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。																																					
④	<設定3>	文字列																																			
設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。																																					
⑤	<設定4>	文字列																																			
設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。																																					
⑥	<設定5>	文字列																																			
設定1の図形種類により異なります。 下記/パラメータ説明をご参照ください。																																					
/パラメータ説明																																					
②設定1 図形種類	③設定2	④設定3	⑤設定4	⑥設定5																																	
“LINE”	横座標1(始点)	縦座標1(始点)	横座標2(終点)	縦座標2(終点)																																	
“RECT”	横座標1(左上)	縦座標1(左上)	横幅	高さ																																	
“CIRCLE”	横座標1(中心)	縦座標1(中心)	半径 横	半径 縦																																	
“POLY”	横座標1(左上)	縦座標1(左上)	座標列 ※書式は下記	始点終点接続 ※書式は下記																																	
※POLYのパラメータの書式																																					
<p>⑤設定4 ” x1,y1 x2,y2 x3,y3 . . . ” 「X座標,Y座標」 のペアを、半角スペースで区切って書き並べてください。</p> <p>⑥設定5 ” POLYGON” 座標列の始点と終点を接続した「閉じた図形」を描画します。 ” POLYLINE” 座標列の始点と終点を接続しない「開いた図形」を描画します。</p> <p>空文字（” ”）を指定した場合、” POLYGON” の動作になります。</p>																																					
文例	WEB_DRAW_SETコマンドをご参照ください。																																				

3.17.4 WEB_DRAW_SET

命令		
機能	図形描画の設定をします。	
書式	WEB_DRAW_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>	
パラメータ	①	<部品ID> 文字列
	設定したい部品IDを指定します。	
	②	<設定項目> 定数
	③	<設定値> 文字列
以下の設定項目、設定値を指定することで、ランプの設定ができます。		
<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※図形のクリックでイベント処理を呼び出せます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p>		
②設定項目	③設定値	
図形の横座標 1 AJAN_DRAW_POS_X1	<p>横座標（ピクセル単位） 例：“100”</p> <p>図形種類により意味が異なります。</p> <p>LINE : 始点の横座標 RECT : 基点の横座標（左上） CIRCLE: 中心点の横座標 POLY : 基点の横座標（左上）</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	
図形の縦座標 1 AJAN_DRAW_POS_Y1	<p>縦座標（ピクセル単位） 例：“50”</p> <p>図形種類により意味が異なります。</p> <p>LINE : 始点の縦座標 RECT : 基点の縦座標（左上） CIRCLE: 中心点の縦座標 POLY : 基点の縦座標（左上）</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	
図形の横座標 2 AJAN_DRAW_POS_X2	<p>LINEの終点の横座標（ピクセル単位） 例：“100”</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	
図形の縦座標 2 AJAN_DRAW_POS_Y2	<p>LINEの終点の縦座標（ピクセル単位） 例：“50”</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	
図形の横幅 AJAN_DRAW_WIDTH	<p>RECTの横幅（ピクセル単位） 例：“100”</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	
図形の高さ AJAN_DRAW_HEIGHT	<p>RECTの高さ（ピクセル単位） 例：“50”</p> <p>※3.17.1 概要 をご参照ください。</p>	

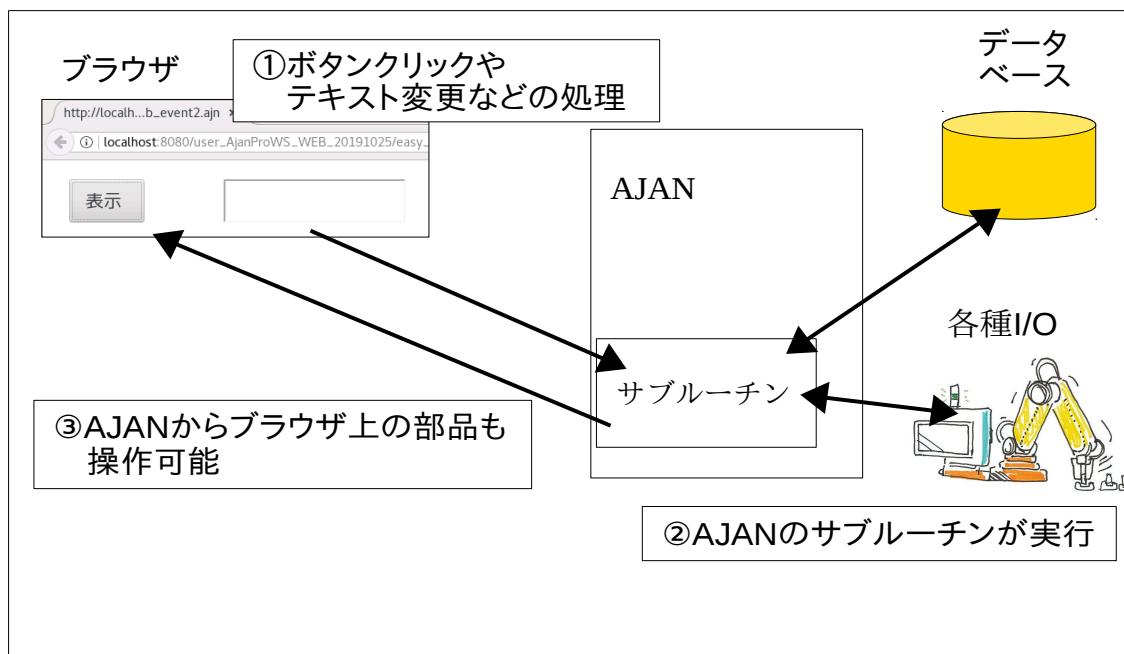
半径 横 AJAN_DRAW_RADIUS_X	CIRCLEの横半径（ピクセル単位） 例：“100” ※3.17.1 概要 をご参照ください。
半径 縦 AJAN_DRAW_RADIUS_Y	CIRCLEの縦半径（ピクセル単位） 例：“50” ※3.17.1 概要 をご参照ください。
多角形の描画座標 AJAN_DRAW_POLY_POINTS	POLYの多角形の座標 例（四角形）：“0,0 100,0 100,100 0,100 0,0” 「X座標,Y座標」のペアを、半角スペースで区切って書き並べてください。
回転角 AJAN_DRAW_ROTATE	図形の回転角度を指定。 図形の中心を基点に、時計回りの方向に回転します。 全図形に有効。
線の幅 AJAN_DRAW_LINE_SIZE	図形を描画する線の幅（ピクセル単位） 全図形に有効。
線の色 AJAN_DRAW_LINE_COLOR	図形を描画する線の色 全図形に有効。
塗りつぶし色 AJAN_DRAW_FILL_COLOR	図形を塗りつぶす色 LINE以外の図形に有効。
透明度 AJAN_DRAW_OPACITY	部品の透明度を“0.0”～“1.0”で指定。 “0.0”：透明 “1.0”：完全表示 全図形に有効。
マウスカーソルを乗せた時の動作設定 AJAN_DRAW_MOUSE_HOVER	“BRIGHT”：部品を光らせる “POINTER”：マウスカーソルを人差し指の形にする “ARROW”：マウスカーソルを矢印の形にする “”：設定なし 下記組み合わせが可能（半角スペースで区切る） “BRIGHT POINTER” “BRIGHT ARROW” 全図形に有効。
図形の表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE：表示（初期値） AJAN_FALSE：非表示 全図形に有効。
図形の重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	“1”～“1000” 大きい数字ほど手前に表示します。 全図形に有効。
図形の削除 AJAN_WEB_REMOVE	“”（空文字列を指定） 全図形に有効。
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例：“xxです” “”（空文字列） ツールチップ設定を無効にする。

3.18 イベント

3.18.1 概要

ブラウザ上のボタンクリックやテキスト変更などの処理でAJANのサブルーチンを直接呼び出して各種処理を実行できます。

呼び出されたAJANサブルーチン内では、Web ブラウザ上のWeb部品の情報を取得できます。



3.18.2 ON WEB CALL

命令																	
機能	配置したWeb部品に対して、イベント処理を設定します。																
書式	ON WEB <①部品ID>, <②イベント実行条件>, CALL <③実行サブルーチン名>, <④サブルーチン用パラメータ1>, <⑤サブルーチン用パラメータ2>																
パラメータ	<table border="1"> <tr> <td>①</td><td><部品ID></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="2">イベント設定したい部品IDを指定します。</td><td></td></tr> <tr> <td>②</td><td><イベント実行条件></td><td>文字列</td></tr> <tr> <td colspan="2">イベントが実行される条件を設定します。</td><td></td></tr> <tr> <th>設定内容</th><th>②イベント実行条件</th><th>備考</th></tr> </table>		①	<部品ID>	文字列	イベント設定したい部品IDを指定します。			②	<イベント実行条件>	文字列	イベントが実行される条件を設定します。			設定内容	②イベント実行条件	備考
①	<部品ID>	文字列															
イベント設定したい部品IDを指定します。																	
②	<イベント実行条件>	文字列															
イベントが実行される条件を設定します。																	
設定内容	②イベント実行条件	備考															
対象部品をクリックした時	"CLICK"	<p>対象部品 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボタン(WEB_BUTTON) ・画像 (WEB_IMG) ・データグリッド(WEB_GRID) ・図形描画(WEB_DRAW) ・ランプ(WEB_LAMP) 															
対象部品をダブルクリックした時	"DBLCLICK"	<p>対象部品 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データグリッド(WEB_GRID) 															
対象部品に変更があった時	"CHANGE"	<p>対象部品 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テキストボックス(WEB_TEXT) ・テキストエリア(WEB_TEXTAREA) ・セレクトボックス(WEB_SELECT) ・ラジオボタン(WEB_RADIO) ・チェックボックス(WEB_CHECKBOX) ・ボタン(WEB_BUTTON) ・データグリッド(WEB_GRID) <p>※プログラムで上記オブジェクトの内容を直接更新した場合は、イベントは発生しません。</p> <p>※L8のChromiumでご使用の場合、テキストボックスのタイプを "NUMBER" で使用しますと、増減ボタンでのCHANGEイベントが遅れて発生することがあります。</p>															
対象部品の再生動作が終了した時	"ENDED"	<p>対象部品 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画再生(WEB_VIDEO) ・音声再生(WEB_AUDIO) 															
イベント設定解除	"CANCEL"	指定された部品IDの全てのイベント設定を解除します。															

③	<実行サブルーチン名>	名前
イベント条件を満たしたときに実行されるAJANサブルーチン名を指定します。		
④	<サブルーチン用パラメータ1>	文字列
実行するサブルーチンに渡す1つめのパラメータを設定します。 ※渡すデータがない場合、およびイベント解除の場合、空文字列("")を指定してください。 ※エスケープ文字を使用する場合は、備考の「エスケープ文字を使用する場合の対応方法」をご参照ください。		
⑤	<サブルーチン用パラメータ2>	文字列
実行するサブルーチンに渡す2つめのパラメータを設定します。 注意事項は、サブルーチン用パラメータ1と同じです。		

備考

[イベント設定で使用するサブルーチンの書式]

- サブルーチン例：

```
SUB SUB_BUTTON(ID$, PARAM1$, PARAM2$)
    ここにイベント発生時に
    実行する処理を記述します。
END SUB
```
- 引数は(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$)を指定してください。
- ID\$はイベントを実行した部品の部品IDが入ります。
- PARAM1\$、PARAM2\$は本コマンドのパラメータ④⑤で指定した内容が入ります。

[エスケープ文字を使用する場合の対応方法]

サブルーチンのパラメータに ダブルクオーテーション(")や バックスラッシュ (\")、CR, LF 等の エスケープ文字を使用する場合は、以下のようにデータをエンコード（正常に使用できる形式に変換）、デコード（エンコードされたデータを元の形式に戻す）を行ってください。

- パラメータをエンコード/デコードする例：

```
ON WEB "BUTTON1","CLICK" CALL SUB_BUTTON,
    STR_BASE64_ENCODE$("1行目\2行目"), ""
    'パラメータ1(バックスラッシュを含むデータ)をエンコードして渡します。

SUB SUB_BUTTON(ID$, PARAM1$, PARAM2$)
    '受け取ったデータをデコードして元の形式に戻します。
    PARAM1$ = STR_BASE64_DECODE$(PARAM1$)
END SUB
```

[Webブラウザ上のデータ取得]

サブルーチン内では、Webブラウザ上のデータを取得することができます。

取得したデータは、AJAN_WEB_FORM\$（システム予約変数）に格納されます。

- AJAN_WEB_FORM\$ の書式
[書式] AJAN_WEB_FORM\$(<部品ID>) ※連想配列の形式でデータが格納されます。
- AJAN_WEB_FORM\$ に格納されるデータ

部品種類	取得データ/例
テキストボックス	テキストボックス内のテキストデータ [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("TEXT1") [取得データ]"データ123"
テキストエリア	テキスト内エリア内のテキストデータ [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("TEXTAREA1") [取得データ] "1行目データ 2行目データ"

部品種類	取得データ/例
データグリッド	<p>データグリッド内のデータ [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1") [取得データ] "ID", "名称", "価格" "1", "製品-1", "821949" "2", "製品-2", "86751"</p> <p>アクティブなセルの行位置（フィルタリングに応じて変動） [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1.ROW") [取得データ] "1"</p> <p>アクティブなセルの行位置（フィルタリングに影響されない） [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1.ROWORG") [取得データ] "5"</p> <p>アクティブなセルの列位置 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1.COLUMN") [取得データ] "2"</p> <p>変更したセルを含む行データ [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1.UPDATED") [取得データ] "ID", "名称", "価格" "1", "製品-1", "821949"</p> <p>削除したセルを含む行データ [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("GRID1.DELETED") [取得データ] "ID", "名称", "価格" "3", "製品-3", "78421"</p>
セレクトボックス	<p>セレクトボックスで選択されている項目 WEB_SELECT_SET コマンドの AJAN_SELECT_RESULT の設定により、AJAN_WEB_FORM\$に格納されるデータ内容が異なります。</p> <p>AJAN_SELECT_RESULT = "0" の場合（デフォルト） [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("SELECT1") [取得データ] "sel2" （選択リストの値）</p> <p>AJAN_SELECT_RESULT = "1" の場合 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("SELECT1") [取得データ] "sel2,選択2" （選択リストの値と表示名）</p>
ラジオボタン	<p>ラジオボタンで選択されている項目名 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("RADIO1") [取得データ] "rad2"</p>
チェックボックス	<p>チェックボックスの選択有無 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("CHECKBOX1") [取得データ] "0" チェック未選択 "1" チェック選択</p>

部品種類	取得データ/例
ボタン	<p>プッシュボタン使用時 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("BUTTON1") [取得データ] "0" マウスボタンを放した状態 "1" マウスボタンを押した状態</p> <p>※マウスボタンを押した状態で、マウスカーソルがボタンから外れた場合、マウスボタンを放した状態として検知されます。</p> <p>トグルボタン使用時 [変数名] AJAN_WEB_FORM\$("BUTTON1") [取得データ] "0" OFF状態 "1" ON状態</p> <p>※通常のボタンを使用時の取得値はありません。</p>
動画再生	なし
音声再生	なし
図形描画	なし
ランプ	なし

文 例

```

INCLUDE "WEB.AJN"

' 部品ID「BUTTON1」のボタンを配置します。
WEB_BUTTON      "BUTTON1", "40", "20", "表示"

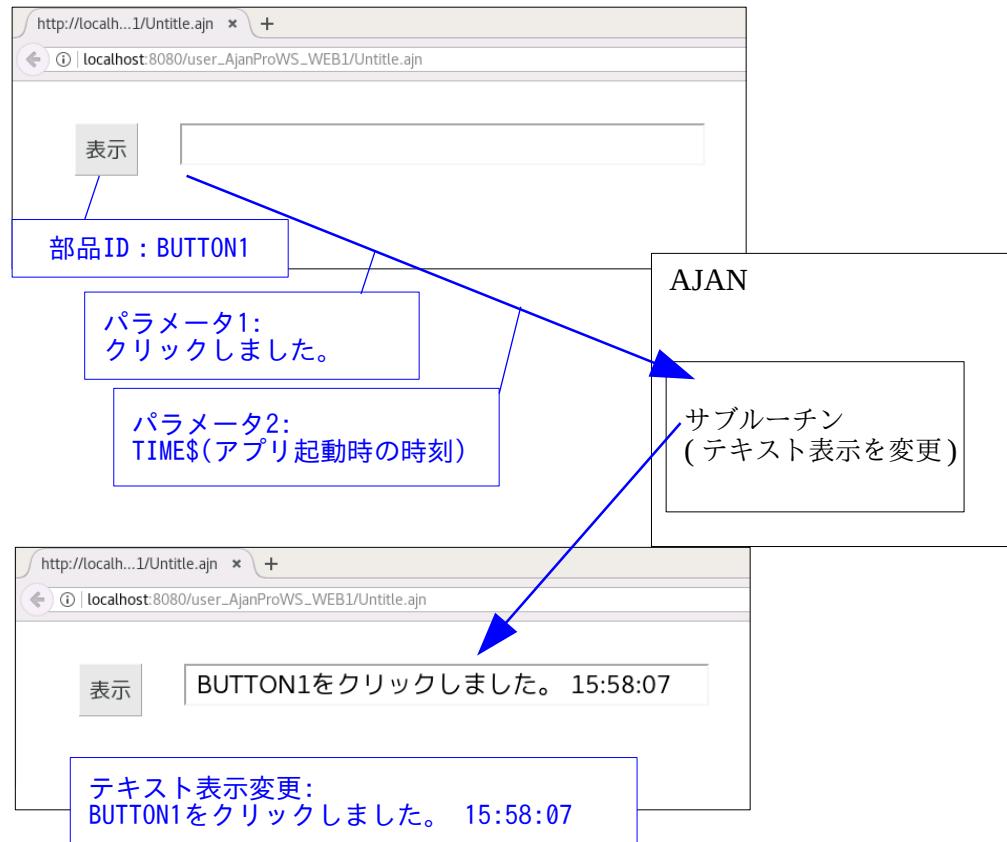
' 部品ID「TEXT1」のテキストを配置します。
WEB_TEXT        "TEXT1", "40", "100"
WEB_TEXT_SET    "TEXT1", AJAN_TEXT_WIDTH, "500"

' 部品ID「BUTTON1」のボタンをクリックしたときのイベントと処理を設定します。
' サブルーチンに渡すパラメータとして「クリックしました。」を指定します。
ON WEB "BUTTON1", "CLICK" CALL SUB_BUTTON, "クリックしました。", TIME$

' 部品ID「TEXT1」のテキストの内容を変更するサブルーチンを定義します。
' イベントを実行した部品の部品IDと、イベント設定コマンドで指定した
' パラメータをテキストに表示します。
SUB SUB_BUTTON(ID$, PARAM1$, PARAM2$)
    WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_VALUE, ID$+"を"+PARAM1$+" "+PARAM2$
END SUB

' イベント受付のため、AJAN Webアプリを起動し続けるための処理
DO WHILE TRUE
    SLEEP 1
    IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN
        END 'ネットワーク切断時:終了する
    END IF
LOOP

```



3.19 HTML/JavaScript直接記述

3.19.1 概要

ブラウザ上に、文字列(任意のHTML/JavaScriptを含む)を直接記述することができます。

※HTML, JavaScript記述については、それぞれの知識が必要です。

※本コマンドは、簡易的にHTML、JavaScriptを直接記述してブラウザ上で実行するコマンドです。簡単な文字やHTMLをブラウザに表示する用途等に使用できます。

ブラウザ上で簡易的に単発で実行するため、本格的なJavaScriptプログラムの登録や実行には適しておりませんのでご了承ください。

3.19.2 WEB_WRITE

命令			
機能	Web ブラウザ画面に直接文字を表示します。 簡易的なHTML、JavaScriptを直接記述して実行することができます。		
書式	WEB_WRITE <①表示内容>		
パラメータ	①	<表示内容>	文字列
表示するHTML/JavaScriptの内容を指定します。 ※JavaScriptの場合は、<script>～</script>で囲んでください。 (scriptはすべて小文字です)			
文例 1	INCLUDE "WEB.AJN" '簡単な文字をブラウザに送信します。 WEB_WRITE "Hello AJAN!"		
文例 2	INCLUDE "WEB.AJN" '直接記述するHTML/JavaScriptを文字列変数に代入します。 JS\$ = ''' <canvas id='ID_CANVAS1' width='500' height='600' style='top:40px;left:20px; position: relative;'></canvas> <script> // canvas配置 var canvas = document.getElementById('ID_CANVAS1'); var context = canvas.getContext('2d'); // 自由な図形描画 context.beginPath(); // パスを開始 context.moveTo(90, 230); // 開始座標 context.strokeStyle = 'blue'; // 線の色 context.lineWidth = 10; // 線の幅 context.lineTo(200, 320); // 線を引く context.lineTo(60, 300); // 線を引く context.closePath(); // パスを閉じる context.stroke(); // 線を描画 </script> '''		
'HTML/JavaScriptをブラウザに送信します。 WEB_WRITE JS\$			

備考

※本コマンドは、動的にJavaScriptを実行する関係上 実行時に若干のメモリリークが発生する場合があります。通常の単発の実行では影響はありませんが、永続的に繰り返し実行するような処理の場合は、メモリリークにより使用可能メモリが削減されますのでご注意ください。

3.20 カメラ接続 (AJAN側 カメラ)

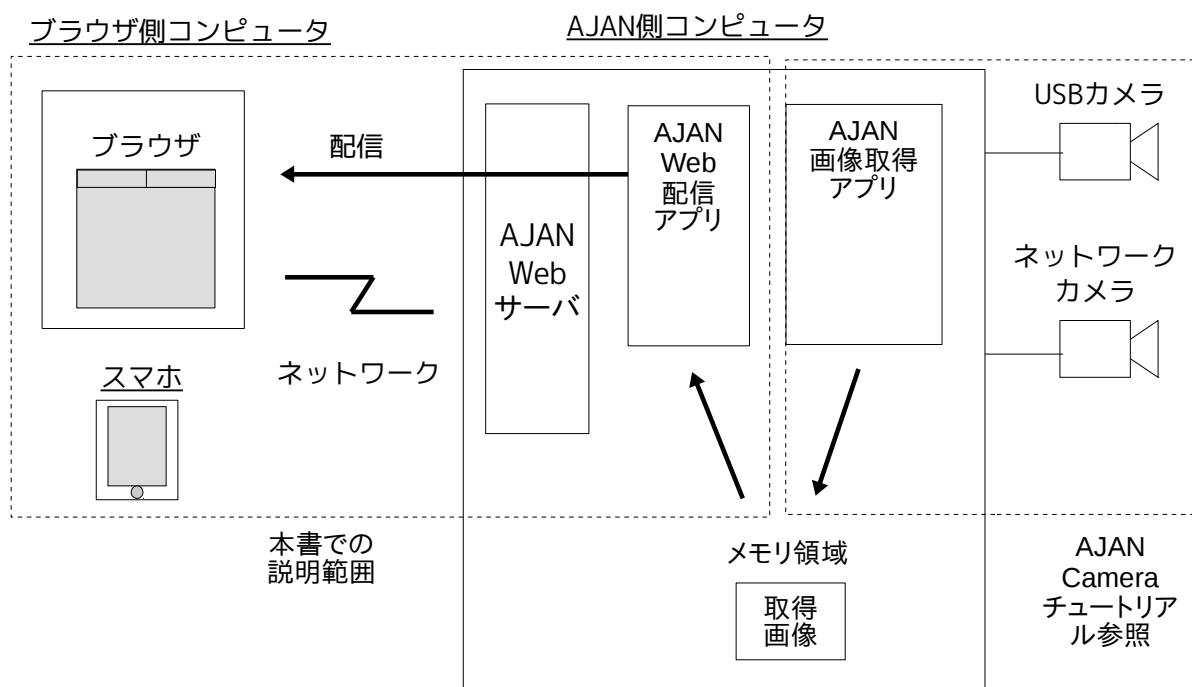
3.20.1 概要

AJANの動作しているコンピュータに接続したカメラ(USBカメラ、ネットワークカメラ)の画像を、接続された別コンピュータのブラウザから参照することができます。
遠隔地の状態をカメラで監視するような用途に使用できます。

本書では、メモリ上に格納された、USBカメラや ネットワークカメラから取得されたデータをWebアプリケーションで配信する方法について説明します。

※USBカメラやネットワークカメラからデータを取得してメモリに格納する部分につきましては、「AJAN Cameraチュートリアル」をご参照ください。

AJAN側カメラによるデータ取得/配信例



- ・ AJAN画像取得アプリは、AJAN側カメラから取得した画像をコンピュータ内のメモリ領域に記録します。データは自動更新します。
(AJAN Camera チュートリアル参照)
- ・ AJAN Web配信アプリを組み合わせることで、メモリ領域にある取得画像をWeb サーバから ブラウザ側コンピュータに配信できます。
(本書で説明)

3.20.2 アプリケーション(サンプル)の説明

本書では、メモリ上にある USBカメラや ネットワークカメラから取得されたデータを Web アプリケーションで配信する方法について説明します。

※USBカメラやネットワークカメラからデータを取得してメモリに格納する部分につきましては、「AJAN Cameraチュートリアル」をご参照ください。

①AJAN Web配信アプリ

[機能]

AJAN 画像取得アプリ によって メモリ上に保存された撮影データを、ブラウザ側コンピュータの Web ブラウザに 表示/更新します。

[サンプルプログラムの場所]

```
<IDE>
WEB_samples
+ 4_web_ajan_camera.ajn << AJAN Web 配信アプリ
                                画像表示する基本のサンプルです。

+ 4_web_ajan_camera_advance.ajn << AJAN Web 配信 + 画像処理アプリ
                                画像表示 + かんたんな画像認識 / 加工
```

※本プログラムはAJAN Webアプリケーションです。

[実行方法]

通常の AJAN Web アプリケーションと 同様に、IDEにて上記のサンプルプログラムを開いて実行してください。

[実行画面(例)]

本プログラムを実行させると、Webブラウザ上にAJAN側カメラから取得した撮影データが表示されて自動更新します。

また、シャッターボタンを押すと現在の
画面表示データを静止画として保存します。
(保存先:本プログラム - data フォルダ)



[注意事項]

※画像処理について

上記の顔認識等の画像処理を行うサンプルプログラムでは、python と OpenCVを使用しています。

OpenCVは画像処理等の機能を持ったオープンソースのライブラリです。

AJANでカメラから取得した画像を python+OpenCVで作成したプログラムに渡すことで、

顔認識等を実現しています。

誠に申し訳ありませんが、pythonやOpenCV使い方や動作内容、応用例等につきましてはサポートいたしかねます。それぞれのWeb site等をご参照ください。

3.21 カメラ接続(ブラウザ側カメラ)

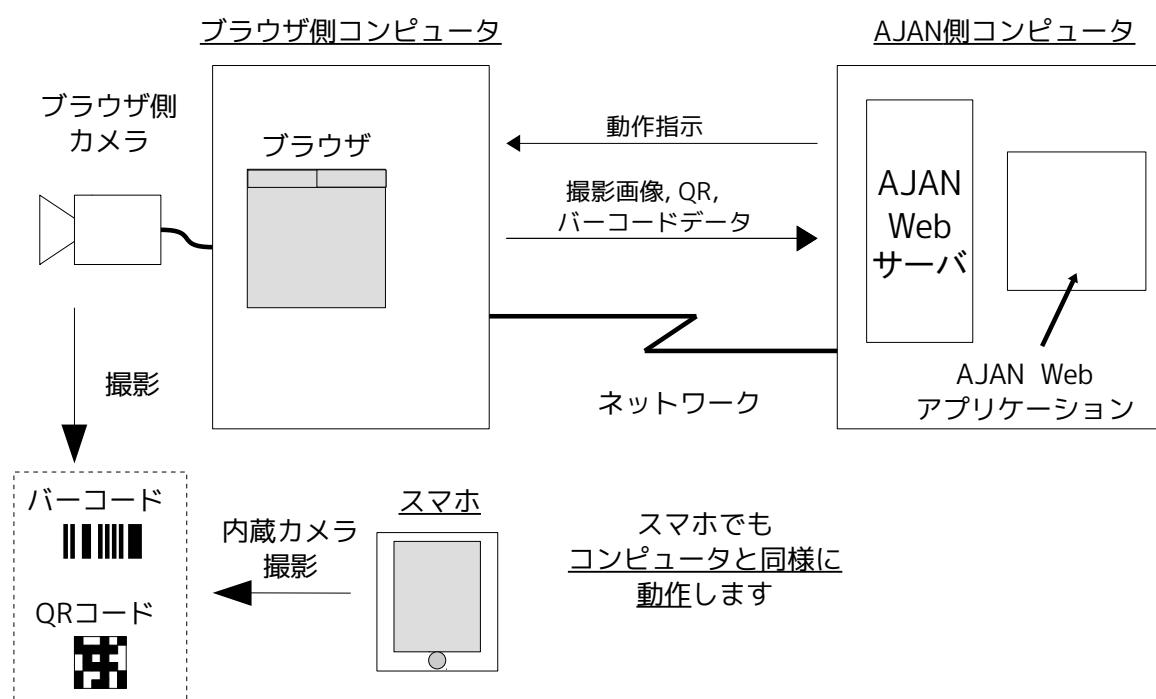
3.21.1 概要

ブラウザの動作しているコンピュータに接続されたカメラ(USBカメラ またはスマートの内蔵カメラ)の撮影データを、そのコンピュータ(スマート)のブラウザに表示したり、AJAN側コンピュータにデータを送って保存することができます。

また、カメラ撮影した画像のバーコード・QRコードを認識することができます。

※ブラウザ側カメラをネットワーク経由で使用する場合は、Webサイトのhttps化(SSL化)が必要になります。AJAN かんたんWebにて https化を行う方法につきましては、別途お問い合わせください。

ブラウザ側カメラによる撮影



- ・ブラウザ側のカメラで撮影した画像を、AJAN側のコンピュータへ送信してデータ保存
- ・ブラウザ側のカメラでQRコード、バーコードを撮影して、認識したデータをAJANに送信

※動作確認済カメラにつきましては、2.4.17 動作確認済カメラをご参照ください。

3.21.2 WEB_CAMERA

命令		
機能	カメラ撮影表示を配置します。	
書式	WEB_CAMERA <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラメータ	①	<部品ID>
	任意の部品IDを指定します。	
	②	<垂直位置>
	表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。	
文例	③	<水平位置>
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。	
	※ブラウザ上で、「カメラを共有しますか？」と表示された場合は、共有する設定を選択してください。(ブラウザ・設定により表示メッセージは異なります)	
	INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「CAMERA1」のカメラ撮影画像を配置します。上端から60ピクセル、 '左端から20ピクセルの位置に表示します。 '※ブラウザ上でカメラの共有設定を有効にする必要があります。 WEB_CAMERA "CAMERA1", "60", "20"	
		

3.21.3 WEB_CAMERA_SET

命令														
機能	カメラ撮影されている画像に対して、ファイル保存やQR/バーコード認識を行います。													
書式	WEB_CAMERA_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>													
パラメータ	① <部品ID>	文字列												
	設定したい部品IDを指定します。													
	② <設定項目>	定数												
	③ <設定値>	文字列												
	以下の設定項目、設定値を指定することで、カメラ部品の設定ができます。													
	※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。													
	③設定項目	④設定値												
	画像フォルダを保存するフォルダ AJAN_CAMERA_IMAGE_FOLDER	画像フォルダ保存フォルダパス ※実行ファイルから見た相対パス (初期設定は、実行ファイルと同じフォルダ)												
	カメラの画像ファイル保存実行 AJAN_CAMERA_GET_IMAGE	保存する画像ファイルのファイル名												
	カメラ撮影表示の幅 AJAN_CAMERA_WIDTH	カメラ撮影表示幅 ※縦横比は固定です。												
	カメラ撮影表示の高さ AJAN_CAMERA_HEIGHT	カメラ撮影表示高さ ※縦横比は固定です。												
	カメラキャプチャ画像の幅 AJAN_CAMERA_IMG_WIDTH	キャプチャ画像幅 ※縦横比は固定です。												
	カメラキャプチャ画像の高さ AJAN_CAMERA_IMG_HEIGHT	キャプチャ画像高さ ※縦横比は固定です。												
	カメラ撮影データからQRコード検出 AJAN_CAMERA_QR_SCAN	"START" : 検出開始 "STOP" : 検出停止 検出を開始すると、画面上にガイド枠を表示して有効なデータが検出されるまで処理を繰り返します。												
	カメラ撮影データからバーコード検出 AJAN_CAMERA_BARCODE_SCAN	"START" : 検出開始 "STOP" : 検出停止 検出を開始すると、画面上にガイド枠を表示して有効なデータが検出されるまで処理を繰り返します。												
	検出するバーコード種類 AJAN_CAMERA_BARCODE_TYPE	検出するバーコード種類 <table border="1"> <tr> <th>バーコード種類</th><th>設定値</th></tr> <tr> <td>JAN/EAN (13桁)</td><td>"EAN"</td></tr> <tr> <td>Code39</td><td>"CODE39"</td></tr> <tr> <td>Code128</td><td>"CODE128"</td></tr> <tr> <td>インターリーブド 2of5</td><td>"I2OF5"</td></tr> <tr> <td>Codabar/NW7</td><td>"CODABAR"</td></tr> </table>	バーコード種類	設定値	JAN/EAN (13桁)	"EAN"	Code39	"CODE39"	Code128	"CODE128"	インターリーブド 2of5	"I2OF5"	Codabar/NW7	"CODABAR"
バーコード種類	設定値													
JAN/EAN (13桁)	"EAN"													
Code39	"CODE39"													
Code128	"CODE128"													
インターリーブド 2of5	"I2OF5"													
Codabar/NW7	"CODABAR"													
本コマンドは バーコード検出開始 (AJAN_CAMERA_BARCODE_SCAN) 前に行ってください。														

	※バーコードの種類が「インターリーブド2of5」の場合、バーコードの構成上桁落ちによる誤認識が発生しやすくなります。「インターリーブド2of5」でご使用になる場合は、取得したデータの桁数チェックを行うことで認識率が向上します。
QR コード検出領域高さ AJAN_CAMERA_QR_CHECK_AREA_HEIGHT	撮影画面内のQRコード検出領域の高さ 例："80" *1
QR コード検出領域幅 AJAN_CAMERA_QR_CHECK_AREA_WIDTH	撮影画面内のQRコード検出領域の幅 例："80" *1
バーコード検出領域高さ AJAN_CAMERA_BARCODE_CHECK_AREA_HEIGHT	撮影画面内のバーコード検出領域高さ 例："60" *1
バーコード検出領域高さ AJAN_CAMERA_BARCODE_CHECK_AREA_WIDTH	撮影画面内のバーコード検出領域高さ 例："350" *1
カメラ撮影表示領域の表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
カメラ撮影表示領域の重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
カメラ撮影表示領域の削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
カメラ撮影表示の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
カメラ撮影表示の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置

*1 本サイズは、カメラで撮影した画面内で QR//バーコード認識する領域のサイズを指定します。本領域で指定した領域にガイド枠が表示されて、この領域内でのみQR//バーコード認識を行います。
通常は初期値設定のままで問題ありませんが、使用するカメラの解像度、対象物との距離、対象物のサイズなどにより 正常に認識できない場合には本パラメータをカスタマイズして調整してください。

機能	<p>・カメラ画像をWebブラウザから取得してファイルに保存する場合の処理について</p> <p>WEB_CAMERA_SET コマンドで、カメラ撮影データの画像ファイル保存 (AJAN_CAMERA_GET_IMAGE) を実行すると、Webブラウザに表示されているカメラ画像をAJANに送信します。</p> <p>AJAN側では、画像データ受信サブルーチンにて、ブラウザから送信された画像データを取得し、データを保存することができます。</p> <p>画像データを受信して保存（または加工）する場合には、以下のサブルーチンを AJANプログラム内に記載してください。（詳しくはサンプル例をご参照ください）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[画像データ受信サブルーチン]</p> <p>名称 : AJAN_SUB_CAMERA_UPLOAD ※サブルーチン名は固定です</p> <p>引数 : ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$ (システム予約)</p> </div> <p>画像データ受信サブルーチン内では、以下の値を取得できます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>画像データ受信サブルーチン内で取得できる内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p> <p>[内容] 画像ファイルのパスです。本ファイルパスは、AJAN_CAMERA_IMAGE_FOLDERで指定した保存フォルダと AJAN_CAMERA_GET_IMAGEで指定したファイル名を結合したものです。 画像データ受信サブルーチン内で、カメラ画像を本ファイルパスに保存することにより、指定したフォルダにファイルを作成できます。</p> <p>例：(FILEPATH\$ に 画像ファイルの保存するファイルパスが格納されます) FILEPATH\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p> </td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file")</p> <p>[内容] ブラウザから送信されてきた画像ファイルのバイナリデータです。 データは Base64 でエンコードされていますので、データを STR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。</p> <p>例：(DATA_STR\$に 画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p> </td></tr> </tbody> </table> <p>画像データ受信サブルーチン記載例 (詳しくはサンプルプログラムをご参照ください)</p> <pre> '----- 'アップロードされた画像ファイルを受けとめて保存 'SUBLURCHIN名 : AJAN_SUB_CAMERA_UPLOAD (システム予約) '----- SUB AJAN_SUB_CAMERA_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) 'クライアントからのデータをファイルに保存する 'ファイルパスを取得 LOCAL FILEPATH\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") 'base64 データをデコード LOCAL DATA_STR\$ = STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file")) 'ファイルをPC上に保存 STR_FWRITEALL FILEPATH\$, DATA_STR\$ END SUB </pre>	No	画像データ受信サブルーチン内で取得できる内容	1	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p> <p>[内容] 画像ファイルのパスです。本ファイルパスは、AJAN_CAMERA_IMAGE_FOLDERで指定した保存フォルダと AJAN_CAMERA_GET_IMAGEで指定したファイル名を結合したものです。 画像データ受信サブルーチン内で、カメラ画像を本ファイルパスに保存することにより、指定したフォルダにファイルを作成できます。</p> <p>例：(FILEPATH\$ に 画像ファイルの保存するファイルパスが格納されます) FILEPATH\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p>	2	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file")</p> <p>[内容] ブラウザから送信されてきた画像ファイルのバイナリデータです。 データは Base64 でエンコードされていますので、データを STR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。</p> <p>例：(DATA_STR\$に 画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p>
No	画像データ受信サブルーチン内で取得できる内容						
1	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p> <p>[内容] 画像ファイルのパスです。本ファイルパスは、AJAN_CAMERA_IMAGE_FOLDERで指定した保存フォルダと AJAN_CAMERA_GET_IMAGEで指定したファイル名を結合したものです。 画像データ受信サブルーチン内で、カメラ画像を本ファイルパスに保存することにより、指定したフォルダにファイルを作成できます。</p> <p>例：(FILEPATH\$ に 画像ファイルの保存するファイルパスが格納されます) FILEPATH\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name")</p>						
2	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file")</p> <p>[内容] ブラウザから送信されてきた画像ファイルのバイナリデータです。 データは Base64 でエンコードされていますので、データを STR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。</p> <p>例：(DATA_STR\$に 画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p>						

機能	<p>・カメラ画像を取得して保存する場合には、AJANプログラムを継続動作させて、終了させないようにしてください。</p> <p>AJANプログラムが終了している場合は、ブラウザからAJANに画像データを送信しても処理が行われずにファイル保存ができません。</p> <p>AJANを継続動作させる例（詳しくはサンプルプログラムをご参照ください）</p> <pre>～ 'カメラ撮影処理を行うためAJANを継続動作 DO WHILE TRUE SLEEP 1 IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN END 'ネットワーク切断時:終了する END IF LOOP</pre>
文例	<p>'ブラウザに表示したカメラの画像をAJAN側で保存します。</p> <pre>INCLUDE "WEB.AJN" '部品ID「CAMERA1」のカメラ部品を配置します。 WEB_CAMERA "CAMERA1", "30", "50" 'カメラ部品に画像が表示されるまで、しばらく待ちます。 SLEEP(3) '3秒間ウェイト 'カメラで撮影したデータを画像データ「camera_capture.png」で保存します。 WEB_CAMERA_SET "CAMERA1", AJAN_CAMERA_GET_IMAGE, "camera_capture.png" ' '-----' 'アップロードされた画像ファイルを受けとて保存 'サブルーチン名：AJAN_SUB_CAMERA_UPLOAD (システム予約) ' SUB AJAN_SUB_CAMERA_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) 'クライアントからのデータをファイルに保存する LOCAL DATA_STR\$ = STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file")) 'base64 LOCAL FILEPATH\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") STR_FWRITEALL FILEPATH\$, DATA_STR\$ 'ファイルをPC上に保存 END SUB 'カメラ撮影処理を行うためAJANを継続動作 DO WHILE TRUE SLEEP 1 IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN END 'ネットワーク切断時:終了する END IF LOOP</pre> 

文例	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" WEB_PAGE_SET AJAN_PAGE_TITLE, "ブラウザ側カメラ バーコード認識" 'Webタイトル WEB_LABEL "", "20", "20", "ブラウザ側カメラで撮影した画像から QR/バーコードを認識します" WEB_LABEL "", "50", "20", "QR//バーコード認識後、数秒後に再スキャンを自動開始します。" 'バーコード/QRコード種類 選択リスト DIM SELECT_DATA\$(6,1) SELECT_DATA\$ = [[", "-- QR / バーコード 種類を選択 --"], _ ["QR", "[QRコード] "], _ ["CODE39", "[バーコード] Code39 工業用"], _ ["EAN", "[バーコード] JAN/EAN(13桁) 書籍、生活用品等"], _ ["CODABAR", "[バーコード] Codabar/NW7 宅配便送り状、図書館等"], _ ["I2OF5", "[バーコード] インターリーブド2of5"], _ ["UPC", "[バーコード] UPC-A 12桁"], _ ["CODE128", "[バーコード] Code128"]] 'セレクトボックス(リストボックス) WEB_LABEL "", "120", "20", "QR//バーコード種類" WEB_SELECT "CODE_SELECT", "110", "200" 'セレクトボックス 配置 WEB_SELECT_SET "CODE_SELECT", AJAN_SELECT_LIST, SELECT_DATA\$ '選択リスト 'クリック時処理を登録 ON WEB "CODE_SELECT", "CHANGE" CALL SUB_SCAN_START, "", "" WEB_LABEL "", "200", "20", "認識データ:" '説明ラベル WEB_LABEL "SCAN_DATA", "190", "140", "-" '読み取りデータ表示ラベル WEB_LABEL_SET "SCAN_DATA", AJAN_LABEL_COLOR, "BLUE" '文字色 WEB_LABEL_SET "SCAN_DATA", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "26" 'フォントサイズ WEB_LABEL "INFO", "460", "20", "※ネットワーク経由の場合はhttps/サーバ証明書の設定が必要" WEB_LABEL_SET "INFO", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "14" WEB_CAMERA "ID_CAMERA1", "240", "20" 'カメラ部品配置 'スキャン開始ボタンクリック時 SUB SUB_SCAN_START(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) '表示領域クリア WEB_LABEL_SET "SCAN_DATA", AJAN_LABEL_VALUE, "-" 'バーコード/QRコード種類取得、設定 CODE_TYPE\$ = AJAN_WEB_FORM\$("CODE_SELECT") IF (CODE_TYPE\$ = "") THEN EXIT SUB 'コード種類未選択 ELSEIF (CODE_TYPE\$ = "QR") THEN 'QRコード スキャン開始 WEB_CAMERA_SET "ID_CAMERA1", AJAN_CAMERA_QR_SCAN, "START" ELSE 'バーコード種別を設定 WEB_CAMERA_SET "ID_CAMERA1", AJAN_CAMERA_BARCODE_TYPE, CODE_TYPE\$ 'バーコード スキャン開始 WEB_CAMERA_SET "ID_CAMERA1", AJAN_CAMERA_BARCODE_SCAN, "START" END IF END SUB </pre>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

文例	<p>(続き)</p> <pre> '----- 'バーコード読み取り時の処理 'サブルーチン名 : AJAN_SUB_CAMERA_CODE_SCAN (システム予約) '----- SUB AJAN_SUB_CAMERA_CODE_SCAN(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) BARCODE_STRING\$ = AJAN_WEB\$("ajan_camera_code_data") 'コード取得 WEB_LABEL_SET "SCAN_DATA", AJAN_LABEL_VALUE, BARCODE_STRING\$ 'コードの値表示 BUZZERCONTROL "CONTROL=ON" 'ブザーを鳴らす(SuperCDの場合) SLEEP 0.3 BUZZERCONTROL "CONTROL=OFF" 'データ認識後、一定時間後に再スキャン開始 SLEEP 3 CALL SUB_SCAN_START(ID\$, "", "") END SUB 'ボタンイベント処理を行うためAJANを継続動作 DO WHILE TRUE SLEEP 1 IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN END 'ネットワーク切断時:終了する END IF LOOP </pre>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※バーコードの種類が「インターリーブド2of5」の場合、バーコードの構成上桁落ちによる誤認識が発生しやすくなります。「インターリーブド2of5」でご使用になる場合は、取得したデータの桁数チェックを行うことで認識率が向上します。



3.22 メータ

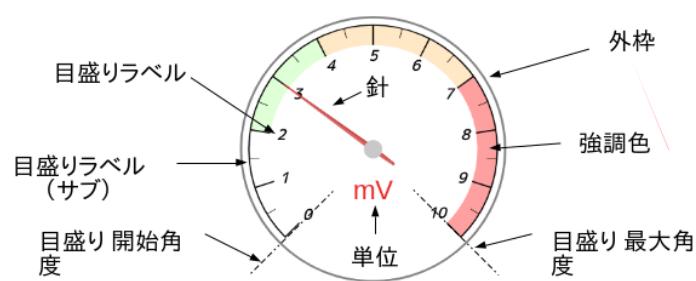
3.22.1 概要

Web上にメータを表示します。

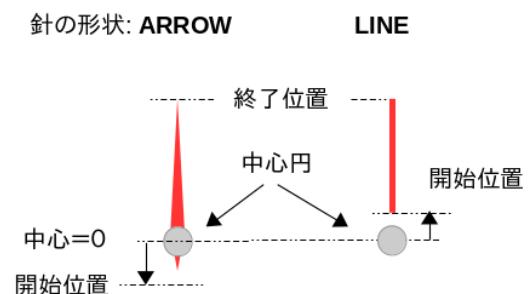
AJAN側から自由にメータの値を設定することで、リアルタイムに値を更新するメータを表示できます。

メータ設定項目

メータの種類: RADIAL

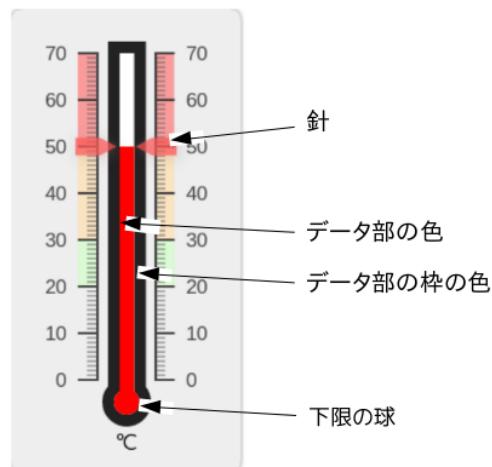


針の形状: ARROW



LINE

メータの種類: LINEAR



3.22.2 WEB_METER

命令		
機 能	メータを配置します。	
書 式	WEB_METER <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラ メータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。
文 例	WEB_METER_SETコマンドをご参照ください。	

3.22.3 WEB_METER_SET

命令																						
機能	メータの設定を行います。																					
書式	WEB_METER_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																					
パラ メータ	①	<部品ID>																				
	設定したい部品IDを指定します。																					
	②	<設定項目>																				
	③	<設定値>																				
	以下表に示すとおりに設定項目、設定値を指定することで、メータの設定ができます。																					
	<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※イベントの発生時に本Web部品のデータを取得することができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドをご参照ください。</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メータ種類 AJAN_METER_TYPE</td> <td> メータの種類を設定 "RADIAL" : アナログメータ（初期値） "LINEAR" : リニアメータ リニアメータの場合、メータが動く方向(縦方向／横方向)は、幅(AJAN_METER_WIDTH)、高さ(AJAN_METER_HEIGHT)の設定によって決まります。 </td> </tr> <tr> <td>メータの目盛りラベル AJAN_METER_TICK_MAJOR_LIST</td> <td> メータの目盛りラベルを一次元配列で設定。 例： 'メータの目盛りラベル DIM TICK\$(5) = _ ["0","20","40","60","80","100"] 上記の場合、目盛りラベルに 0,20 ··· 100を指定します。 </td> </tr> <tr> <td>メータの設定値 AJAN_METER_DATA</td> <td>メータに値を設定し、針を動かします。 例："50"</td> </tr> <tr> <td>設定値範囲最小値 AJAN_METER_MIN</td> <td>メータに設定するデータの最小値 例："0"</td> </tr> <tr> <td>設定値範囲最大値 AJAN_METER_MAX</td> <td>メータに設定するデータの最大値 例："100"</td> </tr> <tr> <td>メータの幅 AJAN_METER_WIDTH</td> <td>メータの幅 例："300"</td> </tr> <tr> <td>メータの高さ AJAN_METER_HEIGHT</td> <td>メータの高さ 例："300"</td> </tr> <tr> <td>アニメーション時間 AJAN_METER_ANIMATION_DELAY</td> <td> メータ動作時のアニメーション時間です。メータに値を設定した場合に、アニメーションした時間をかけてメータの針が動きます。 例： "0" : アニメーションなしで、値を設定したら瞬時に設定した値に針が動きます。 "1000" : 値を設定したら 1000ms (1秒) かけて、設定した値に針が動いていきます。 </td> </tr> <tr> <td>メータの背景色 AJAN_METER_BACKGROUND_COLOR</td> <td>メータの背景色</td> </tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	メータ種類 AJAN_METER_TYPE	メータの種類を設定 "RADIAL" : アナログメータ（初期値） "LINEAR" : リニアメータ リニアメータの場合、メータが動く方向(縦方向／横方向)は、幅(AJAN_METER_WIDTH)、高さ(AJAN_METER_HEIGHT)の設定によって決まります。	メータの目盛りラベル AJAN_METER_TICK_MAJOR_LIST	メータの目盛りラベルを一次元配列で設定。 例： 'メータの目盛りラベル DIM TICK\$(5) = _ ["0","20","40","60","80","100"] 上記の場合、目盛りラベルに 0,20 ··· 100を指定します。	メータの設定値 AJAN_METER_DATA	メータに値を設定し、針を動かします。 例："50"	設定値範囲最小値 AJAN_METER_MIN	メータに設定するデータの最小値 例："0"	設定値範囲最大値 AJAN_METER_MAX	メータに設定するデータの最大値 例："100"	メータの幅 AJAN_METER_WIDTH	メータの幅 例："300"	メータの高さ AJAN_METER_HEIGHT	メータの高さ 例："300"	アニメーション時間 AJAN_METER_ANIMATION_DELAY	メータ動作時のアニメーション時間です。メータに値を設定した場合に、アニメーションした時間をかけてメータの針が動きます。 例： "0" : アニメーションなしで、値を設定したら瞬時に設定した値に針が動きます。 "1000" : 値を設定したら 1000ms (1秒) かけて、設定した値に針が動いていきます。	メータの背景色 AJAN_METER_BACKGROUND_COLOR	メータの背景色
②設定項目	③設定値																					
メータ種類 AJAN_METER_TYPE	メータの種類を設定 "RADIAL" : アナログメータ（初期値） "LINEAR" : リニアメータ リニアメータの場合、メータが動く方向(縦方向／横方向)は、幅(AJAN_METER_WIDTH)、高さ(AJAN_METER_HEIGHT)の設定によって決まります。																					
メータの目盛りラベル AJAN_METER_TICK_MAJOR_LIST	メータの目盛りラベルを一次元配列で設定。 例： 'メータの目盛りラベル DIM TICK\$(5) = _ ["0","20","40","60","80","100"] 上記の場合、目盛りラベルに 0,20 ··· 100を指定します。																					
メータの設定値 AJAN_METER_DATA	メータに値を設定し、針を動かします。 例："50"																					
設定値範囲最小値 AJAN_METER_MIN	メータに設定するデータの最小値 例："0"																					
設定値範囲最大値 AJAN_METER_MAX	メータに設定するデータの最大値 例："100"																					
メータの幅 AJAN_METER_WIDTH	メータの幅 例："300"																					
メータの高さ AJAN_METER_HEIGHT	メータの高さ 例："300"																					
アニメーション時間 AJAN_METER_ANIMATION_DELAY	メータ動作時のアニメーション時間です。メータに値を設定した場合に、アニメーションした時間をかけてメータの針が動きます。 例： "0" : アニメーションなしで、値を設定したら瞬時に設定した値に針が動きます。 "1000" : 値を設定したら 1000ms (1秒) かけて、設定した値に針が動いていきます。																					
メータの背景色 AJAN_METER_BACKGROUND_COLOR	メータの背景色																					

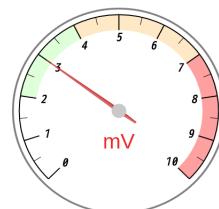
	メータのサブ目盛り AJAN_METER_TICK_MINER_NUM	メータの目盛りラベル内のサブ目盛りです。 AJAN_METER_TICK_MAJOR_LISTで指定した目盛りの中に、サブ目盛りをいくつ入れるかを指定します。（サブ目盛りの刻み数）
	目盛りラベルフォントサイズ AJAN_METER_TICK_FONT_SIZE	目盛りラベルフォントサイズ
	目盛りラベルフォント色 AJAN_METER_TICK_FONT_COLOR	目盛りラベルフォント色
	目盛り色 AJAN_METER_TICK_MAJOR_COLOR	目盛り色
	目盛り色(サブ目盛り) AJAN_METER_TICK_MINER_COLOR	目盛り色(サブ目盛り)
	リニアメータのデータ部の色 AJAN_METER_BAR_PROGRESS_COLOR	リニアメータの 増減するデータ部の色 ※リニアメータ設定時のみ有効
	リニアメータのデータ部の枠の色 AJAN_METER_BAR_BORDER_COLOR	リニアメータのデータ部の枠の色 ※リニアメータ設定時のみ有効
	リニアメータの下限の球の表示 AJAN_METER_BAR_BULB_DISP	リニアメータの下限の球の表示／非表示 AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
	目盛り 開始角度 AJAN_METER_TICK_ANGLE_START	目盛り 開始角度 目盛りを360度の円のうちどの位置から開始するかを設定することができます。 メータの一一番下を0度とし、時計回りに開始地点の角度を指定します。 例："90":メータの左（下から90度の位置）からラベルを開始します。
	目盛り 最大角度 AJAN_METER_TICK_ANGLE_END	目盛り 最大角度(開始角度から時計回り)
	単位 AJAN_METER_UNIT	メータ内に表示する 単位の文字列です。
	単位のフォントサイズ AJAN_METER_UNIT_FONT_SIZE	メータ内に表示する 単位のフォントサイズです。
	単位のフォント色 AJAN_METER_UNIT_FONT_COLOR	メータ内に表示する 単位のフォント色です。
	針の形状 AJAN_METER_NEEDLE_TYPE	メータの針の形状 "ARROW" : 先の尖った形状 (初期値) "LINE" : 直線の形状
	針の色 AJAN_METER_NEEDLE_COLOR	針の色を指定 例: "BLUE"
	針の長さ(開始位置) AJAN_METER_NEEDLE_START	針の長さ開始位置(0:中心～90) 例: "10" 針の形状によって開始位置の設定方向が異なります。 針の形状が ARROW の場合： 中心から 針の後ろ方向への開始位置の長さを指定します。 針の形状が LINE の場合： 中心から 針の先端方向への開始位置の長さを指定します。

針の長さ(終了位置) AJAN_METER_NEEDLE_END	針の長さ終了位置(0:中心～110) 例："90" 中心から針の先端方向に対して針の長さを指定します。
針の太さ AJAN_METER_NEEDLE_WIDTH	針の太さを指定 例："4"
針の中心円のサイズ AJAN_METER_NEEDLE_CIRCLE_SIZE	針の中心円のサイズを指定 例："5"
針の中心円の色 AJAN_METER_NEEDLE_CIRCLE_COLOR	中心円の色を指定 例："BLUE"
外枠の線幅 AJAN_METER_BORDER_WIDTH	メータの外枠の線幅です。 例："4"
外枠の色 AJAN_METER_BORDER_COLOR	メータの外枠の色です。
ラベル強調色 AJAN_METER_HIGHLIGHT	メータのラベル部分に強調する色を付けることができます。 ラベルの値に合わせて色のついたバーを表示することができます。 例： "10,30,BLUE": 10～30まで青色の強調色追加 "30,60,RED" : 30～60まで赤色の強調色追加 ※複数回実行することで、複数の強調色を表示することができます。 ※ "" を指定すると、設定したラベル強調色をすべて削除します。
メータの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示
メータの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
メータの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"
メータの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置
メータの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置

文例1	<p>'シンプルなメータの例 です。</p> <pre> INCLUDE "WEB.AJN" 'メータの目盛りラベル DIM TICK\$(10) TICK\$ = ["0","10","20","30","40","50","60","70","80","90","100"] WEB_METER "METER1", "100", "30" 'メータ配置 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_MIN, "0" '設定値範囲最小値設定 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_MAX, "100" '設定値範囲最大値設定 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_MAJOR_LIST, TICK\$ '目盛りラベル(配列) WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_WIDTH, "250" '幅 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_HEIGHT, "250" '高さ 'データ設定 VALUE = 80 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_DATA, STR\$(VALUE) '値設定 </pre>
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



文例2	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" DIM TICK\$(10) 'メータの目盛りラベル FOR I=0 TO 10 TICK\$(I) = STR\$(I) NEXT WEB_METER "METER1", "100", "30" 'メータ配置 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_MAJOR_LIST, TICK\$ '目盛りラベル(配列) WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_MIN, "0" '設定値範囲最小値設定 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_MAX, "10" '設定値範囲最大値設定 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_WIDTH, "400" '幅 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_HEIGHT, "400" '高さ WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_ANIMATION_DELAY, "200" 'アニメーション速度 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_BACKGROUND_COLOR, "white" '背景色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_MINER_NUM, "2" 'サブ目盛り(刻み数) WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_FONT_SIZE, "21" '目盛りラベルフォントサイズ WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_FONT_COLOR, "#000000" '目盛りラベルフォント色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_MAJOR_COLOR, "#000000" '目盛り色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_MINER_COLOR, "#000000" '目盛り色(サブ目盛り) WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_ANGLE_START, "45" '目盛り 開始角度 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_TICK_ANGLE_END, "270" '目盛り 最大角度 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_UNIT, "mV" '単位 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_UNIT_FONT_SIZE, "40" '単位フォントサイズ WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_UNIT_FONT_COLOR, "#ef2929" '単位フォント色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_NEEDLE_TYPE, "ARROW" '針の形状 "ARROW"/"LINE" WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_BORDER_WIDTH, "4" '外枠の幅 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_BORDER_COLOR, "gray" '外枠の色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_HIGHLIGHT, "2,4,#d1ffc6" '強調色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_HIGHLIGHT, "4,7,#ffdead" '強調色 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_HIGHLIGHT, "7,10,#ff7878" '強調色 VALUE = 3 'データ設定 WEB_METER_SET "METER1", AJAN_METER_DATA, STR\$(VALUE) '値設定 </pre>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



3.23 フレーム

3.23.1 概要

Web上にフレームを作成します。

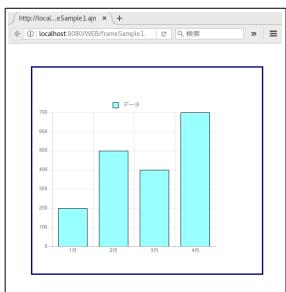
指定したURLのページをフレーム内に表示できるので、複数のWebページを一つのウインドウ内に配置したり、同じフレーム内に切り替えて表示できます。

3.23.2 WEB_FRAME

命令		
機能	フレームを配置します。	
書式	WEB_FRAME <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>	
パラメータ	①	<部品ID> 任意の部品IDを指定します。
	②	<垂直位置> 表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセル、またはパーセントです。 パーセントは、ウインドウ幅を100%として”50%”のように指定します。
	③	<水平位置> 表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセル、またはパーセントです。 パーセントは、ウインドウ幅を100%として”50%”のように指定します。
文例	WEB_FRAME_SETコマンドをご参照ください。	

3.23.3 WEB_FRAME_SET

命令																		
機能	フレームの設定を行います。																	
書式	WEB_FRAME_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																	
パラメータ	① <部品ID> 設定したい部品IDを指定します。	文字列																
	② <設定項目> ③ <設定値>	定数 文字列																
以下表に示すとおりに設定項目、設定値を指定することで、フレームの設定ができます。																		
<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フレーム内に表示するWebページのURL あるいはPDFファイルのパスまたはURL AJAN_FRAME_URL</td> <td> WebページのURL "http://www.interface.co.jp/" " http://localhost:8080/WEB_samples/1_web_graph_bar.aj n" PDFファイルの場合 "data/6_web_frame_pdf.pdf" PDFファイルは、下記の設定項目が指定できます。 各設定項目の説明をご参照ください。 AJAN_FRAME_PDF_PAGE : ページ指定 AJAN_FRAME_PDF_ZOOM : 倍率指定 上記以外のPDFへのパラメータを指定する場合、 AJAN_FRAME_URL のPDFファイル名に続けて、パラメータを 記述できます。 (パラメータの使用可否は、Webブラウザ 側の対応により異なります。) 記述例："data/6_web_frame_pdf.pdf#page=2&zoom=50" </td></tr> <tr> <td>フレームの幅 AJAN_FRAME_WIDTH</td> <td> フレームの幅(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの幅に対するフレーム幅をパーセントで指定。 </td></tr> <tr> <td>フレームの高さ AJAN_FRAME_HEIGHT</td> <td> フレームの高さ(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの高さに対するフレームの高さをパーセントで指 定。 </td></tr> <tr> <td>枠線の幅 AJAN_FRAME_BORDER_WIDTH</td> <td>フレームの枠線の幅 例："4"</td></tr> <tr> <td>枠線の色 AJAN_FRAME_BORDER_COLOR</td> <td>フレームの枠線の色</td></tr> <tr> <td>枠線の形状 AJAN_TEXTAREA_BORDER_STYLE</td> <td>"NONE"(なし) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)</td></tr> <tr> <td>フレームの背景色 AJAN_FRAME_BACKGROUND_COLOR</td> <td>フレームの背景色</td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	フレーム内に表示するWebページのURL あるいはPDFファイルのパスまたはURL AJAN_FRAME_URL	WebページのURL "http://www.interface.co.jp/" " http://localhost:8080/WEB_samples/1_web_graph_bar.aj n" PDFファイルの場合 "data/6_web_frame_pdf.pdf" PDFファイルは、下記の設定項目が指定できます。 各設定項目の説明をご参照ください。 AJAN_FRAME_PDF_PAGE : ページ指定 AJAN_FRAME_PDF_ZOOM : 倍率指定 上記以外のPDFへのパラメータを指定する場合、 AJAN_FRAME_URL のPDFファイル名に続けて、パラメータを 記述できます。 (パラメータの使用可否は、Webブラウザ 側の対応により異なります。) 記述例："data/6_web_frame_pdf.pdf#page=2&zoom=50"	フレームの幅 AJAN_FRAME_WIDTH	フレームの幅(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの幅に対するフレーム幅をパーセントで指定。	フレームの高さ AJAN_FRAME_HEIGHT	フレームの高さ(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの高さに対するフレームの高さをパーセントで指 定。	枠線の幅 AJAN_FRAME_BORDER_WIDTH	フレームの枠線の幅 例："4"	枠線の色 AJAN_FRAME_BORDER_COLOR	フレームの枠線の色	枠線の形状 AJAN_TEXTAREA_BORDER_STYLE	"NONE"(なし) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)	フレームの背景色 AJAN_FRAME_BACKGROUND_COLOR	フレームの背景色
②設定項目	③設定値																	
フレーム内に表示するWebページのURL あるいはPDFファイルのパスまたはURL AJAN_FRAME_URL	WebページのURL "http://www.interface.co.jp/" " http://localhost:8080/WEB_samples/1_web_graph_bar.aj n" PDFファイルの場合 "data/6_web_frame_pdf.pdf" PDFファイルは、下記の設定項目が指定できます。 各設定項目の説明をご参照ください。 AJAN_FRAME_PDF_PAGE : ページ指定 AJAN_FRAME_PDF_ZOOM : 倍率指定 上記以外のPDFへのパラメータを指定する場合、 AJAN_FRAME_URL のPDFファイル名に続けて、パラメータを 記述できます。 (パラメータの使用可否は、Webブラウザ 側の対応により異なります。) 記述例："data/6_web_frame_pdf.pdf#page=2&zoom=50"																	
フレームの幅 AJAN_FRAME_WIDTH	フレームの幅(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの幅に対するフレーム幅をパーセントで指定。																	
フレームの高さ AJAN_FRAME_HEIGHT	フレームの高さ(ピクセル値、またはパーセント値※) 例(ピクセル値)："300" 例(パーセント)："100%" ※ウインドウの高さに対するフレームの高さをパーセントで指 定。																	
枠線の幅 AJAN_FRAME_BORDER_WIDTH	フレームの枠線の幅 例："4"																	
枠線の色 AJAN_FRAME_BORDER_COLOR	フレームの枠線の色																	
枠線の形状 AJAN_TEXTAREA_BORDER_STYLE	"NONE"(なし) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)																	
フレームの背景色 AJAN_FRAME_BACKGROUND_COLOR	フレームの背景色																	

	<p>フレーム内に表示するWebページの拡大縮小設定 AJAN_FRAME_ZOOM</p> <p>“50” : 50%に設定 “AUTO” : 全体が表示できるよう自動調整 “WIDTH” : フレームの横幅に合わせる “HEIGHT” : フレームの高さに合わせる</p> <p>※ “AUTO”, “WIDTH”, “HEIGHT” の指定では AJAN_FRAME_URL でWEBページが読み込まれた後に拡大縮小を行います。</p> <p>※ AJAN_FRAME_URL で別のWEBサイト（ローカルフォルダのWEBページ以外）を指定した場合、WEBブラウザで cross-origin のエラーが発生するため、“WIDTH”, “HEIGHT”, “AUTO” の指定は無効です。パーセント値の指定は有効です。</p>	<p>Webページの拡大縮小の設定を行います。 パーセント値指定の他、フレームに合わせる指定ができます。</p>
	<p>表示するPDFのページ番号 AJAN_FRAME_PDF_PAGE</p> <p>“10”</p>	<p>PDFファイルの、表示するページ番号を指定します。</p> <p>※ AJAN_FRAME_URL の設定で、PDFファイルを指定した場合のみ有効。</p>
	<p>表示するPDFの拡大縮小指定 AJAN_FRAME_PDF_ZOOM</p> <p>“50”</p>	<p>PDFファイルの、拡大あるいは縮小の割合を、パーセント値で指定します。</p> <p>※ AJAN_FRAME_URL の設定で、PDFファイルを指定した場合のみ有効。</p>
	<p>フレームの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</p> <p>AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示</p>	
	<p>フレームの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX</p> <p>“1” ~ “1000”</p>	<p>大きい数字ほど手前に表示します。</p>
	<p>フレームの削除 AJAN_WEB_REMOVE</p> <p>“”</p>	<p>(空文字列を指定)</p>
	<p>フレームの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</p>	<p>ブラウザの上端からの位置 単位はピクセル、またはパーセントです。 パーセントは、ウインドウ幅を 100%として “50%” のように指定します。</p>
	<p>フレームの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</p>	<p>ブラウザの左端からの位置 単位はピクセル、またはパーセントです。 パーセントは、ウインドウの高さを 100%として “50%” のように指定します。</p>
文例1	<p>‘シンプルなフレームのサンプル’</p> <pre>INCLUDE "WEB.AJN" WEB_FRAME "FRAME1", "50", "50" 'フレーム配置 WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_WIDTH, "450" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_HEIGHT, "450" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BACKGROUND_COLOR, "WHITE" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_WIDTH, "3" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_COLOR, "NAVY" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_BORDER_STYLE, "SOLID" WEB_FRAME_SET "FRAME1", AJAN_FRAME_URL, "6_web_frame_page.htm"</pre>	

3.24 AJAN継続動作

3.24.1 概要

Webブラウザからのボタン操作等を待つプログラムの場合は、AJAN Webアプリが終了してしまうとその後ブラウザからの入出力等が行えなくなりますので、AJAN Webアプリは終了せず継続して動作し続ける必要があります。

AJAN Webアプリを終了させずに継続動作させる場合は、WEB_MAIN_LOOPコマンドを使用してください。

AJAN Webアプリ内に、既にループ処理等の継続処理が含まれている場合は、WEB_MAIN_LOOPコマンドを使用する必要はありません。

詳しくは、2.4.3 AJAN Webアプリの終了についてをご参照ください。

3.24.2 WEB_MAIN_LOOP

命令	
機能	<p>AJANプログラムを終了せずに継続動作します。</p> <p>本コマンドを実行すると、ブラウザが閉じられた場合等ネットワークが切断されるまで、本コマンドからは 処理が戻らずに継続動作します。</p> <p>本コマンドによりAJANが継続動作するため、ブラウザからのボタン入力や各種入力を受けて処理することができます。</p>
書式	WEB_MAIN_LOOP
文例 1	<p>～</p> <p>'プログラムを終了させずに継続動作します。 WEB_MAIN_LOOP</p> <p>'↓ここに処理を記載すると、ブラウザが閉じられた場合等 ' AJAN終了時に実行させることができます。 'CALL SYSTEM_FINISH_xxxx '終了処理を記載</p>

3.25 動画再生

3.25.1 概要

動画ファイルを再生します。

動作確認済み動画形式
mp4

注意事項

- ご使用になるWebブラウザの自動再生ポリシーによっては、プログラムから自動再生できない場合があります。その場合、Webブラウザの設定変更、または、コントローラを表示して、再生ボタンを操作してください。
- 全画面表示は、手動操作が必要です。

3.25.2 WEB_VIDEO

命令			
機能	動画再生部品を配置します。		
書式	WEB_VIDEO <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
	任意の部品IDを指定します。		
	②	<垂直位置>	文字列
	表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	③	<水平位置>	文字列
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	WEB_VIDEO_SETコマンドをご参照ください。		

3.25.3 WEB_VIDEO_SET

命令		
機能	動画再生の設定をします。	
書式	WEB_VIDEO_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>	
パラメータ	① <部品ID>	文字列
	設定したい部品IDを指定します。	
	② <設定項目>	定数
	③ <設定値>	文字列／定数
以下の設定項目、設定値を指定することで、動画再生の設定ができます。		
<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※再生終了時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p>		
②設定項目		③設定値
動画表示の幅 AJAN_VIDEO_WIDTH	動画を表示する枠の幅 例："800" ※動画の縦横比は維持されますので、幅、高さのいずれか動画にフィットしたサイズが優先されます。	
動画表示の高さ AJAN_VIDEO_HEIGHT	動画を表示する枠の高さ 例："500" ※動画の縦横比は維持されますので、幅、高さのいずれか動画にフィットしたサイズが優先されます。	
動画表示の上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	
動画表示の左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置	
動画ファイルのパス AJAN_VIDEO_SRC	再生する動画ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス	
プリロード AJAN_VIDEO_PRELOAD	事前読み込み "auto" : 有効（初期値） "none" : 無効	
自動再生 AJAN_VIDEO_AUTOPLAY	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	
	※AJAN_VIDEO_MUTEの設定により制御できない場合があります。	
コントローラ表示 AJAN_VIDEO_CONTROLS	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	
ループ再生 AJAN_VIDEO_LOOP	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	
消音 AJAN_VIDEO_MUTE	AJAN_TRUE : 有効（初期値） AJAN_FALSE : 無効	
	※ご使用のWebブラウザによっては、音声を出す設定ではプログラムから再生制御ができない場合があります（Webブラウザの制限です）。画面上のコントローラから操作することで、音声付きの再生ができます。	
音声ボリューム AJAN_VIDEO_VOLUME	音声ボリューム "0.0" ~" 1.0" ※AJAN_VIDEO_MUTE が AJAN_FALSE の設定の時有効。	

	動画再生 AJAN_VIDEO_PLAY	動画を現在位置または指定秒数から再生します。 “”（空文字）：再生 秒数指定 : 指定秒数から再生。 ※AJAN_VIDEO_MUTEの設定により制御できない場合があります。
	動画再生の一時停止 AJAN_VIDEO_PAUSE	動画再生を一時停止します。 “”（空文字）
	動画再生速度 AJAN_VIDEO_PLAYRATE	再生速度（“1.0”が標準） 例： “2” : 2倍の再生速度 “0.5” : 1/2の再生速度
	表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示
	重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	“1”～“1000” 大きい数字ほど手前に表示します。
	削除 AJAN_WEB_REMOVE	“” （空文字列を指定）
	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例：“xxです”
文 例	<p>‘動画再生例(デフォルトの消音状態で再生します。)</p> <pre>INCLUDE "WEB.AJN" WEB_VIDEO "VIDEO01", "50", "50" '動画部品設置 WEB_VIDEO_SET "VIDEO01", AJAN_VIDEO_WIDTH, "640" '動画の横幅 WEB_VIDEO_SET "VIDEO01", AJAN_VIDEO_SRC, "7_web_video_mujin.mp4" '動画ファイル WEB_VIDEO_SET "VIDEO01", AJAN_VIDEO_CONTROLS, AJAN_TRUE 'コントローラ表示 ON WEB "VIDEO01", "ENDED" CALL EVENT_SUB, "", "" 'イベント設定 WEB_VIDEO_SET "VIDEO01", AJAN_VIDEO_PLAY, "" '再生開始 WEB_MAIN_LOOP 'イベント発生待ち SUB EVENT_SUB(ID\$, PARA1\$, PARA2\$) WEB_MSG_BOX "動画再生が終了しました" END SUB</pre> <p>SUB EVENT_SUB(ID\$, PARA1\$, PARA2\$) WEB_MSG_BOX "動画再生が終了しました" END SUB</p>	
		

3.26 音声再生

3.26.1 概要

音声ファイルを再生します。

動作確認済みファイル形式
wav mp3

注意事項

- ご使用になるWebブラウザの自動再生ポリシーによっては、プログラムから自動再生できない場合があります。その場合、Webブラウザの設定変更、または、コントローラを表示して、再生ボタンを操作してください。

3.26.2 WEB_AUDIO

命令			
機能	音声再生部品（コントローラ）を配置します。		
書式	WEB_AUDIO <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>		
パラメータ	①	<部品ID>	文字列
	任意の部品IDを指定します。		
	②	<垂直位置>	文字列
	表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	③	<水平位置>	文字列
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。		
文例	WEB_AUDIO_SETコマンドをご参考ください。		

3.26.3 WEB_AUDIO_SET

命令																										
機能	音声再生の設定をします。																									
書式	WEB_AUDIO_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																									
パラメータ	①	<部品ID> 設定したい部品IDを指定します。																								
	②	<設定項目> 定数																								
	③	<設定値> 文字列／定数																								
以下の設定項目、設定値を指定することで、動画再生の設定ができます。																										
<p>※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※再生終了時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>音声再生コントローラの幅 AJAN_AUDIO_WIDTH</td><td>表示する音声再生コントローラの幅 例："500"</td></tr> <tr> <td>音声再生コントローラの高さ AJAN_AUDIO_HEIGHT</td><td>表示する音声再生コントローラの高さ 例："20"</td></tr> <tr> <td>音声再生コントローラの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td><td>表示する音声再生コントローラの ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>音声再生コントローラの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td><td>表示する音声再生コントローラの ブラウザの左端からの位置</td></tr> <tr> <td>音声ファイルのパス AJAN_AUDIO_SRC</td><td>再生する音声ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス</td></tr> <tr> <td>音声ファイルのプリロード AJAN_AUDIO_PRELOAD</td><td>事前読み込み "auto" : 有効（初期値） "none" : 無効</td></tr> <tr> <td>音声ファイルの自動再生 AJAN_AUDIO_AUTOPLAY</td><td>AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値） ※Webブラウザの自動再生ポリシーの設定により、自動再生できない場合があります。</td></tr> <tr> <td>音声再生コントローラ表示 AJAN_AUDIO_CONTROLS</td><td>AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）</td></tr> <tr> <td>ループ再生 AJAN_AUDIO_LOOP</td><td>AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）</td></tr> <tr> <td>消音 AJAN_AUDIO_MUTE</td><td>AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）</td></tr> <tr> <td>音量 AJAN_AUDIO_VOLUME</td><td>音量 "0.0" ~ "1.0" ※AJAN_AUDIO_MUTE が AJAN_FALSE の設定の時有効。</td></tr> </tbody> </table>			②設定項目	③設定値	音声再生コントローラの幅 AJAN_AUDIO_WIDTH	表示する音声再生コントローラの幅 例："500"	音声再生コントローラの高さ AJAN_AUDIO_HEIGHT	表示する音声再生コントローラの高さ 例："20"	音声再生コントローラの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	表示する音声再生コントローラの ブラウザの上端からの位置	音声再生コントローラの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	表示する音声再生コントローラの ブラウザの左端からの位置	音声ファイルのパス AJAN_AUDIO_SRC	再生する音声ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス	音声ファイルのプリロード AJAN_AUDIO_PRELOAD	事前読み込み "auto" : 有効（初期値） "none" : 無効	音声ファイルの自動再生 AJAN_AUDIO_AUTOPLAY	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値） ※Webブラウザの自動再生ポリシーの設定により、自動再生できない場合があります。	音声再生コントローラ表示 AJAN_AUDIO_CONTROLS	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	ループ再生 AJAN_AUDIO_LOOP	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	消音 AJAN_AUDIO_MUTE	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）	音量 AJAN_AUDIO_VOLUME	音量 "0.0" ~ "1.0" ※AJAN_AUDIO_MUTE が AJAN_FALSE の設定の時有効。
②設定項目	③設定値																									
音声再生コントローラの幅 AJAN_AUDIO_WIDTH	表示する音声再生コントローラの幅 例："500"																									
音声再生コントローラの高さ AJAN_AUDIO_HEIGHT	表示する音声再生コントローラの高さ 例："20"																									
音声再生コントローラの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	表示する音声再生コントローラの ブラウザの上端からの位置																									
音声再生コントローラの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	表示する音声再生コントローラの ブラウザの左端からの位置																									
音声ファイルのパス AJAN_AUDIO_SRC	再生する音声ファイルのパス ※実行ファイルから見た相対パス																									
音声ファイルのプリロード AJAN_AUDIO_PRELOAD	事前読み込み "auto" : 有効（初期値） "none" : 無効																									
音声ファイルの自動再生 AJAN_AUDIO_AUTOPLAY	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値） ※Webブラウザの自動再生ポリシーの設定により、自動再生できない場合があります。																									
音声再生コントローラ表示 AJAN_AUDIO_CONTROLS	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）																									
ループ再生 AJAN_AUDIO_LOOP	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）																									
消音 AJAN_AUDIO_MUTE	AJAN_TRUE : 有効 AJAN_FALSE : 無効（初期値）																									
音量 AJAN_AUDIO_VOLUME	音量 "0.0" ~ "1.0" ※AJAN_AUDIO_MUTE が AJAN_FALSE の設定の時有効。																									

	<p>音声再生 AJAN_AUDIO_PLAY</p> <p>音声を現在位置または指定秒数から再生します。</p> <p>"" (空文字) : 再生 秒数指定 : 指定秒数から再生。</p> <p>※Webブラウザの自動再生ポリシーの設定により、プログラムからの制御での再生ができない場合があります。</p> <p>※秒数指定は、AJAN_AUDIO_PRELOAD の設定が" auto" で、プリロードが可能な状況でのみ有効です。</p> <p>例: "" 再生 "10" 10秒目から再生します。</p>
	<p>音声再生の一時停止 AJAN_AUDIO_PAUSE</p> <p>音声再生を一時停止します。</p> <p>"" (空文字)</p>
	<p>音声再生コントローラの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</p> <p>AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示</p>
	<p>音声再生コントローラの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX</p> <p>"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。</p>
	<p>削除 AJAN_WEB_REMOVE</p> <p>"" (空文字列を指定)</p>
	<p>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</p> <p>吹き出し内容 例: "xxです"</p>
文 例	<pre> WEB_AUDIO "AUDIO01", "50", "50" WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_CONTROLS, AJAN_TRUE 'コントローラ表示 WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_WIDTH, "500" 'コントローラの横幅 WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_HEIGHT, "20" 'コントローラの高さ WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_VOLUME, "0.2" '音声ボリューム設定 WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_SRC, "8_web_audio_ajan.wav" '音声ファイル ON WEB "AUDIO01", "ENDED" CALL EVENT_SUB, "", "" 'イベント設定 WEB_AUDIO_SET "AUDIO01", AJAN_AUDIO_PLAY, "" '再生開始 WEB_MAIN_LOOP 'イベント発生待ち SUB EVENT_SUB(ID\$, PARA1\$, PARA2\$) WEB_MSG_BOX "音声再生が終了しました" END SUB </pre>

3.27 ダイアログボックス

3.27.1 概要

ダイアログボックスにメッセージを表示し、OK/キャンセルボタンや文字列入力など、ユーザの入力を求めます。入力結果は、戻り値、および、規定のグローバル変数で取得できます。

3.27.2 WEB_DIALOG

命令																											
機能	ダイアログボックスでのメッセージ表示、OK/Cancelボタン選択、文字列入力などの入力結果を即時に取得します。																										
書式	④ 戻り値 = WEB_DIALOG(<①ダイアログ種類>, <②表示メッセージ>[, ③タイムアウト時間])																										
パラメータ	①	<ダイアログ種類>	定数																								
ダイアログの種類を、下記の定数で指定します。 指定した種類により、動作やグローバル変数に返される結果が異なります。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>定数</th><th>動作</th><th>結果(グローバル変数)</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AJAN_DIALOG_CONFIRM</td><td>メッセージ表示 OK / Cancel ボタン入力</td><td>AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL</td><td></td></tr> <tr> <td>AJAN_DIALOG_PROMPT</td><td>メッセージ表示 文字列入力 OK / Cancel ボタン入力</td><td>AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL AJAN_WEB_DIALOG_STR\$ に入力された文字列が代入される。</td><td></td></tr> <tr> <td>AJAN_DIALOG_YESNO</td><td>メッセージ表示 YES / NO ボタン入力</td><td>AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO</td><td></td></tr> <tr> <td>AJAN_DIALOG_YESNO_JPN</td><td>メッセージ表示 はい / いいえ ボタン入力</td><td>AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO</td><td></td></tr> <tr> <td>AJAN_DIALOG_MESSAGE</td><td>メッセージ表示 OK ボタン入力</td><td>AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK</td><td></td></tr> </tbody> </table>				定数	動作	結果(グローバル変数)		AJAN_DIALOG_CONFIRM	メッセージ表示 OK / Cancel ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL		AJAN_DIALOG_PROMPT	メッセージ表示 文字列入力 OK / Cancel ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL AJAN_WEB_DIALOG_STR\$ に入力された文字列が代入される。		AJAN_DIALOG_YESNO	メッセージ表示 YES / NO ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO		AJAN_DIALOG_YESNO_JPN	メッセージ表示 はい / いいえ ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO		AJAN_DIALOG_MESSAGE	メッセージ表示 OK ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK	
定数	動作	結果(グローバル変数)																									
AJAN_DIALOG_CONFIRM	メッセージ表示 OK / Cancel ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL																									
AJAN_DIALOG_PROMPT	メッセージ表示 文字列入力 OK / Cancel ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK AJAN_WEB_CANCEL AJAN_WEB_DIALOG_STR\$ に入力された文字列が代入される。																									
AJAN_DIALOG_YESNO	メッセージ表示 YES / NO ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO																									
AJAN_DIALOG_YESNO_JPN	メッセージ表示 はい / いいえ ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_YES AJAN_WEB_NO																									
AJAN_DIALOG_MESSAGE	メッセージ表示 OK ボタン入力	AJAN_WEB_DIALOG_BTN に下記定数が代入される。 AJAN_WEB_OK																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>②</th><th><表示メッセージ></th><th>文字列</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">ダイアログに表示する文字列を指定します。 ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)</td></tr> </tbody> </table>				②	<表示メッセージ>	文字列		ダイアログに表示する文字列を指定します。 ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)																			
②	<表示メッセージ>	文字列																									
ダイアログに表示する文字列を指定します。 ※改行する場合は、"\n"を入力してください。(文字列として"\n"を表示する場合は"\\"を入力してください。)																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>③</th><th>[タイムアウト時間]</th><th>数値</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">ダイアログボックスを自動的に閉じるまでのタイムアウト時間(秒)指定します。 省略した場合、ボタンが押されるまでダイアログボックスを閉じません。</td></tr> </tbody> </table>				③	[タイムアウト時間]	数値		ダイアログボックスを自動的に閉じるまでのタイムアウト時間(秒)指定します。 省略した場合、ボタンが押されるまでダイアログボックスを閉じません。																			
③	[タイムアウト時間]	数値																									
ダイアログボックスを自動的に閉じるまでのタイムアウト時間(秒)指定します。 省略した場合、ボタンが押されるまでダイアログボックスを閉じません。																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>④</th><th>戻り値</th><th>定数</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">選択されたボタンを示す定数(グローバル変数AJAN_WEB_DIALOG_BTNに代入された定数)、または、タイムアウトを示す定数(AJAN_WEB_TIMEOUT)が戻されます。</td></tr> </tbody> </table>				④	戻り値	定数		選択されたボタンを示す定数(グローバル変数AJAN_WEB_DIALOG_BTNに代入された定数)、または、タイムアウトを示す定数(AJAN_WEB_TIMEOUT)が戻されます。																			
④	戻り値	定数																									
選択されたボタンを示す定数(グローバル変数AJAN_WEB_DIALOG_BTNに代入された定数)、または、タイムアウトを示す定数(AJAN_WEB_TIMEOUT)が戻されます。																											

文 例

```
INCLUDE "WEB.AJN"

'文字列入力 (60秒タイムアウト)
result = WEB_DIALOG(AJAN_DIALOG_PROMPT, "一言入力してください。", 60)

IF result = AJAN_WEB_OK THEN
    WEB_LABEL "LABEL1", "30", "10", "入力された文字列：" +AJAN_WEB_DIALOG_STR$
ELSEIF result = AJAN_WEB_TIMEOUT THEN
    WEB_LABEL "LABEL1", "30", "10", "入力待ちタイムアウトです。"
ELSE
    WEB_LABEL "LABEL1", "30", "10", "入力をキャンセルされました。"
END IF
```

3.28 ウィンドウ

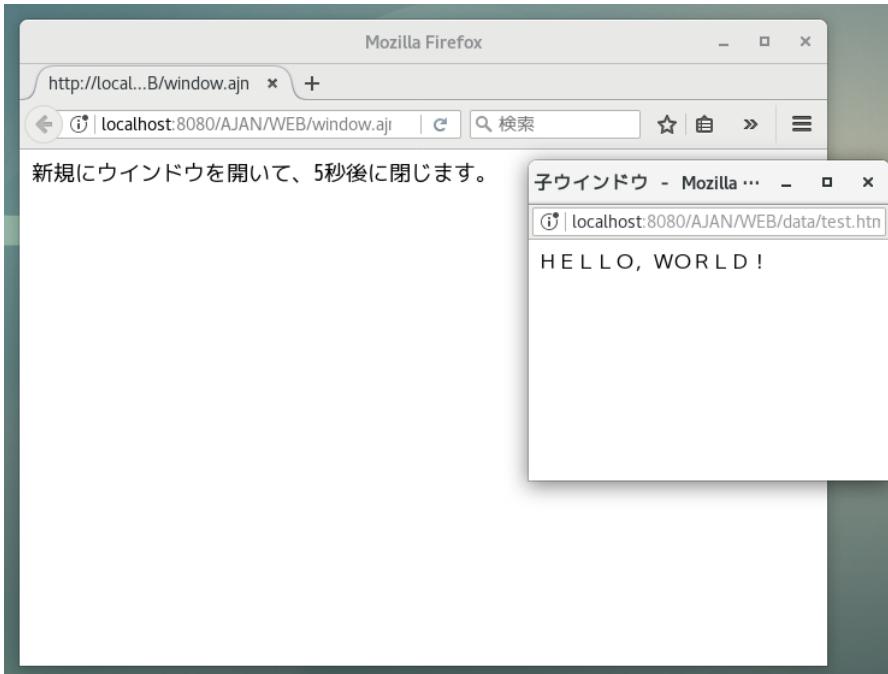
3.28.1 概要

新規ウィンドウ、または新規タブページを開き、指定されたURLを表示します。

3.28.2 WEB_WINDOW

命令		
機能	新規ウィンドウ、または新規タブページを開きます。	
書式	WEB_WINDOW <①部品ID>, <②URL情報>	
パラメータ	① <部品ID>	文字列
任意の部品IDを指定します。		
②	<URL情報>	文字列
新規ウィンドウまたは新規タブに表示するWebページのURLおよびパラメータ指定します。		
<p>“URL=<URL>, WIDTH=<ピクセル値>, HEIGHT=<ピクセル値>, LEFT=<ピクセル値>, TOP=<ピクセル値>, DEPENDENT=<yes no>”</p> <p>パラメータ説明</p> <p>URL : 表示するURL（必須） ローカルファイルの場合、実行するAJANのソースからの相対パスを指定してください。 また、URLにクエリストリング（「?」に続けて記述するパラメータ文字列）を含めることができます。尚、クエリストリングの文字列は、WEB URI ENCODE\$でパーセントエンコーディングした文字列にを指定することをおすすめします。（参考例：文例3）</p> <p>WIDTH : ウィンドウの横幅 HEIGHT : ウィンドウの高さ LEFT : ウィンドウの左上の水平位置 TOP : ウィンドウの左上の垂直位置 DEPENDENT : 親ウィンドウを閉じたときの挙動設定 yes 親ウィンドウが閉じたら一緒に閉じる。 no 親ウィンドウに連動しない。</p> <p>WIDTH, HEIGHT, LEFT, TOPのいずれか設定があれば、新規にウィンドウを開きます。 いずれも設定されていなければタブを開きます。</p>		
文例	WEB_WINDOW_CLOSEコマンドをご参照ください。	

3.28.3 WEB_WINDOW_CLOSE

命令						
機 能	ウィンドウをクローズします。					
書 式	WEB_WINDOW_CLOSE <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>					
パラ メータ	① <部品ID>	文字列				
クローズする部品IDを指定します。 WEB_WINDOWで開かれた子ウインドウ側でクローズする場合、""(空文字)を指定してください。						
	② <設定項目>	定数				
	③ <設定値>	文字列				
以下の設定項目、設定値を指定することで、WEB_WINDOWで開いたウインドウをクローズします。						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウインドウ部品削除 AJAN_WEB_REMOVE</td><td> "" (空文字) 指定した部品IDのウインドウを閉じる。(親が子を閉じる) " me" WEB_WINDOWコマンドで開かれた子ウインドウ側で、 自分自身を閉じる。(子が自分を閉じる) </td></tr> </tbody> </table>		②設定項目	③設定値	ウインドウ部品削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字) 指定した部品IDのウインドウを閉じる。(親が子を閉じる) " me" WEB_WINDOWコマンドで開かれた子ウインドウ側で、 自分自身を閉じる。(子が自分を閉じる)
②設定項目	③設定値					
ウインドウ部品削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字) 指定した部品IDのウインドウを閉じる。(親が子を閉じる) " me" WEB_WINDOWコマンドで開かれた子ウインドウ側で、 自分自身を閉じる。(子が自分を閉じる)					
文 例 1	<p>'新規にウインドウを開き、5秒後に親ウインドウが子ウインドウを閉じる。</p> <pre> INCLUDE "WEB.AJN" WEB_LABEL "", "10", "10", "新規にウインドウを開いて、5秒後に閉じます。" WEB_WINDOW "WIN1", "URL=test.html, TOP=100, LEFT=200, WIDTH=300, HEIGHT=200, DEPENDENT=YES" SLEEP(5) WEB_WINDOW_CLOSE "WIN1", AJAN_WEB_REMOVE, "" </pre> 					

文 例 2

親ウインドウは新規にウインドウを開く。

```
'親ウインドウのプログラム
INCLUDE "WEB.AJN"
```

```
WEB_LABEL "", "10", "10", "新規にウインドウを開きます。"
WEB_WINDOW "WIN1", "URL=test.html, TOP=100, LEFT=200, WIDTH=300, HEIGHT=200, DEPENDENT=NO"
```

子ウインドウは、5秒後に自分でウインドウを閉じる。

```
'子ウインドウのプログラム
INCLUDE "WEB.AJN"
```

```
WEB_LABEL "", "10", "10", "5秒後に閉じます。"
```

```
SLEEP(5)
WEB_WINDOW_CLOSE "", AJAN_WEB_REMOVE, "me"
```

文 例 3

' ウィンドウに渡すパラメータをURLに指定する例

```
INCLUDE "WEB.AJN"
```

```
' パラメータ文字列を作成（ウィンドウに渡す文字列はパーセントエンコーディングする）
PARAM$ = "URL=data/test.html?" + WEB URI ENCODE$("PARAM1=SUPER_CD&PARAM2=AJAN")
PARAM$ = PARAM$ + ", TOP=100, LEFT=200, WIDTH=800, HEIGHT=200, DEPENDENT=YES"
```

' ウィンドウを開く

```
WEB_WINDOW "WIN1", PARAM$
```

3.29 ダイアグラム

3.29.1 概要

ダイアグラムを作成、表示します。

ダイアグラムは、四角いベースとなる部品で、各種部品を載せて、まとめて扱うことができます。

ダイアグラムに載せた後でも、その部品の設定やイベント処理など、部品の全機能が使えます。

対応部品

グラフ テキストボックス テキストエリア ラベル 表 データグリッド 画像 ボタン
 セレクトボックス ラジオボタン チェックボックス ランプ メータ 図形描画 動画再生
 音声再生

3.29.2 WEB_DIAGRAM

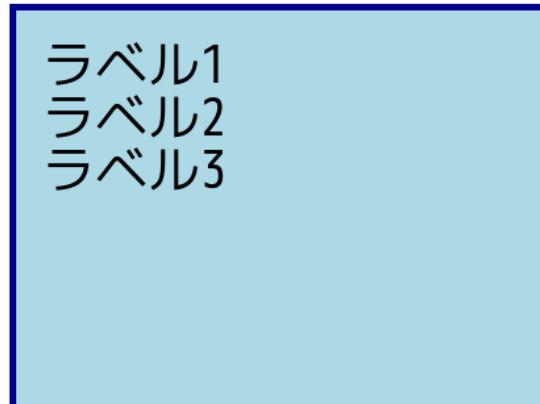
命令		
機能	ダイアグラムの描画領域を作成します。	
書式	WEB_DIAGRAM <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>, <④横幅>, <⑤高さ>	
パラメータ	①	<部品ID>
	任意の部品IDを指定します。	
	②	<垂直位置>
	上端からの垂直位置を指定します。	
	③	<水平位置>
	左端からの水平位置を指定します。	
文例	④	<横幅>
	ダイアグラムの横幅を指定します。	
文例	⑤	<高さ>
	ダイアグラムの高さを指定します。	
文例	WEB_DIAGRAM_SETを参照してください。	

3.29.3 WEB_DIAGRAM_SET

命令																								
機能	ダイアグラムの設定をします。																							
書式	WEB_DIAGRAM_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																							
パラメータ	①	<部品ID> 設定するダイアグラムの部品IDを指定します。																						
	②	<設定項目> 以下の設定項目、設定値を指定することで、動画再生の設定ができます。																						
	③	<設定値> 文字列 定数 文字列																						
<p>※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、各種サンプルプログラムをご参照ください。 ※再生終了時に指定したAJANプログラム処理を実行させることができます。 詳しくは、ON WEB CALLコマンドご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th> <th>③設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダイアグラムに部品を追加 AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM</td> <td>追加する部品ID 例："LABEL1" ※下記の部品が指定できます。 グラフ テキストボックス テキストエリア ラベル 表 データグリッド 画像 ボタン セレクトボックス ラジオボタン チェックボックス ランプ メータ 図形描画 動画再生 音声再生 本設定を実行する前に、ダイアグラムに載せる部品を作成してください。</td></tr> <tr> <td>ダイアグラムの部品を削除 AJAN_DIAGRAM_REMOVE_ITEM</td> <td>"" (空文字) ダイアグラムに追加済みの部品を、全て削除します。</td></tr> <tr> <td>ダイアグラムの幅 AJAN_DIAGRAM_WIDTH</td> <td>例："500"</td></tr> <tr> <td>ダイアグラムの高さ AJAN_DIAGRAM_HEIGHT</td> <td>例："300"</td></tr> <tr> <td>ダイアグラムの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td> <td>例："100"</td></tr> <tr> <td>ダイアグラムの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td> <td>例："50"</td></tr> <tr> <td>枠線のスタイル AJAN_DIAGRAM_BORDER_STYLE</td> <td>"NONE" : なし "SOLID" : 実線 "DOTTED" : 点線 "DASHED" : 破線</td></tr> <tr> <td>枠線の幅 AJAN_DIAGRAM_BORDER_WIDTH</td> <td>例："5"</td></tr> <tr> <td>枠線の色 AJAN_DIAGRAM_BORDER_COLOR</td> <td>例："BLUE"</td></tr> <tr> <td>背景色 AJAN_DIAGRAM_BACKGROUND_COLOR</td> <td>例："LIGHTBLUE"</td></tr> </tbody> </table>	②設定項目	③設定値	ダイアグラムに部品を追加 AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM	追加する部品ID 例："LABEL1" ※下記の部品が指定できます。 グラフ テキストボックス テキストエリア ラベル 表 データグリッド 画像 ボタン セレクトボックス ラジオボタン チェックボックス ランプ メータ 図形描画 動画再生 音声再生 本設定を実行する前に、ダイアグラムに載せる部品を作成してください。	ダイアグラムの部品を削除 AJAN_DIAGRAM_REMOVE_ITEM	"" (空文字) ダイアグラムに追加済みの部品を、全て削除します。	ダイアグラムの幅 AJAN_DIAGRAM_WIDTH	例："500"	ダイアグラムの高さ AJAN_DIAGRAM_HEIGHT	例："300"	ダイアグラムの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	例："100"	ダイアグラムの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	例："50"	枠線のスタイル AJAN_DIAGRAM_BORDER_STYLE	"NONE" : なし "SOLID" : 実線 "DOTTED" : 点線 "DASHED" : 破線	枠線の幅 AJAN_DIAGRAM_BORDER_WIDTH	例："5"	枠線の色 AJAN_DIAGRAM_BORDER_COLOR	例："BLUE"	背景色 AJAN_DIAGRAM_BACKGROUND_COLOR	例："LIGHTBLUE"		
②設定項目	③設定値																							
ダイアグラムに部品を追加 AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM	追加する部品ID 例："LABEL1" ※下記の部品が指定できます。 グラフ テキストボックス テキストエリア ラベル 表 データグリッド 画像 ボタン セレクトボックス ラジオボタン チェックボックス ランプ メータ 図形描画 動画再生 音声再生 本設定を実行する前に、ダイアグラムに載せる部品を作成してください。																							
ダイアグラムの部品を削除 AJAN_DIAGRAM_REMOVE_ITEM	"" (空文字) ダイアグラムに追加済みの部品を、全て削除します。																							
ダイアグラムの幅 AJAN_DIAGRAM_WIDTH	例："500"																							
ダイアグラムの高さ AJAN_DIAGRAM_HEIGHT	例："300"																							
ダイアグラムの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	例："100"																							
ダイアグラムの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	例："50"																							
枠線のスタイル AJAN_DIAGRAM_BORDER_STYLE	"NONE" : なし "SOLID" : 実線 "DOTTED" : 点線 "DASHED" : 破線																							
枠線の幅 AJAN_DIAGRAM_BORDER_WIDTH	例："5"																							
枠線の色 AJAN_DIAGRAM_BORDER_COLOR	例："BLUE"																							
背景色 AJAN_DIAGRAM_BACKGROUND_COLOR	例："LIGHTBLUE"																							

	<p>枠外への描画動作設定 AJAN_DIAGRAM_OVER_RANGE</p> <p>"VISIBLE" : はみ出して表示する "HIDDEN" : はみ出した部分は表示しない（初期値） "SCROLL" : スクロールバーを常に表示する "AUTO" : 必要に応じてスクロールバーを表示する "SCROLL&ROLLUP" : SCROLL + 枠外追従表示※ "AUTO&ROLLUP" : AUTO + 枠外追従表示※</p> <p>※ダイアグラムの枠外にAJAN_DIAGRAM_ADD_ITEMで部品を追加した場合、その部品を追従するようにスクロールして表示します。</p>
自動配置設定 AJAN_DIAGRAM_AUTO_POSITION	<p>AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEMで部品を次々と並べて表示する場合に、下方向または右方向に自動的に位置をずらしていく設定。</p> <p>"NORMAL" : 自動配置を使用しない（初期値） "BOTTOM:<送り幅>" : 配置後、次の配置位置を下方向にずらす "RIGHT:<送り幅>" : 配置後、次の配置位置を右方向にずらす</p> <p>※送り幅 AUTO : 部品のサイズの1.5倍をずらす 数値 : 指定したピクセル数分ずらす</p> <p>AJAN_DIAGRAM_OVER_RANGE設定の"AUTO&ROLLUP"と組み合わせて使用することで、スクロールしながら新しい情報を表示するような使い方ができます。</p>
マウスでの枠のドラッグ、リサイズ AJAN_DIAGRAM_DRAG_RESIZE	<p>"DRAG" : 枠のドラッグ 可、リサイズ 不可 "RESIZE" : 枠のドラッグ 不可、リサイズ 可 "DRAG RESIZE" : 枠のドラッグ 可、リサイズ 可 "" : 枠のドラッグ 不可、リサイズ 不可</p> <p>本機能は、iPhone(Safari)に対応していません。</p>
ダイアログの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示（初期値） AJAN_FALSE : 非表示
ダイアログの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字)
ダイアログの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1"~"1000"
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"

文 例 1	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" 'ダイアグラムを作成 WEB_DIAGRAM "DIAGRAM1", "50", "50", "400", "300" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BACKGROUND_COLOR, "LIGHTGREEN" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_STYLE, "SOLID" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_WIDTH, "5" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_COLOR, "DARKGREEN" '3つのラベル部品をダイアグラムに配置 WEB_LABEL "LABEL1", "20", "20", "ラベル1" WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "40" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM, "LABEL1" WEB_LABEL "LABEL2", "60", "20", "ラベル2" WEB_LABEL_SET "LABEL2", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "40" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM, "LABEL2" WEB_LABEL "LABEL3", "100", "20", "ラベル3" WEB_LABEL_SET "LABEL3", AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "40" WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM, "LABEL3"</pre>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



文例 2

```

INCLUDE "WEB.AJN"

WEB_LABEL "LABEL0", "10", "10", "チャット風メッセージ表示"

' ダイアグラムを作成
WEB_DIAGRAM "DIAGRAM1", "50", "50", "500", "350"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BACKGROUND_COLOR, "LIGHTBLUE"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_STYLE, "SOLID"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_WIDTH, "5"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_BORDER_COLOR, "DARKGREEN"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_OVER_RANGE, "AUTO&ROLLUP"
WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_AUTO_POSITION, "BOTTOM:AUTO"

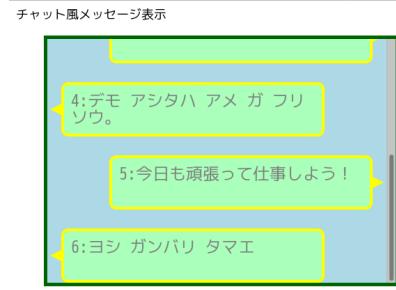
' ダイアグラムにメッセージを表示する
CALL CHAT_SUB("1", "right", "こんにちは、ロボキチくん。")
SLEEP(1)
CALL CHAT_SUB("2", "left", "コンニチハ イオタ クン。")
SLEEP(1)
CALL CHAT_SUB("3", "right", "今日は良い天気だね！")
SLEEP(1)
CALL CHAT_SUB("4", "left", "デモ アシタハ アメ ガ フリソウ。")
SLEEP(1)
CALL CHAT_SUB("5", "right", "今日も頑張って仕事しよう！")
SLEEP(1)
CALL CHAT_SUB("6", "left", "ヨシ ガンバリ タマエ")

' 吹き出し風のラベルを表示するサブルーチン
SUB CHAT_SUB(NUM$, LR$, MSG$)
    WEB_LABEL "LABEL"+NUM$, "30", "30", ""
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_WIDTH, "350"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_HEIGHT, "50"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_BACKGROUND_COLOR, "#aaffbb"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_COLOR, "GRAY"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_FONT_SIZE, "24"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_BORDER_WIDTH, "4"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_AUTO_LF, AJAN_TRUE
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_BORDER_COLOR, "YELLOW"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_BORDER_RADIUS, "10"
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_SPEAK_BALOON, LR$      ' 突起を表示する
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_WEB_CSS, "padding: 10px;"      ' ラベルと文字の隙間を設定

    ' CSSで表示位置（左寄せ、右寄せ）を設定
    IF LR$ = "left" THEN
        WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_WEB_CSS, "right:initial;"
        WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_WEB_CSS, "left:20px;"      ' 左端から20px空けて表示
    ELSE
        WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_WEB_CSS, "left:initial;"
        WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_WEB_CSS, "right:20px;"      ' 右端から20px空けて表示
    END IF

    WEB_DIAGRAM_SET "DIAGRAM1", AJAN_DIAGRAM_ADD_ITEM, "LABEL"+NUM$ ' ダイアグラムに追加
    WEB_LABEL_SET "LABEL"+NUM$, AJAN_LABEL_VALUE, NUM$+":"+MSG$      ' メッセージ表示
END SUB

```



3.30 ファイルアップロード

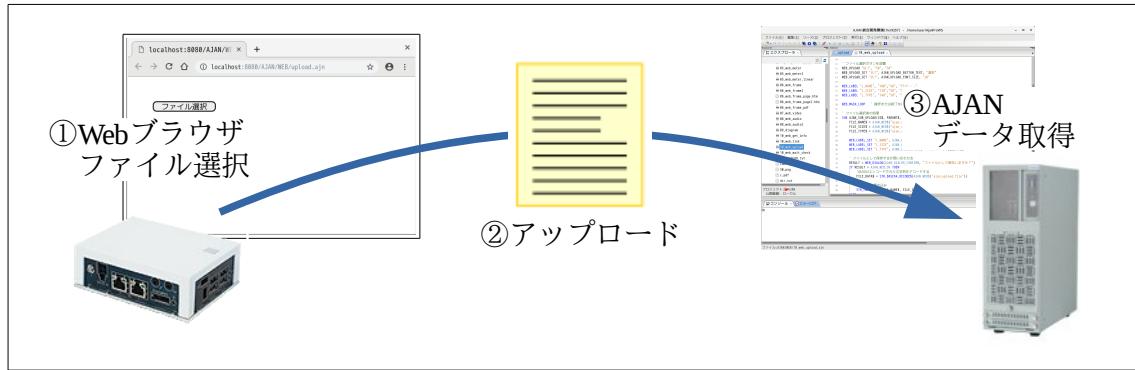
3.30.1 概要

Webブラウザ上で選択したファイルを、AJANアプリにアップロードする機能です。

クライアント（Webブラウザ）、サーバ（AJAN）が独立したPC構成で、サーバにファイルをアップロードするような場面で有効です（1台のPC構成でも動作します）。

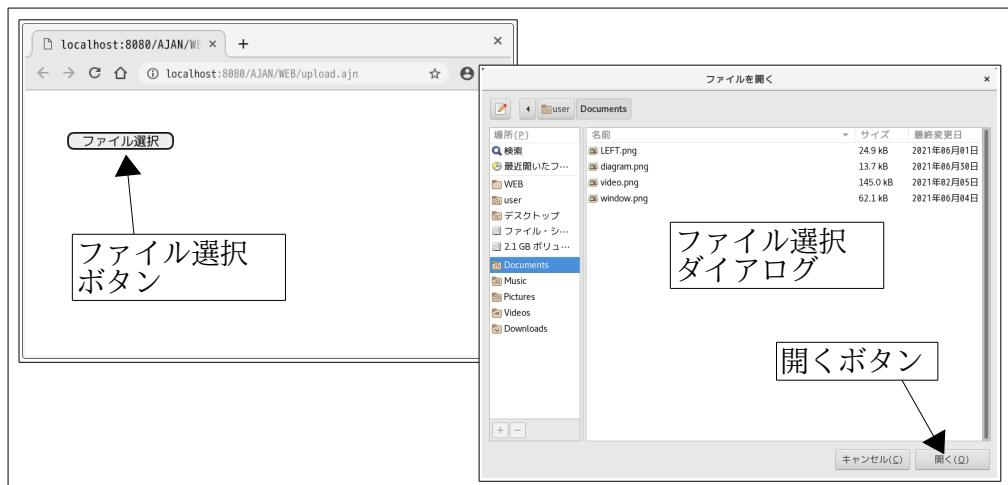
Webブラウザ側では、ファイルを選択するダイアログボックスを提供しています。データは、BASE64形式でエンコードしてAJAN側に送ります。

AJAN側では、受け取ったデータをAJANのコマンドを使ってデコード、ファイル保存ができます。



アップロードするファイルの選択

WEB_UPLOADコマンドによって画面上に配置したボタン（下記画面左では「ファイル選択」ボタン）を押すごとで、アップロードするファイルを選択するダイアログボックス（下記画面右）が開きます。アップロードするファイルを、ダブルクリックまたは「開く」ボタンで選択します。



アップロード後のデータ処理

上記操作で選択したファイルは、即座にBASE64形式の文字列にエンコードされてAJANに送信されます。AJAN側で受信すると、特定のサブルーチン（AJAN_SUB_UPLOAD）が呼び出されます。

アップロードデータ処理用サブルーチン

AJAN_SUB_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$)

この中で、受信データを元の形式にデコード、ファイル保存などを行う処理を記述してください。
詳しい処理方法は、WEB_UPLOADコマンドの説明をご参照ください。

3.30.2 WEB_UPLOAD

命令												
機能	ファイル選択ボタンを配置し、選択したファイルをAJANに送信します。											
書式	WEB_UPLOAD <①部品ID>, <②垂直位置>, <③水平位置>											
パラメータ	① <部品ID>	文字列										
	任意の部品IDを指定します。											
	② <垂直位置>	文字列										
	表示する部品のページ上端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。											
	③ <水平位置>	文字列										
	表示する部品のページ左端からの位置を指定します。 単位はピクセルです。											
	<ul style="list-style-type: none"> アップロードしたデータをファイルに保存する場合の処理について <p>選択したファイルのデータは、AJANに送信されます。 AJAN側では、アップロードしたデータを受け取る専用のサブルーチンで、ブラウザから送信されたデータを取得し、ファイル保存などができます。</p> <p>取得したデータを保存（または加工）する場合には、以下のサブルーチンを AJANプログラム内に記述してください。（詳しくはサンプル例をご参照ください）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[アップロードデータ受信サブルーチン] 名称：AJAN_SUB_UPLOAD ※サブルーチン名は固定です（システム予約） 引数：ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$</p> </div> <p>アップロードデータ受信サブルーチン内では、以下の値を取得できます。 ※AJAN_SUB_UPLOADサブルーチンに記述される処理では、他のコマンドを実行する前に下記のAJAN_WEB\$でのデータ取得を実施してください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>アップロードデータ受信サブルーチン内で取得できる内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") [内容] WEB_UPLOADコマンドで選択されたファイルのパスです。WEB_UPLOAD_SETコマンドのAJAN_UPLOAD_FILE_FOLDERで、保存するフォルダが指定されている場合、パスを含むファイル名が格納されています。</p> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータです。 データはBase64でエンコードされていますので、データをSTR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。 例：(DATA_STR\$に画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_size") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのサイズ（バイト単位）です。</p> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td> <p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_type") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのファイルタイプです。 例：テキストファイル text/plain PNG形式の画像ファイル image/png</p> </td> </tr> </tbody> </table>		No	アップロードデータ受信サブルーチン内で取得できる内容	1	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") [内容] WEB_UPLOADコマンドで選択されたファイルのパスです。WEB_UPLOAD_SETコマンドのAJAN_UPLOAD_FILE_FOLDERで、保存するフォルダが指定されている場合、パスを含むファイル名が格納されています。</p>	2	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータです。 データはBase64でエンコードされていますので、データをSTR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。 例：(DATA_STR\$に画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p>	3	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_size") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのサイズ（バイト単位）です。</p>	4	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_type") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのファイルタイプです。 例：テキストファイル text/plain PNG形式の画像ファイル image/png</p>
No	アップロードデータ受信サブルーチン内で取得できる内容											
1	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") [内容] WEB_UPLOADコマンドで選択されたファイルのパスです。WEB_UPLOAD_SETコマンドのAJAN_UPLOAD_FILE_FOLDERで、保存するフォルダが指定されている場合、パスを含むファイル名が格納されています。</p>											
2	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータです。 データはBase64でエンコードされていますので、データをSTR_BASE64_DECODE\$コマンドでデコードすることでバイナリデータが取得できます。 例：(DATA_STR\$に画像ファイルのバイナリデータが格納されます) DATA_STR\$=STR_BASE64_DECODE\$(AJAN_WEB\$("ajan_upload_file"))</p>											
3	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_size") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのサイズ（バイト単位）です。</p>											
4	<p>[変数名] AJAN_WEB\$("ajan_upload_type") [内容] Webブラウザから送信されたファイルのデータのファイルタイプです。 例：テキストファイル text/plain PNG形式の画像ファイル image/png</p>											

	<p>アップロードデータ受信サブルーチン記載例 (詳しくはサンプルプログラムをご参照ください)</p> <pre>'----- ' アップロードされたデータを受け取ってファイル保存 ' サブルーチン名 : AJAN_SUB_UPLOAD (システム予約) '----- SUB AJAN_SUB_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) ' ファイル名、ファイルデータを取得する FILE_NAME\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") FILE_DATA\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") ' BASE64エンコードされたデータをデコードする FILE_DATA\$ = STR_BASE64_DECODE\$(FILE_DATA\$) ' ファイル書き込み STR_FWRITEALL FILE_NAME\$, FILE_DATA\$ END SUB</pre>
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" ' ファイル選択ボタンを設置 WEB_UPLOAD "UL1", "50", "50" WEB_MAIN_LOOP ' 操作または終了を待つループ ' ファイル選択後の処理 SUB AJAN_SUB_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) ' ファイル名、ファイルデータを取得する FILE_NAME\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") FILE_DATA\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") ' BASE64エンコードされたデータをデコードする FILE_DATA\$ = STR_BASE64_DECODE\$(FILE_DATA\$) ' ファイル書き込み STR_FWRITEALL FILE_NAME\$, FILE_DATA\$ END SUB</pre>

3.30.3 WEB_UPLOAD_SET

命令																										
機能	アップロードの設定を行います。																									
書式	WEB_UPLOAD_SET <①部品ID>, <②設定項目>, <③設定値>																									
パラメータ	①	<部品ID> 文字列 設定したい部品IDを指定します。																								
	②	<設定項目> 定数 ③ <設定値> 文字列 以下の設定項目、設定値を指定することで、アップロードの設定ができます。																								
		<p>※色の設定を行う箇所は、2.4.6 色の指定方法をご参照ください。 ※位置やサイズ等の指定箇所は、2.4.7 位置・サイズの指定方法をご参照ください。 ※詳細な使用例につきましては、サンプルプログラムをご参照ください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>②設定項目</th><th>③設定値</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アップロードファイルの保存フォルダ AJAN_UPLOAD_FILE_FOLDER</td><td> 例： フルパス "/home/user/Documents/ClientFiles/" 相対パス "./data/" 未設定 "" (初期値) ※相対パス、未設定時は、実行ファイルがあるフォルダが基準となります。 ※パス末尾の "/" は補完されるので、省略できます。 本設定は、AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") で取得する ファイル名にフォルダ名を加える機能です。STR_FWRITEALL コマンドでのファイル保存を補助する機能です。 </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの幅 AJAN_UPLOAD_WIDTH</td><td> 例："50" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。 </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの高さ AJAN_UPLOAD_HEIGHT</td><td> 例："30" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。 </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの文字 AJAN_UPLOAD_BUTTON_TEXT</td><td> 例："選択" "ファイル選択" (初期値) </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの文字サイズ AJAN_UPLOAD_FONT_SIZE</td><td>例："20"</td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの文字と枠線の色 AJAN_UPLOAD_FONT_COLOR</td><td>例："RED"</td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの枠線の太さ AJAN_UPLOAD_BORDER_WIDTH</td><td> 枠線の太さ 例："2" </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの枠線の形状 AJAN_UPLOAD_BORDER_STYLE</td><td> "NONE"(なし。初期値) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線) </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの背景色 AJAN_UPLOAD_BACKGROUND_COLOR</td><td>枠色</td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE</td><td> AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。 </td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX</td><td> "1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。 </td></tr> </tbody> </table>	②設定項目	③設定値	アップロードファイルの保存フォルダ AJAN_UPLOAD_FILE_FOLDER	例： フルパス "/home/user/Documents/ClientFiles/" 相対パス "./data/" 未設定 "" (初期値) ※相対パス、未設定時は、実行ファイルがあるフォルダが基準となります。 ※パス末尾の "/" は補完されるので、省略できます。 本設定は、AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") で取得する ファイル名にフォルダ名を加える機能です。STR_FWRITEALL コマンドでのファイル保存を補助する機能です。	ファイル選択ボタンの幅 AJAN_UPLOAD_WIDTH	例："50" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。	ファイル選択ボタンの高さ AJAN_UPLOAD_HEIGHT	例："30" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。	ファイル選択ボタンの文字 AJAN_UPLOAD_BUTTON_TEXT	例："選択" "ファイル選択" (初期値)	ファイル選択ボタンの文字サイズ AJAN_UPLOAD_FONT_SIZE	例："20"	ファイル選択ボタンの文字と枠線の色 AJAN_UPLOAD_FONT_COLOR	例："RED"	ファイル選択ボタンの枠線の太さ AJAN_UPLOAD_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例："2"	ファイル選択ボタンの枠線の形状 AJAN_UPLOAD_BORDER_STYLE	"NONE"(なし。初期値) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)	ファイル選択ボタンの背景色 AJAN_UPLOAD_BACKGROUND_COLOR	枠色	ファイル選択ボタンの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。	ファイル選択ボタンの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。
②設定項目	③設定値																									
アップロードファイルの保存フォルダ AJAN_UPLOAD_FILE_FOLDER	例： フルパス "/home/user/Documents/ClientFiles/" 相対パス "./data/" 未設定 "" (初期値) ※相対パス、未設定時は、実行ファイルがあるフォルダが基準となります。 ※パス末尾の "/" は補完されるので、省略できます。 本設定は、AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") で取得する ファイル名にフォルダ名を加える機能です。STR_FWRITEALL コマンドでのファイル保存を補助する機能です。																									
ファイル選択ボタンの幅 AJAN_UPLOAD_WIDTH	例："50" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。																									
ファイル選択ボタンの高さ AJAN_UPLOAD_HEIGHT	例："30" ※省略時は、ボタンの文字列長、フォントサイズに合わせたサイズになります。																									
ファイル選択ボタンの文字 AJAN_UPLOAD_BUTTON_TEXT	例："選択" "ファイル選択" (初期値)																									
ファイル選択ボタンの文字サイズ AJAN_UPLOAD_FONT_SIZE	例："20"																									
ファイル選択ボタンの文字と枠線の色 AJAN_UPLOAD_FONT_COLOR	例："RED"																									
ファイル選択ボタンの枠線の太さ AJAN_UPLOAD_BORDER_WIDTH	枠線の太さ 例："2"																									
ファイル選択ボタンの枠線の形状 AJAN_UPLOAD_BORDER_STYLE	"NONE"(なし。初期値) "SOLID"(実線) "DOTTED"(点線) "DASHED"(破線)																									
ファイル選択ボタンの背景色 AJAN_UPLOAD_BACKGROUND_COLOR	枠色																									
ファイル選択ボタンの表示有無 AJAN_WEB_VISIBLE	AJAN_TRUE : 表示(初期値) AJAN_FALSE : 非表示 非表示の場合は操作できません。																									
ファイル選択ボタンの重なり順番 AJAN_WEB_ZINDEX	"1" ~ "1000" 大きい数字ほど手前に表示します。																									

	<table border="1"> <tr> <td>ファイル選択ボタンの削除 AJAN_WEB_REMOVE</td><td>"" (空文字列を指定)</td></tr> <tr> <td>Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX</td><td>"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動</td></tr> <tr> <td>吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP</td><td>吹き出し内容 例："xxです"</td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP</td><td>ブラウザの上端からの位置</td></tr> <tr> <td>ファイル選択ボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT</td><td>ブラウザの左端からの位置</td></tr> </table>	ファイル選択ボタンの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)	Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動	吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"	ファイル選択ボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置	ファイル選択ボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置
ファイル選択ボタンの削除 AJAN_WEB_REMOVE	"" (空文字列を指定)										
Tabキー移動時の順番 AJAN_WEB_TABINDEX	"1"～ "1000" 小さい数字から大きい数字に移動										
吹き出し AJAN_WEB_TOOLTIP	吹き出し内容 例："xxです"										
ファイル選択ボタンの上端からの位置 AJAN_WEB_TOP	ブラウザの上端からの位置										
ファイル選択ボタンの左端からの位置 AJAN_WEB_LEFT	ブラウザの左端からの位置										
文 例	<pre>INCLUDE "WEB.AJN" WEB_LABEL "L_MSG", "10", "10", " [選択] ボタンを押して、アップロードするファイルを選択してください。" ' ファイル選択ボタンを設置 WEB_UPLOAD "UL1", "50", "50" WEB_UPLOAD_SET "UL1", AJAN_UPLOAD_BUTTON_TEXT, "選択" WEB_UPLOAD_SET "UL1", AJAN_UPLOAD_FONT_SIZE, "20" WEB_UPLOAD_SET "UL1", AJAN_UPLOAD_FONT_COLOR, "BLUE" WEB_LABEL "L_NAME", "100", "50", "FILE : -" WEB_LABEL "L_SIZE", "120", "50", "SIZE : -" WEB_LABEL "L_TYPE", "140", "50", "TYPE : -" WEB_MAIN_LOOP ' 操作または終了を待つループ ' ファイル選択後の処理 SUB AJAN_SUB_UPLOAD(ID\$, PARAM1\$, PARAM2\$) FILE_NAME\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_name") FILE_SIZE\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_size") FILE_TYPE\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file_type") FILE_DATA\$ = AJAN_WEB\$("ajan_upload_file") WEB_LABEL_SET "L_NAME", AJAN_LABEL_VALUE, "FILE : " + FILE_NAME\$ WEB_LABEL_SET "L_SIZE", AJAN_LABEL_VALUE, "SIZE : " + FILE_SIZE\$ WEB_LABEL_SET "L_TYPE", AJAN_LABEL_VALUE, "TYPE : " + FILE_TYPE\$ ' ファイルとして保存するか問い合わせる RESULT = WEB_DIALOG(AJAN_DIALOG_CONFIRM, "ファイルとして保存しますか?") IF RESULT = AJAN_WEB_OK THEN 'BASE64エンコードされた文字列をデコードする FILE_DATA\$ = STR_BASE64_DECODE\$(FILE_DATA\$) ' ファイル書き込み STR_FWRITEALL FILE_NAME\$, FILE_DATA\$ ELSE WEB_LABEL_SET "L_NAME", AJAN_LABEL_VALUE, "FILE : -" WEB_LABEL_SET "L_SIZE", AJAN_LABEL_VALUE, "SIZE : -" WEB_LABEL_SET "L_TYPE", AJAN_LABEL_VALUE, "TYPE : -" END IF END SUB</pre>										

3.31 一括表示

3.31.1 概要

複数のかんたんWEBのコマンドを、まとめてWEBブラウザに表示する機能です。

WEB_BATCH_BEGINコマンドとWEB_BATCH_ENDコマンドで挟むよう記述することで、その間のかんたんWEBのコマンドのWEBブラウザへの表示をまとめて行います。
これにより、過程を見せないようにして、一度に表示できます。

また、WEB_BATCH_BEGINコマンドからWEB_BATCH_ENDコマンドの間に表示するメッセージを指定できます。コマンドが多い場合などに、おまかせする旨をメッセージや画像で表示できます。

詳細は、文例をご参照ください。

注意事項

- ・WEB_MAIN_LOOPコマンド、WEB_CONFIRM、WEB_GET_PROPERTYなど、コマンド内で待ちが発生するコマンドは、WEB_BATCH_BEGINとWEB_BATCH_ENDの間に記述できません。
- ・本機能は、単一のスレッド内で完結させてください。複数のスレッドにまたがった場合の動作は保証できません。
- ・WEB_BATCH_BEGINコマンドとWEB_BATCH_ENDコマンドを多重構造(入れ子)にはできません。多重に記述した場合、2回めのコマンドは無視し処理が継続されます。

3.31.2 WEB_BATCH_BEGIN

命令		
機能	一括表示を開始します。	
書式	WEB_BATCH_BEGIN [<①表示文字列>]	
	①	<表示文字列>
	蓄積している間に表示するメッセージを指定します。 メッセージは省略可能です。	
	単純な文字列の他、HTML形式で記述が可能です。改行は が使用できます。	
文例①	<pre>'一括表示 INCLUDE "WEB.AJN" '一括表示を開始 WEB_BATCH_BEGIN "Please wait" 'ランプを100個表示する (WEB_BATCH_ENDまで表示しない) FOR Y=1 TO 10 FOR X=1 TO 10 WEB_LAMP "LAMP_"+STR\$(Y)+"_"+STR\$(X), STR\$(Y*50), STR\$(X*50) NEXT X NEXT Y 'WEBブラウザにまとめて表示する WEB_BATCH_END</pre>	

文例②	<p>‘ウェイトメッセージに色を指定 INCLUDE "WEB.AJN"</p> <p>‘一括表示を開始 WEB_BATCH_BEGIN "<div style='color:red;'>Please wait</div>"</p> <p>‘間の処理を省略（文例①参照）</p> <p>‘WEBブラウザにまとめて表示する WEB_BATCH_END</p>
文例③	<p>‘ウェイトメッセージに画像を指定 INCLUDE "WEB.AJN"</p> <p>‘一括表示を開始 WEB_BATCH_BEGIN ""</p> <p>‘間の処理を省略（文例①参照）</p> <p>‘WEBブラウザにまとめて表示する WEB_BATCH_END</p>

3.31.3 WEB_BATCH_END

命令	
機能	WEB_BATCH_BEGINコマンド実行以降のWEBコマンドをまとめてWEBブラウザに表示します。
書式	WEB_BATCH_END

3.32 AJAN_WEB_FORM\$更新

3.32.1 概要

WEB_FORM_UPDATEコマンドの実行時に、AJAN_WEB_FORM\$の内容が更新されますので、テキストボックスやデータグリッドなどのデータをAJAN_WEB_FORM\$から読み出すことができます。

AJAN_WEB_FORM\$は、基本的にはON WEBコマンドで登録したイベント処理内でデータを取得するためのグローバル変数ですが、本コマンドにより、イベント処理外でデータを得ることができます。

AJAN_WEB_FORM\$につきましては「2.4.2 予約されているグローバル変数」および「3.18.2 ON WEB CALL」も併せてご参照ください。

!!ご注意!! イベント処理の中で本コマンドを実行しないでください。イベント処理から呼び出すサブルーチンでの実行も不可です。イベント処理が正しく行えなくなります。

3.32.2 WEB_FORM_UPDATE

命令	
機能	グローバル変数のAJAN_WEB_FORM\$の内容を更新します。
書式	WEB_FORM_UPDATE
文例	<pre> INCLUDE "WEB.AJN" WEB_LABEL "LABEL1", "20", "20", "入力値がここに表示されます" WEB_TEXT "TEXT1", "120", "20" WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_TEXT_PLACEHOLDER, "何か入力してください" WEB_TEXT_SET "TEXT1", AJAN_WEB_FOCUS, "" '1秒毎にテキストボックスの入力データをラベルに反映する DO WHILE TRUE SLEEP 1 IF(AJAN_END_FLG = 1) THEN END 'ネットワーク切断時:終了する END IF ' AJAN_WEB_FORM\$を更新 WEB_FORM_UPDATE ' テキストボックス"TEXT1"のデータを取得して、ラベル"LABEL1"に設定する TEXT1\$ = AJAN_WEB_FORM\$("TEXT1") WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_VALUE, TEXT1\$ LOOP </pre>

3.33 位置・サイズ取得

3.33.1 概要

指定した部品IDの位置とサイズ、および、画面サイズ等を取得します。
また、部品IDに空文字を指定した場合、全部品のIDを取得できます。
本コマンドは、戻り値として結果を返します。

3.33.2 WEB_GET_PROPERTY\$

命令																		
機能	指定した部品IDのプロパティを取得します。																	
書式	@戻り値 = WEB_GET_PROPERTY\$(<①部品ID>)																	
パラメータ	① <部品ID>	文字列																
<p>■部品の情報を取得する場合 下記対応コマンドの部品IDを指定します。</p> <p>対応コマンド WEB_GRAPH,WEB_TEXT,WEB_TEXTAREA,WEB_LABEL,WEB_TABLE,WEB_GRID,WEB_IMG, WEB_BUTTON,WEB_SELECT,WEB_RADIO,WEB_CHECKBOX,WEB_LAMP,WEB_METER,WEB_FRAME, WEB_AUDIO,WEB_VIDEO,WEB_DIAGRAM,WEB_UPLOAD,WEB_DRAW</p> <p>■画面、ウインドウの情報を取得する場合 "@SCREEN"を指定します。</p> <p>■全部品のIDを取得する場合 "@ALLID"を指定します。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td>②</td> <td>戻り値</td> <td>文字列</td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>■部品の情報を取得する場合 下記の情報をJSON形式の文字列で返します。</p> <p>文字列フォーマット(JSON形式) <pre>{"TYPE": "<部品種類>", "TOP": "<縦座標>", "LEFT": "<横座標>", "WIDTH": "<幅>", "HEIGHT": "<高さ>", "RESULT": "<結果>"}</pre> <table> <tr> <td>TYPE</td> <td>: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD</td> </tr> <tr> <td>TOP</td> <td>: 縦座標</td> </tr> <tr> <td>LEFT</td> <td>: 横座標</td> </tr> <tr> <td>WIDTH</td> <td>: 幅 ※</td> </tr> <tr> <td>HEIGHT</td> <td>: 高さ ※</td> </tr> <tr> <td>RESULT</td> <td>: 結果 正常："0" エラー："0"以外</td> </tr> </table> <p>戻り値の例： <pre>{"TYPE": "TEXT", "TOP": "50", "LEFT": "100", "WIDTH": "120", "HEIGHT": "20", "RESULT": "0"}</pre> </p> <p>※ WEB_DRAWについての注意</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE図形で、垂直の線を描画した場合、WIDTH(幅)は"0"となります。 同様に、水平の線を描画した場合、HEIGHT(高さ)は"0"となります。 POLY図形、RECT図形でも、LINE図形と同じ条件の場合、同様です。 図形の線の幅は、座標、幅、高さに含まれません。 回転は反映されません。回転していない図形の座標、サイズが取得されます。 CIRCLE図形の座標は、円と4つの辺が接する長方形（非回転）の左上座標です。 </p></td></tr> </table>	②	戻り値	文字列	<p>■部品の情報を取得する場合 下記の情報をJSON形式の文字列で返します。</p> <p>文字列フォーマット(JSON形式) <pre>{"TYPE": "<部品種類>", "TOP": "<縦座標>", "LEFT": "<横座標>", "WIDTH": "<幅>", "HEIGHT": "<高さ>", "RESULT": "<結果>"}</pre> <table> <tr> <td>TYPE</td> <td>: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD</td> </tr> <tr> <td>TOP</td> <td>: 縦座標</td> </tr> <tr> <td>LEFT</td> <td>: 横座標</td> </tr> <tr> <td>WIDTH</td> <td>: 幅 ※</td> </tr> <tr> <td>HEIGHT</td> <td>: 高さ ※</td> </tr> <tr> <td>RESULT</td> <td>: 結果 正常："0" エラー："0"以外</td> </tr> </table> <p>戻り値の例： <pre>{"TYPE": "TEXT", "TOP": "50", "LEFT": "100", "WIDTH": "120", "HEIGHT": "20", "RESULT": "0"}</pre> </p> <p>※ WEB_DRAWについての注意</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE図形で、垂直の線を描画した場合、WIDTH(幅)は"0"となります。 同様に、水平の線を描画した場合、HEIGHT(高さ)は"0"となります。 POLY図形、RECT図形でも、LINE図形と同じ条件の場合、同様です。 図形の線の幅は、座標、幅、高さに含まれません。 回転は反映されません。回転していない図形の座標、サイズが取得されます。 CIRCLE図形の座標は、円と4つの辺が接する長方形（非回転）の左上座標です。 </p>			TYPE	: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD	TOP	: 縦座標	LEFT	: 横座標	WIDTH	: 幅 ※	HEIGHT	: 高さ ※	RESULT	: 結果 正常："0" エラー："0"以外
②	戻り値	文字列																
<p>■部品の情報を取得する場合 下記の情報をJSON形式の文字列で返します。</p> <p>文字列フォーマット(JSON形式) <pre>{"TYPE": "<部品種類>", "TOP": "<縦座標>", "LEFT": "<横座標>", "WIDTH": "<幅>", "HEIGHT": "<高さ>", "RESULT": "<結果>"}</pre> <table> <tr> <td>TYPE</td> <td>: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD</td> </tr> <tr> <td>TOP</td> <td>: 縦座標</td> </tr> <tr> <td>LEFT</td> <td>: 横座標</td> </tr> <tr> <td>WIDTH</td> <td>: 幅 ※</td> </tr> <tr> <td>HEIGHT</td> <td>: 高さ ※</td> </tr> <tr> <td>RESULT</td> <td>: 結果 正常："0" エラー："0"以外</td> </tr> </table> <p>戻り値の例： <pre>{"TYPE": "TEXT", "TOP": "50", "LEFT": "100", "WIDTH": "120", "HEIGHT": "20", "RESULT": "0"}</pre> </p> <p>※ WEB_DRAWについての注意</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE図形で、垂直の線を描画した場合、WIDTH(幅)は"0"となります。 同様に、水平の線を描画した場合、HEIGHT(高さ)は"0"となります。 POLY図形、RECT図形でも、LINE図形と同じ条件の場合、同様です。 図形の線の幅は、座標、幅、高さに含まれません。 回転は反映されません。回転していない図形の座標、サイズが取得されます。 CIRCLE図形の座標は、円と4つの辺が接する長方形（非回転）の左上座標です。 </p>			TYPE	: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD	TOP	: 縦座標	LEFT	: 横座標	WIDTH	: 幅 ※	HEIGHT	: 高さ ※	RESULT	: 結果 正常："0" エラー："0"以外				
TYPE	: 部品種類 (コマンド名から「WEB_」を取った文字列) GRAPH, TEXT, TEXTAREA, LABEL, TABLE, GRID, IMG, BUTTON, SELECT, RADIO, CHECKBOX, LAMP, METER, FRAME, AUDIO, VIDEO, DIAGRAM, UPLOAD																	
TOP	: 縦座標																	
LEFT	: 横座標																	
WIDTH	: 幅 ※																	
HEIGHT	: 高さ ※																	
RESULT	: 結果 正常："0" エラー："0"以外																	

■画面、ウィンドウの情報を取得する場合

下記の情報をJSON形式の文字列で返します。

文字列フォーマット(JSON形式)

```
{"SCREEN_WIDTH": "<画面幅>",
 "SCREEN_HEIGHT": "<画面高さ>",
 "SCREEN_AVAIL_WIDTH": "<モニタの利用可能領域幅>",
 "SCREEN_AVAIL_HEIGHT": "<モニタの利用可能領域高さ>",
 "WINDOW_INNER_WIDTH": "<ウィンドウ表示可能範囲幅>",
 "WINDOW_INNER_HEIGHT": "<ウィンドウ表示可能範囲高さ>",
 "WINDOW_OUTER_WIDTH": "<ウィンドウ幅>","WINDOW_OUTER_HEIGHT": "<ウィンドウ高>"}
```

SCREEN_WIDTH : 画面幅

SCREEN_HEIGHT : 画面高さ

SCREEN_AVAIL_WIDTH : モニタの利用可能領域幅

SCREEN_AVAIL_HEIGHT : モニタの利用可能領域高さ

WINDOW_INNER_WIDTH : ウィンドウ表示可能範囲幅

WINDOW_INNER_HEIGHT : ウィンドウ表示可能範囲高さ

WINDOW_OUTER_WIDTH : ウィンドウ幅

WINDOW_OUTER_HEIGHT : ウィンドウ高

戻り値の例 :

```
{"SCREEN_WIDTH": "1920", "SCREEN_HEIGHT": "1080",
 "SCREEN_AVAIL_WIDTH": "1920", "SCREEN_AVAIL_HEIGHT": "1928",
 "WINDOW_INNER_WIDTH": "1920", "WINDOW_INNER_HEIGHT": "920",
 "WINDOW_OUTER_WIDTH": "1920", "WINDOW_OUTER_HEIGHT": "991"}
```

■全部品のIDを取得する場合

全部品のIDをカンマ区切りの文字列で返します。

戻り値の例

"LABEL1,BUTTON1,TEXT1"

文例 1

' 全部品のIDを取得し、更に各部品情報を取得する

```
include "WEB.AJN"
```

```
' ラベル表示（情報を取得する対象のWEB部品）
```

```
WEB_LABEL "LABEL1", "15", "20", "PL\n A\nS\n MA"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_BORDER_WIDTH, "2"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_WIDTH, "80"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_HEIGHT, "80"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_ALIGN, "CENTER"
WEB_LABEL_SET "LABEL1", AJAN_LABEL_COLOR, "LIME"
WEB_LABEL "LABEL2", "20", "120", "Time Warp"
WEB_LABEL "LABEL3", "40", "120", "Spinning World"
WEB_LABEL "LABEL4", "60", "120", "Flow"
WEB_LABEL "LABEL5", "80", "120", "Drive'n The Rain"
```

```
LIST IDLIST$                                ' 全部品のIDを格納する配列（文字列）
OBJECT J_OBJ@ AS JSON                      ' PARSEしたデータ格納用のJSONオブジェクト
OBJECT J_DATA@ AS JSON                      ' 抽出したデータ格納用のJSONオブジェクト
LIST JKEY$                                    ' JSONのキー一覧配列（文字列）
```

```
ALLID$ = WEB_GET_PROPERTY$("@ALLID")      ' 全部品のIDを取得（文字列）
IDLIST$ = SPLIT$(ALLID$, ",")               ' カンマ区切りのIDをバラして配列に格納
PDATA$ = ""                                 ' 部品データ表示用文字列
```

' 部品情報を取得する

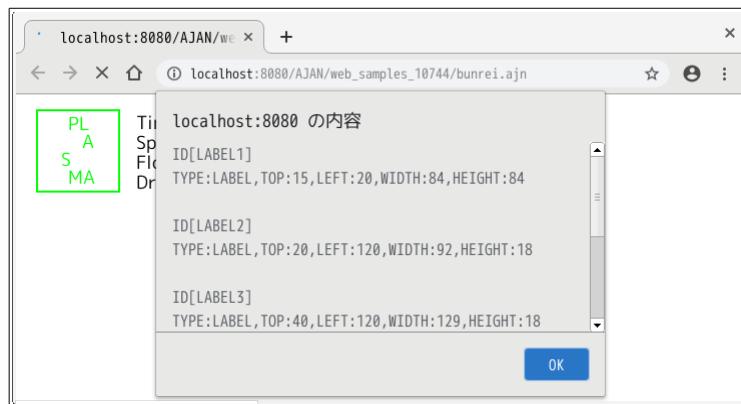
```
FOR PCNT = 0 TO LDIM(IDLIST$) - 1          ' 部品IDの数だけループ
    JSP$ = WEB_GET_PROPERTY$(IDLIST$(PCNT))   ' 部品情報をJSON文字列で取得
    PDATA$ = PDATA$ + "ID[" + IDLIST$(PCNT) + "]\n"

    J_OBJ@ = JSON_PARSE@(JSP$)                 ' JSONオブジェクトに変換
    JKEY$ = J_OBJ@.OBJECT_KEYS$()               ' キーの配列を抽出

    FOR CNT = 0 TO LDIM(JKEY$)-1                ' キーの数分ループ
        J_DATA@ = J_OBJ@.OBJECT_GET@(JKEY$(CNT)) ' キーに紐付けたデータを抽出
        J_DATA_STR$ = J_DATA@.GET_CSTR$()         ' データを文字列に変換
        PDATA$ = PDATA$ + JKEY$(CNT) + ":" + J_DATA_STR$ + ","
    NEXT CNT

    PDATA$ = MID$(PDATA$, 1, LEN(PDATA$)-1) + "\n\n" ' 末尾のカンマを取る
NEXT PCNT

WEB_MSG_BOX PDATA$
```



文例2

```
' 画面情報を取得する
include "WEB.AJN"

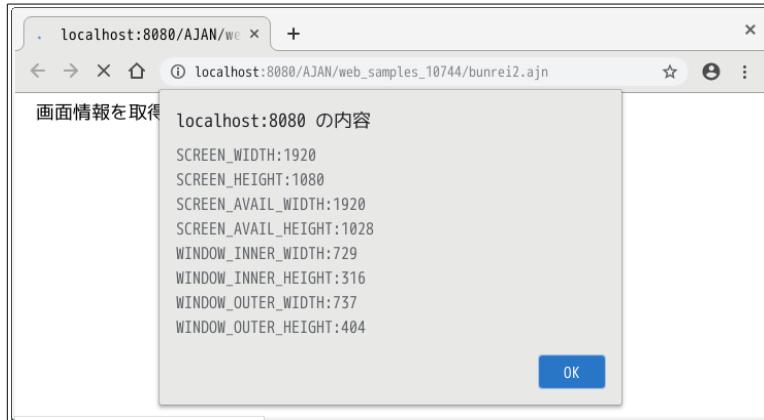
WEB_LABEL "LABEL1", "10", "20", "画面情報を取得します。"

OBJECT J_OBJ@ AS JSON          ' PARSEしたデータ格納用のJSONオブジェクト
OBJECT J_DATA@ AS JSON          ' 抽出したデータ格納用のJSONオブジェクト
LIST JKEY$                      ' JSONのキー一覧配列（文字列）

JSP$ = WEB_GET_PROPERTY$("@SCREEN") ' 画面情報を取得（JSON文字列）
J_OBJ@ = JSON_PARSE@(JSP$)         ' JSON文字列をJSONオブジェクトに変換
JKEY$ = J_OBJ@.OBJECT_KEYS$()     ' JSONオブジェクトからキーの配列を抽出
SDATA$ = ""

FOR CNT = 0 TO LDIM(JKEY$)-1      ' キーの数分ループ
    J_DATA@ = J_OBJ@.OBJECT_GET@(JKEY$(CNT)) ' 指定キーのデータを抽出
    J_DATA_STR$ = J_DATA@.GET_CSTR$()        ' データを文字列に変換
    SDATA$ = SDATA$ + JKEY$(CNT) + ":" + J_DATA_STR$ + "\n"
NEXT CNT

WEB_MSG_BOX MID$(SDATA$, 1, LEN(SDATA$)-2) ' 末尾の'\n'を取って表示する
```



第4章 サンプルプログラム

本製品には AJAN Web アプリケーションのサンプルプログラムが添付されておりますので、使い方やプログラムの作成例としてご参照ください。

Web サンプルプログラム一覧

(/usr/share/interface/AJANPro/web_samples/WEB/ に格納されています)

種類	#	ファイル名	内 容
各種部品表示	0-1	00_module_demo.ajn	各種Web部品のデモを表示
グラフビルダー	0-2	00_builder_graph.ajn	画面上でグラフのデザインを変更できます
メータビルダー	0-3	00_builder_meter.ajn	画面上でメータのデザインを変更できます
グラフ	1-1	01_web_graph_bar.ajn	棒グラフ（シンプル）
	1-2	01_web_graph_bar2.ajn	棒グラフ（数字表示）
	1-3	01_web_graph_line.ajn	折線グラフ
	1-4	01_web_graph_line2.ajn	折線グラフ（詳細設定）
	1-5	01_web_graph_pie.ajn	円グラフ
	1-6	01_web_graph_stack.ajn	積層グラフ
	1-7	01_web_graph_stack2.ajn	積層グラフ（複数列）
	1-8	01_web_graph_multi.ajn	複合グラフ（棒グラフ/折線）
	1-9	01_web_graph_scatter.ajn	散布図
	1-10	01_web_graph_shade.ajn	濃淡図
ボタン	2-1	02_web_button.ajn	ボタンの表示（自作画像のボタンも含む）
	2-2	02_web_button_push_toggle.ajn	プッシュボタン、トグルボタン
ラベル	2-3	02_web_label.ajn	ラベル表示
	2-4	02_web_label2.ajn	等幅フォントでカウンタ表示
テキストボックス	2-5	02_web_text.ajn	テキストボックス/テキストエリア
	2-6	02_web_text2.ajn	テキストボックスに候補リストを表示
表	2-7	02_web_table.ajn	表の表示
データグリッド	2-8	02_web_grid.ajn	データグリッド（シンプル）
	2-9	02_web_grid2.ajn	データグリッド（各種設定）
	2-10	02_web_grid3.ajn	データグリッド（データ変更の反映）
	2-11	02_web_grid4.ajn	データグリッド（セルのデータ取得）
	2-12	02_web_grid_edge.ajn	データグリッド（エッジサーバ接続）
	2-13	02_web_grid_edge2.ajn	データグリッド（エッジサーバ接続）
ページ設定	2-14	02_web_page.ajn	Webページの設定
画像	2-15	02_web_img.ajn	画像データを表示
	2-16	02_web_img2.ajn	画像データを動かす
セレクトボックス ラジオボタン チェックボックス	2-17	02_web_select.ajn	選択部品表示、ボタンでデータを取得
	2-18	02_web_select2.ajn	選択部品の変更時にデータを取得

ランプ	2-19	02_web_lamp.ajn	ランプを表示
	2-20	02_web_lamp2.ajn	多彩な色のランプを表示
図形描画	2-21	02_web_draw1.ajn	直線を描画
	2-22	02_web_draw2.ajn	四角形を描画
	2-23	02_web_draw3.ajn	円を描画
	2-24	02_web_draw4.ajn	多角形を描画
	2-25	02_web_draw5.ajn	図形を動かす
ダイアログボックス	2-26	02_web_dialog_confirm.ajn	ダイアログボックス(OK/Cancel)
	2-27	02_web_dialog_typing.ajn	タイピングゲーム
イベント タイマ グラフ自動更新	3-1	03_web_event.ajn	ボタンや画像のイベント処理
	3-2	03_web_event2.ajn	ボタン/ブザー/テキスト更新 (SuperCDのみ)
	3-3	03_web_event3.ajn	テキスト変更イベント/ブザー (SuperCDのみ)
	3-4	03_web_evemt_wdt.ajn	ウォッチドックタイマイベント (SuperCDのみ)
	3-5	03_web_timer.ajn	一定周期で現在の時刻をテキストに表示
	3-6	03_web_timer_table.ajn	一定周期で表の内容を更新
	3-7	03_web_timer_dio.ajn	汎用入出力/ボタン/ランプ (SuperCDのみ)
	3-8	03_web_timer_graph.ajn	一定周期でグラフ表示を自動更新
	3-9	03_web_timer_graph2.ajn	グラフ自動更新(各種設定)
	3-10	03_web_timer_graph3.ajn	複数グラフを自動更新
	3-11	03_web_timer_graph4.ajn	一定周期でグラフの表示を更新
	3-12	03_web_timer_graph5.ajn	複数系列のグラフを自動更新
AJAN側カメラ	4-1	04_web_ajan_camera.ajn	AJAN側カメラ表示、静止画保存
	4-2	04_web_ajan_camera_advance.ajn	AJAN側カメラ表示、簡単な画像処理
ブラウザ側 カメラ	4-3	04_web_camera.ajn	ブラウザ側カメラ画像を表示、静止画保存
	4-4	04_web_camera_qr_barcode.ajn	ブラウザ側カメラでQR/バーコード認識
メータ	5-1	05_web_meter.ajn	アナログメータ(シンプル)
	5-2	05_web_meter2.ajn	アナログメータ(各種設定)
フレーム	6-1	06_web_frame.ajn	フレーム(シンプル)
	6-2	06_web_frame2.ajn	フレーム(2ページ切り替え)
	6-3	06_web_frame_pdf.ajn	PDFファイル表示
アップロード	7-1	07_web_upload	アップロード
動画・音声	8-1	08_web_video.ajn	動画再生
	8-2	08_web_audio.ajn	音声再生
	8-3	08_web_audio2.ajn	日本語音声合成 (オリジナルデータが作成できます)
ダイアグラム	9-1	09_web_diagram.ajn	ダイアグラムに複数の部品を載せて扱う
その他	10-1	10_web_link.ajn	ページ間クエリ文字列送信

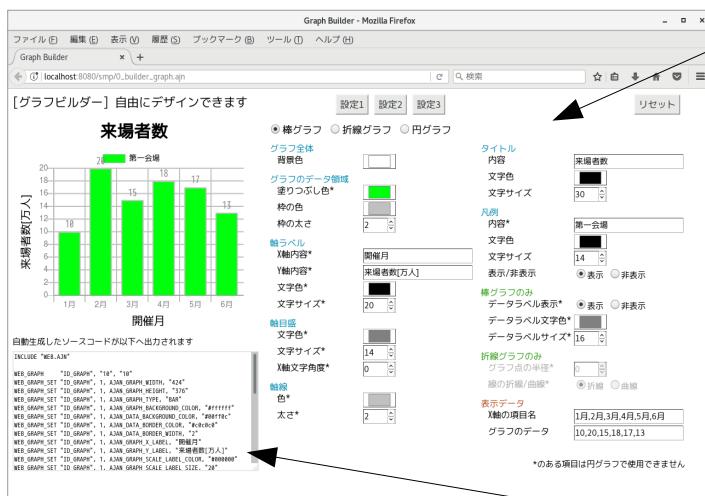
	10-2	10_web_get_info.ajn	ブラウザ側の情報を取得
	10-3	10_web_wait_check.ajn	メインループのウェイト時間を確認する
	10-4	10_web_get_property.ajn	WEB部品情報、画面情報を取得する

4.1 ビルダーツール

サンプルプログラムには、Web 画面上で 各部品の設定値を変更して 各種部品のデザインなどを変更して 確認することができる ビルダーツールが含まれています。

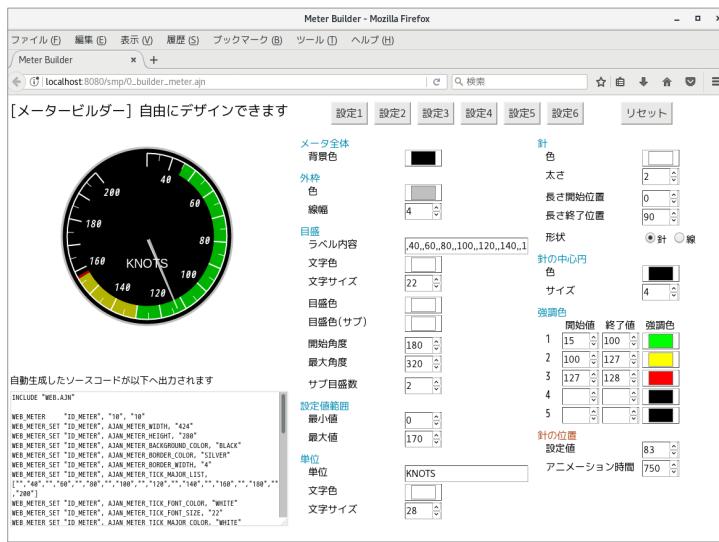
本ツールで、各種設定を変更して自分の好きなデザインの部品をかんたんに作成、検証することができます ので 活用ください。

グラフビルダー



各種設定項目を変更すると、
部品の外観も変わります。

メータビルダー



変更結果を反映した AJAN
のソースも出力されます。
コピーしてこのまま 使用でき
ます。

第5章 参考情報

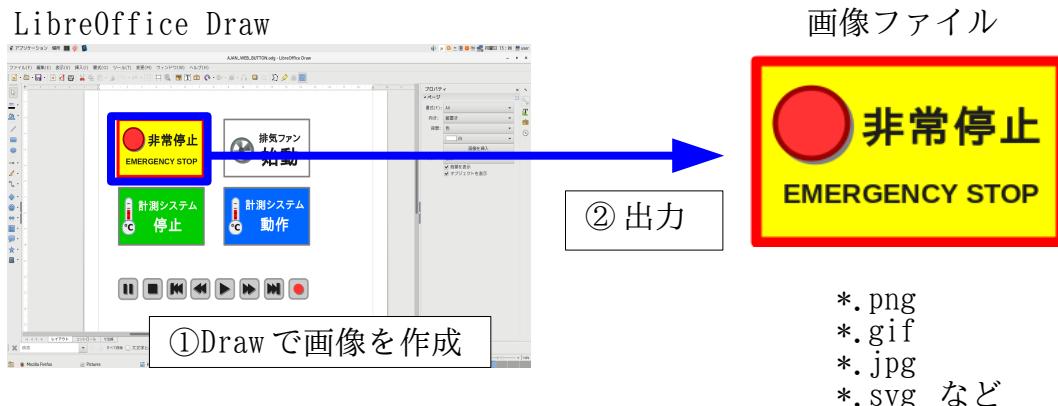
5.1 Webアプリ用画像の作成について

Web アプリケーションでは、Web ブラウザ内に任意の画像を表示したり、画像形式のボタンを表示することができます。しかし、自分で Web 用の画像 (*.gif, *.jpg ~) を作成するのは ツールの準備、使い方の把握など、手間のかかる作業が発生します。

ここでは、Interface Linux System に 標準で入っている画像編集ツール (LibreOffice Draw) を使用して、かんたんに Web アプリで使用するアイコンやボタン等の画像を作成する方法を示します。

通常使用する ボタンの画像や システムの状態表示（「動作中」「停止中」など）であれば、本手順で作成する画像でも十分使用できますのでご活用ください。

画像ファイル作成のイメージ



※DrawではGIFやPNG、SVG等の 画像ファイルを出力できます。

※Drawは、Interface Linux Systemにインストールされています。

※上記のサンプル画像原稿ファイルもAJANに入っています。

※ボタンのサンプルプログラムでも上記で作成した画像を使用していますので、あわせてご参照ください。

Drawを用いた画像の作成・編集からWebで使用できるファイル出力の流れについて説明します。

(1) 画像の作成・編集

Drawを用いて画像を作成・編集します。ここでは、既に作成済みの画像原稿ファイルを例に説明します。

①画像の原稿ファイルを開く。

画像原稿ファイルの場所:

AJANのワークスペース(通常、/home/user/AjanProWS 等)
+「WEB_samples」プロジェクト
+ dataフォルダ内
base_image_sample.odg << 画像原稿ファイル

上記ファイルを編集可能な領域にコピーして、Drawで開きます。



②Drawを使って文字やデザインの変更、新規作成を行います。
Drawの使い方についてはDrawのヘルプ等をご参照下さい。

(2) 画像の保存(出力)

必要な画像を用意したら、Webで使用できる形式で保存(出力)します。
通常の保存やエクスポートとは異なるので注意して下さい。

①画像をビットマップに変換

*ビットマップに変換すると、デザインや文字を編集ができなくなるため、コピーするなどして元のデータを残して置くことを推奨します。

必要な画像を範囲選択 → 選択状態の画像上で右クリックして「変換(C)」→「ビットマップに変換(B)」を選択してください。

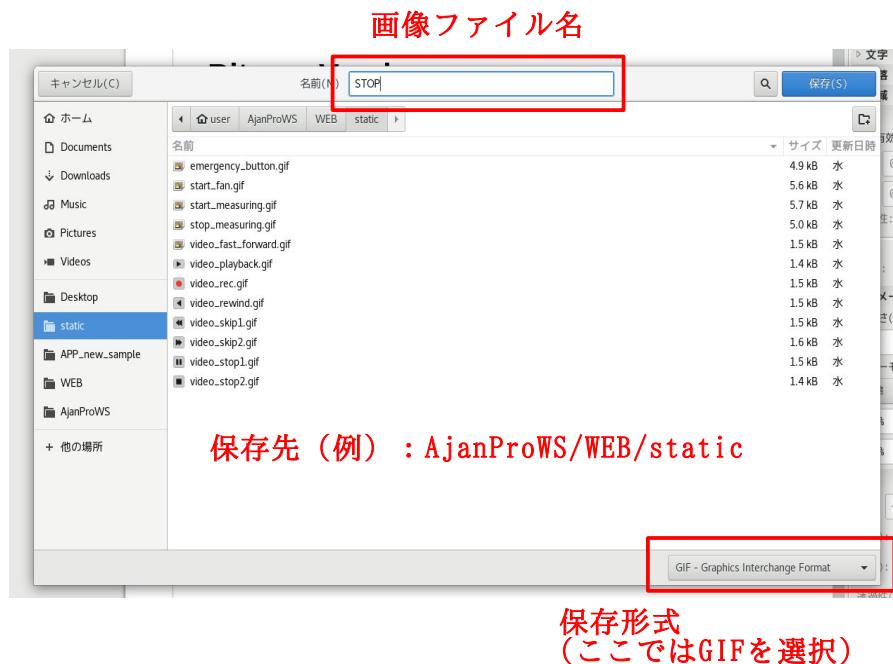


②変換した画像を保存(出力)

- 1) ビットマップに変換した画像を右クリックして「保存(S) ...」を選択
- 2) 保存先を指定(ここでは AjanProWS/WEB/static/ を指定)
- 3) 保存形式を選択(ここではGIFを選択)

保存できる形式	ファイルの拡張子
PNG	*.png
GIF	*.gif
JPG	*.jpg , *.jpeg
SVG	*.svg

- 4) ファイル名は任意の名前を入力して「保存(S)」ボタンを押すと作成した画像ファイルが保存されます。



- 4) 以上で画像ファイルの作成は完了です。

いろいろなオリジナル画像を作成して、Webアプリケーションでご活用ください。

第6章 重要な情報

保証の内容と制限

弊社は本ドキュメントに含まれるソースプログラムの実行が中断しないこと、またはその実行に誤りが無いことを保証していません。

本製品の品質や使用に起因する、性能に起因するいかなるリスクも使用者が負うものとします。

弊社はドキュメント内の情報の正確さに万全を期しています。万一、誤記または誤植などがあった場合、弊社は予告無く改訂する場合があります。ドキュメントまたはドキュメント内の情報に起因するいかなる損害に対しても弊社は責任を負いません。

ドキュメント内の図や表は説明のためであり、ユーザ個別の応用事例により変化する場合があります。

著作権、知的所有権

弊社は本製品に含まれるおよび本製品に対する権利や知的所有権を保持しています。

本製品はコンピュータ ソフトウェア、映像/音声(例えば図、文章、写真など)を含んでいます。

医療機器/器具への適用における注意

弊社の製品は人命に関わるような状況下で使用される機器に用いられる事を目的として設計、製造された物ではありません。

弊社の製品は人体の検査などに使用するに適する信頼性を確保する事を意図された部品や検査機器と共に設計された物ではありません。

医療機器、治療器具などの本製品の適用により、製品の故障、ユーザ、設計者の過失などにより、損傷/損害を引き起こす場合があります。

複製の禁止

弊社の許可なく、本ドキュメントの全て、または一部に関わらず、複製、改変などを行うことはできません。

責任の制限

弊社は、弊社または再販売者の予見の有無にかかわらず発生したいかなる特別損害、偶発的損害、間接的な損害、重大な損害について、責任を負いません。

本製品(ハードウェア、ソフトウェア)のシステム組み込み、使用、ならびに本製品から得られる結果に関する一切のリスクについては、本製品の使用者に帰属するものとします。

本製品に含まれる不都合、あるいは本製品の供給(納期遅延)、性能もしくは使用に起因する付帯的損害もしくは間接的損害に対して、弊社に全面的に責がある場合でも、弊社はその製品に対する改良(有償サービスの利用)、代品交換までとし、製品の予防交換並びに、代金減額等、金銭面での賠償の責任は負わないものとします。

本製品は、日本国内仕様です。

商標/登録商標

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

改訂履歴

Ver.	年 月	改 訂 内 容
1.00	2021年12月	新規作成
1.01	2022年11月	「第4章 サンプルプログラム」の誤記修正 ・「02_web_label2.ajn」、「02_web_grid4.ajn」を追記。 ・「02_web_get_info.ajn」の重複記載を修正。

このマニュアルは、製品の改良その他により将来予告なく改訂しますので、予めご了承ください。